

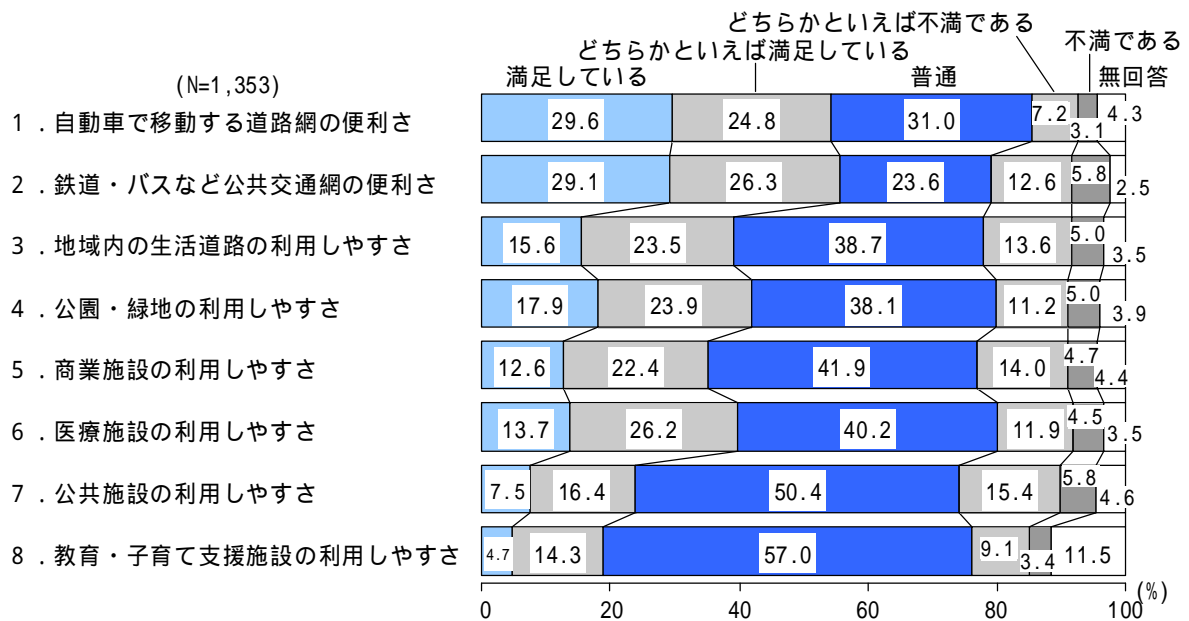
2. 地域の環境に対する意識と地域への関わり

〔1〕地域の環境についての満足度・重要度

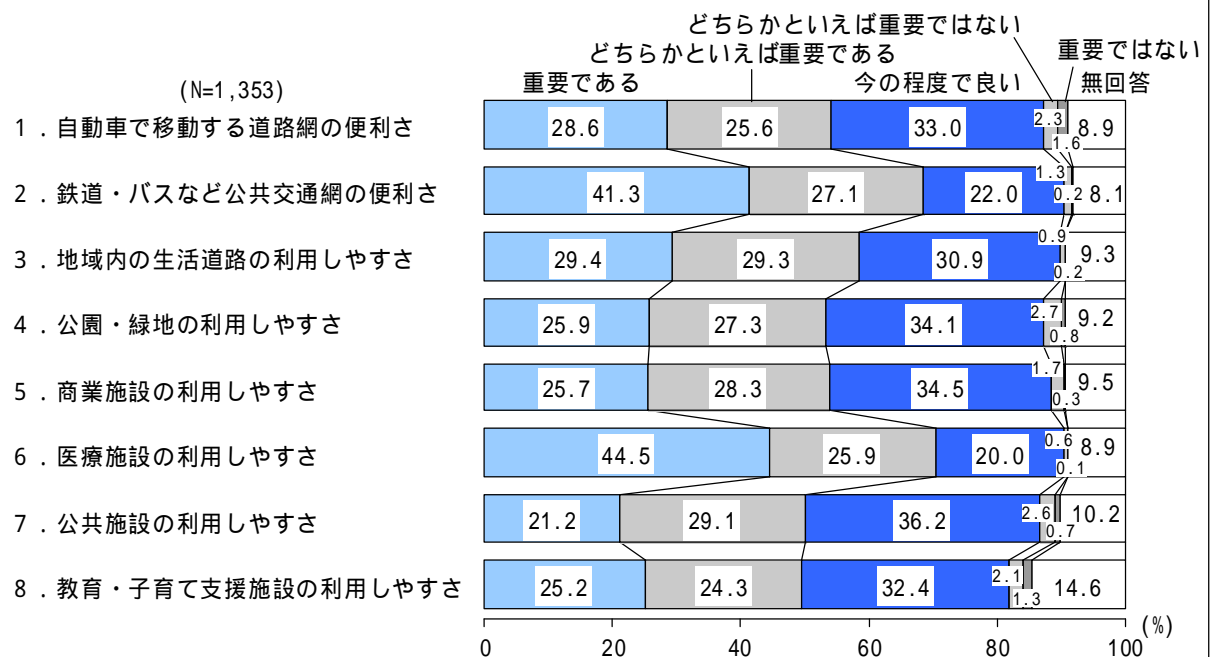
(1) 利便性

問6. あなたは、現在お住まいの地域の環境について、どの程度満足していますか。また、今後の環境づくりに関する取り組みについてどの程度重要だと思えますか。
あなたの考え方に一番近いものを、「満足度」と「重要度」からそれぞれ一つ選んで番号に 印をつけてください。

【図3-2-1 地域の環境についての満足度】



【図3-2-2 地域の環境についての重要度】



【表 3-2-3 地域の環境に対する満足度と重要度（平均評価点）の経年比較】

		(平均評価点、100点満点)			重要度 平成 22 年度
		満足度			
		平成 22 年度	平成 18 年度	平成 14 年度	
利 便 性	1. 自動車で移動する道路網の便利さ	68.5	73.1	68.8	71.3
	2. 鉄道・バスなど公共交通網の便利さ	65.4	69.3	66.8	79.3
	3. 地域内の生活道路の利用しやすさ	58.0	60.6	57.6	73.9
	4. 公園・緑地の利用しやすさ	60.0	62.1	61.4	70.6
	5. 商業施設の利用しやすさ	56.4	58.4	55.9	71.4
	6. 医療施設の利用しやすさ	58.5	58.5	55.6	81.3
	7. 公共施設の利用しやすさ	51.2	50.4	50.1	68.8
	8. 教育・子育て支援施設の利用しやすさ	52.2	51.2	-	70.5

満足・重要=100点、どちらかといえば満足・重要=75点、普通・今の程度で良い=50点、どちらかといえば不満・重要ではない=25点、不満・重要ではない=0点として平均評価点を算出。

【満足度/全体】 全項目が“不満”(「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた割合)に比べ“満足”(「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合)の方が高い割合になっている。

特に、『2.鉄道・バスなど公共交通網の便利さ』(55.4%)と、『1.自動車で移動する道路網の便利さ』(54.4%)では“満足”が5割台を占めている。

また、『8.教育・子育て支援施設の利用しやすさ』(57.0%)と、『7.公共施設の利用しやすさ』(50.4%)では「普通」が5割台を占めている。(図3-2-1)

【満足度/平均評価点(経年比較)】 『1.自動車で移動する道路網の便利さ』(68.5点)、『2.鉄道・バスなど公共交通網の便利さ』(65.4点)、『4.公園・緑地の利用しやすさ』(60.0点)で60点以上となっている。

平成18年度・14年度と比較すると、『7.公共施設の利用しやすさ』と『8.教育・子育て支援施設の利用しやすさ』は平成18年度より高く、『6.医療施設の利用しやすさ』では平成18年度と同点となっているが、それ以外は平成18年度よりも低くなっている。(表3-2-3)

【重要度/全体】 全項目で“重要である”(「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合)が5割前後を占めている。特に、『6.医療施設の利用しやすさ』(70.4%)と『2.鉄道・バスなど公共交通網の便利さ』(68.4%)では7割前後を占める。(図3-2-2)

【重要度/平均評価点】 『6.医療施設の利用しやすさ』(81.3点)が最も高いのに対し、『7.公共施設の利用しやすさ』(68.8点)が最も低くなっている。(表3-2-3)

【満足度と重要度の関係】 満足度と重要度の関係について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目(満足度評価点が低くかつ重要度評価点が高いもので両者の差が大きい項目)の上位をみると、『6.医療施設の利用しやすさ』(満足度58.5点、重要度81.3点、差22.8点)、『8.教育・子育て支援施設の利用しやすさ』(同52.2点、同70.5点、差18.3点)、『7.公共施設の利用しやすさ』(同51.2点、同68.8点、差17.6点)である。

同様の考え方で、居住地域別でみると、〔JR以南地域〕では『4.公園・緑地の利用

しやすさ』、『6.医療施設の利用しやすさ』、『5.商業施設の利用しやすさ』〔片山・岸部地域〕では、『6.医療施設の利用しやすさ』、『3.地域内の生活道路の利用しやすさ』、『8.教育・子育て支援施設の利用しやすさ』となっている。〔豊津・江坂・南吹田地域〕では、『6.医療施設の利用しやすさ』、『8.教育・子育て支援施設の利用しやすさ』、『7.公共施設の利用しやすさ』〔千里山・佐井寺地域〕では、『6.医療施設の利用しやすさ』、『3.地域内の生活道路の利用しやすさ』、『2.鉄道・バスなど公共交通網の便利さ』となっている。〔山田・千里丘地域〕では、『6.医療施設の利用しやすさ』、『7.公共施設の利用しやすさ』、『2.鉄道・バスなど公共交通網の便利さ』〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕では、『8.教育・子育て支援施設の利用しやすさ』、『7.公共施設の利用しやすさ』、『6.医療施設の利用しやすさ』となっている。(図3-2-4 ~)

【満足度/性別】 『3.地域内の生活道路の利用しやすさ』、『4.公園・緑地の利用しやすさ』、『5.商業施設の利用しやすさ』、『6.医療施設の利用しやすさ』、『8.教育・子育て支援施設の利用しやすさ』については、男性より女性のほうが高くなっている。(図3-2-5 ~)

【満足度/年齢別】 “満足”は、『1.自動車で移動する道路網の便利さ』、『2.鉄道・バスなど公共交通網の便利さ』、『3.地域内の生活道路の利用しやすさ』、『4.公園・緑地の利用しやすさ』、『6.医療施設の利用しやすさ』については、60歳代で最も高い割合となっている。(図3-2-5 ~)

【満足度/居住地域別】 “満足”は、『8.教育・子育て支援施設の利用しやすさ』については〔千里山・佐井寺地域〕で最も高く、それ以外の項目は〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕で最も高い割合となっている。(図3-2-5 ~)

【満足度/定住意向別】 “満足”は、『1.自動車で移動する道路網の便利さ』、『2.鉄道・バスなど公共交通網の便利さ』、『3.地域内の生活道路の利用しやすさ』、『5.商業施設の利用しやすさ』、『6.医療施設の利用しやすさ』、『7.公共施設の利用しやすさ』、『8.教育・子育て支援施設の利用しやすさ』については、よそへ移りたくて引っ越すと回答した人が最も低くなっている。(図3-2-5 ~)

【重要度/性別】 “重要である”は、『1.自動車で移動する道路網の便利さ』と『4.公園・緑地の利用しやすさ』は女性より男性のほうが高い割合となっている。(図3-2-6 ~)

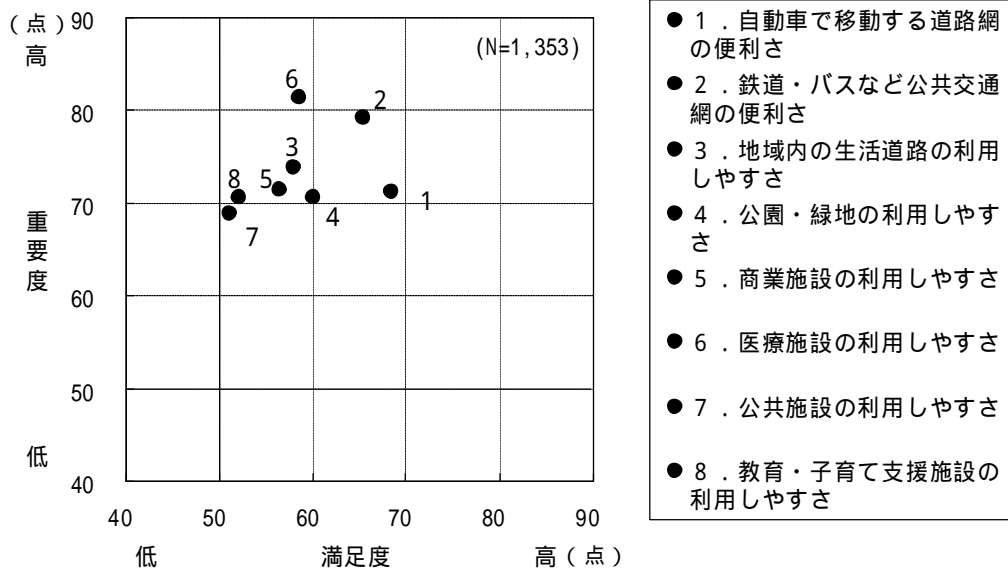
【重要度/年齢別】 “重要である”は、『4.公園・緑地の利用しやすさ』、『5.商業施設の利用しやすさ』、『8.教育・子育て支援施設の利用しやすさ』については、30歳代で最も高い割合となっている。(図3-2-6 ~)

【重要度/居住地域別】 “重要である”は、『2.鉄道・バスなど公共交通網の便利さ』、『3.地域内の生活道路の利用しやすさ』、『4.公園・緑地の利用しやすさ』、『6.医療施設の利用しやすさ』、『8.教育・子育て支援施設の利用しやすさ』は〔千里山・佐井寺地域〕で最も高い割合となっている。(図3-2-6 ~)

【重要度/定住意向別】 “重要である”は、『3.地域内の生活道路の利用しやすさ』、『4.公園・緑地の利用しやすさ』、『6.医療施設の利用しやすさ』でよそに移りたくて引っ越すと回答した人が最も高い割合となっている。(図3-2-6 ~)

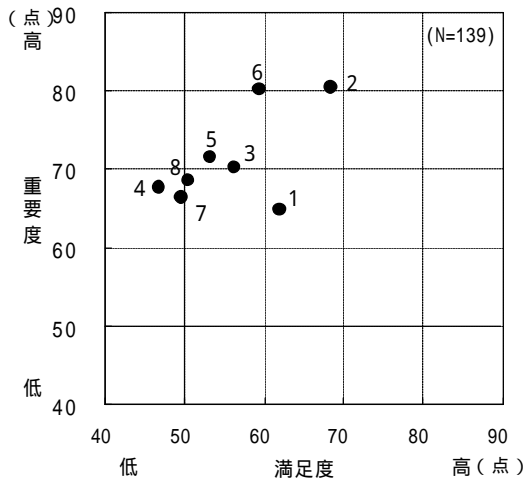
【図 3-2-4 満足度と重要度の関係】

〔全体〕



【図3-2-4 満足度と重要度の関係】

〔JR以南地域〕

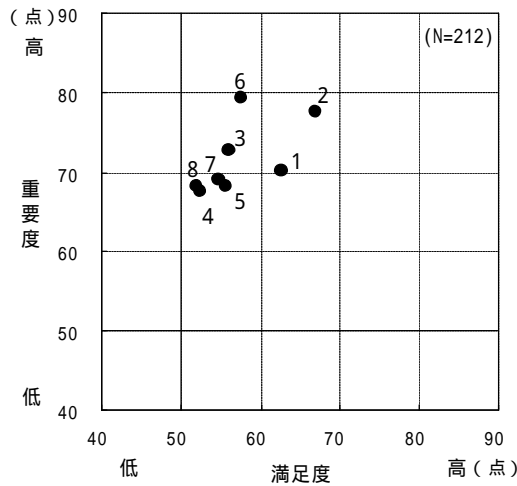


(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
1. 自動車で移動する道路網の便利さ	62.0	64.9
2. 鉄道・バスなど公共交通網の便利さ	68.5	80.4
3. 地域内の生活道路の利用しやすさ	56.2	70.2
4. 公園・緑地の利用しやすさ	46.8	67.6
5. 商業施設の利用しやすさ	53.2	71.7
6. 医療施設の利用しやすさ	59.4	80.2
7. 公共施設の利用しやすさ	49.6	66.4
8. 教育・子育て支援施設の利用しやすさ	50.5	68.5

満足・重要=100点、どちらかといえば満足・重要=75点、普通・今の程度で良い=50点、どちらかといえば不満・重要ではない=25点、不満・重要ではない=0点として平均評価点を算出。

〔片山・岸部地域〕

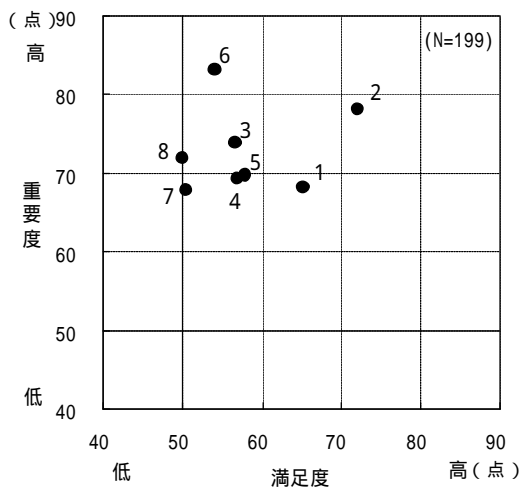


(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
1. 自動車で移動する道路網の便利さ	62.7	70.1
2. 鉄道・バスなど公共交通網の便利さ	66.9	77.6
3. 地域内の生活道路の利用しやすさ	56.0	72.6
4. 公園・緑地の利用しやすさ	52.3	67.6
5. 商業施設の利用しやすさ	55.6	68.1
6. 医療施設の利用しやすさ	57.5	79.3
7. 公共施設の利用しやすさ	54.7	69.1
8. 教育・子育て支援施設の利用しやすさ	52.0	68.3

満足・重要=100点、どちらかといえば満足・重要=75点、普通・今の程度で良い=50点、どちらかといえば不満・重要ではない=25点、不満・重要ではない=0点として平均評価点を算出。

〔豊津・江坂・南吹田地域〕



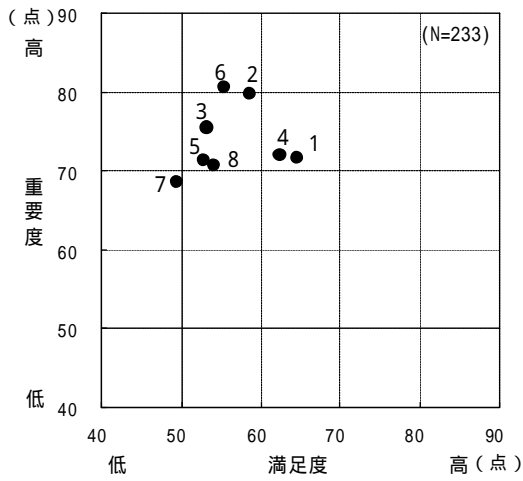
(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
1. 自動車で移動する道路網の便利さ	65.3	68.3
2. 鉄道・バスなど公共交通網の便利さ	72.1	78.1
3. 地域内の生活道路の利用しやすさ	56.7	73.8
4. 公園・緑地の利用しやすさ	56.8	69.3
5. 商業施設の利用しやすさ	58.0	69.7
6. 医療施設の利用しやすさ	54.1	83.1
7. 公共施設の利用しやすさ	50.5	67.9
8. 教育・子育て支援施設の利用しやすさ	50.1	72.0

満足・重要=100点、どちらかといえば満足・重要=75点、普通・今の程度で良い=50点、どちらかといえば不満・重要ではない=25点、不満・重要ではない=0点として平均評価点を算出。

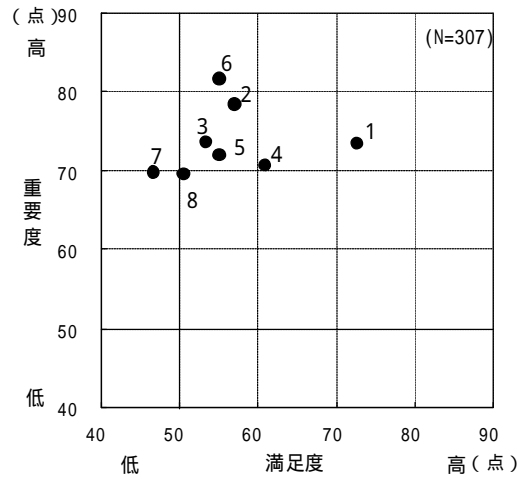
【図3-2-4 満足度と重要度の関係】

〔千里山・佐井寺地域〕



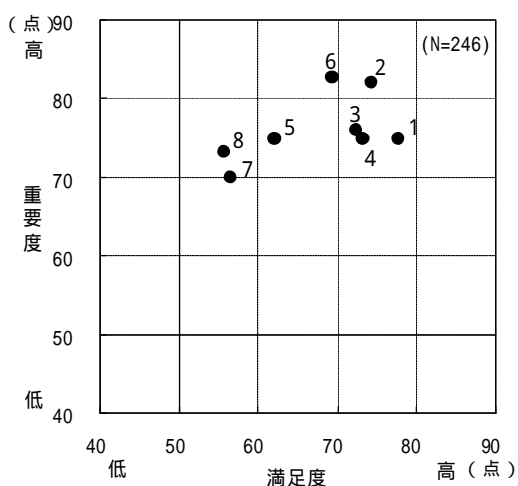
	満足度	重要度
1. 自動車で移動する道路網の便利さ	64.6	71.6
2. 鉄道・バスなど公共交通網の便利さ	58.5	79.8
3. 地域内の生活道路の利用しやすさ	53.2	75.5
4. 公園・緑地の利用しやすさ	62.5	72.0
5. 商業施設の利用しやすさ	52.8	71.3
6. 医療施設の利用しやすさ	55.4	80.5
7. 公共施設の利用しやすさ	49.3	68.5
8. 教育・子育て支援施設の利用しやすさ	54.1	70.7

〔山田・千里丘地域〕



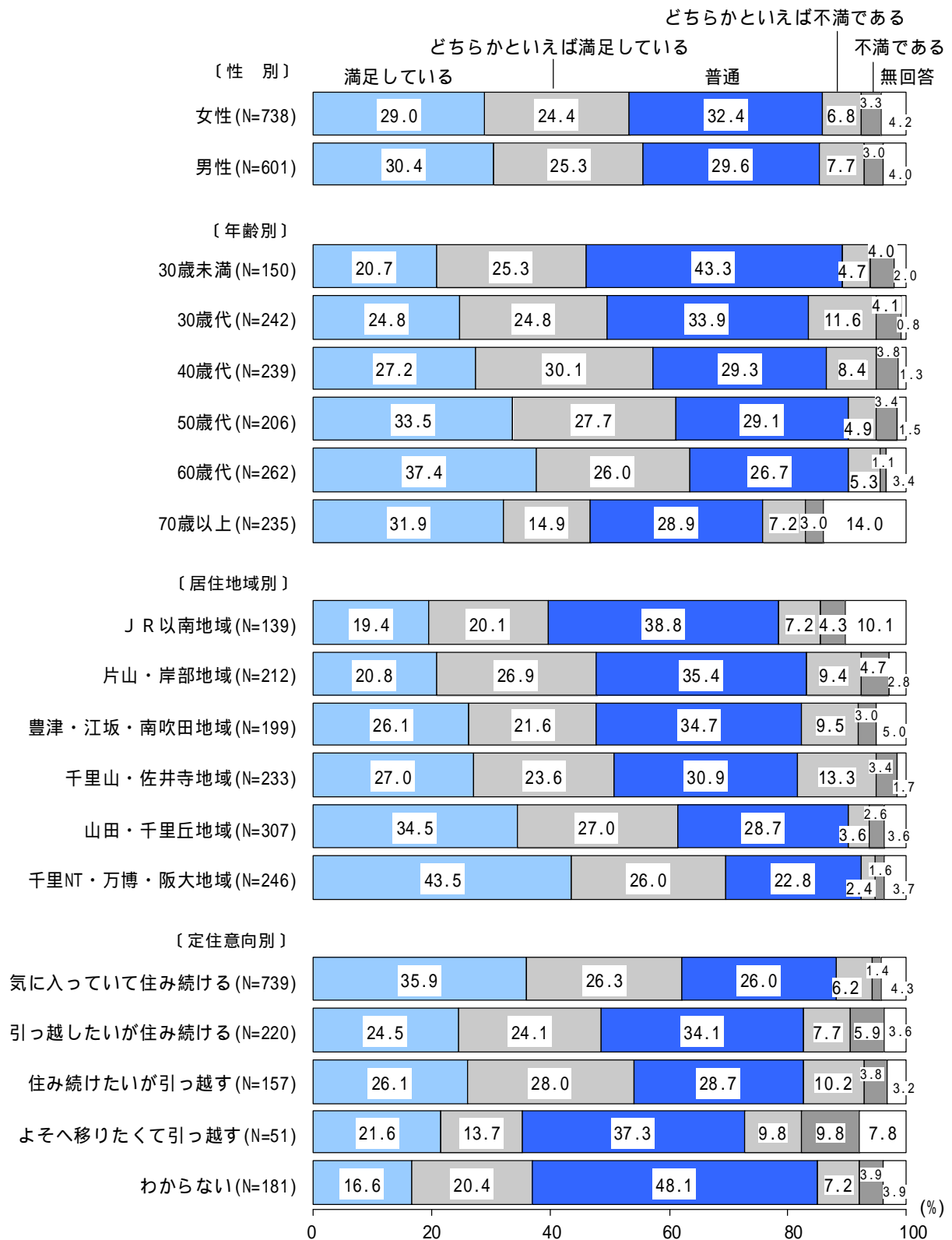
	満足度	重要度
1. 自動車で移動する道路網の便利さ	72.6	73.5
2. 鉄道・バスなど公共交通網の便利さ	57.0	78.3
3. 地域内の生活道路の利用しやすさ	53.5	73.7
4. 公園・緑地の利用しやすさ	61.0	70.5
5. 商業施設の利用しやすさ	55.1	72.0
6. 医療施設の利用しやすさ	55.1	81.6
7. 公共施設の利用しやすさ	46.8	69.7
8. 教育・子育て支援施設の利用しやすさ	50.6	69.5

〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕



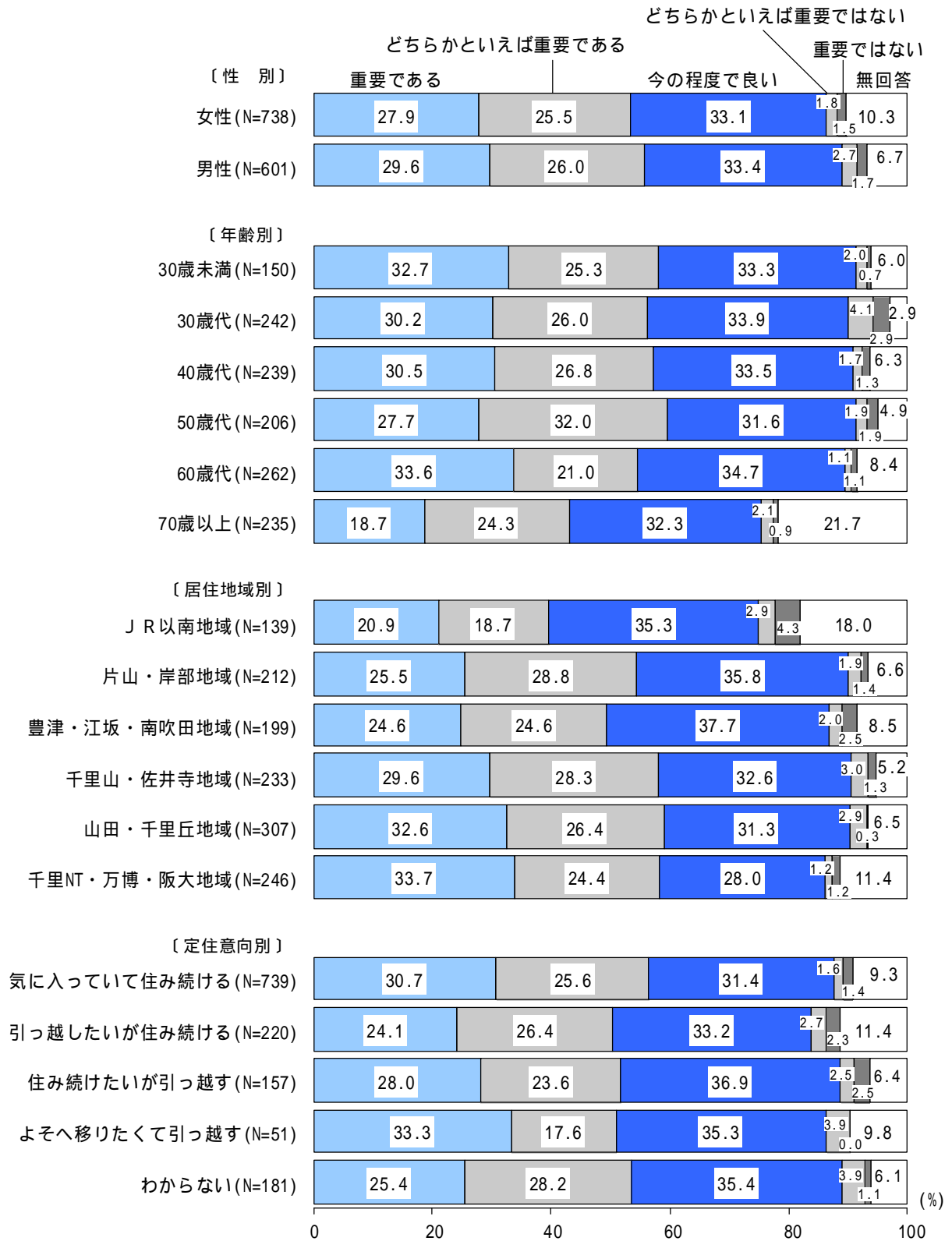
	満足度	重要度
1. 自動車で移動する道路網の便利さ	77.8	74.9
2. 鉄道・バスなど公共交通網の便利さ	74.4	82.0
3. 地域内の生活道路の利用しやすさ	72.3	75.9
4. 公園・緑地の利用しやすさ	73.3	75.0
5. 商業施設の利用しやすさ	62.0	74.9
6. 医療施設の利用しやすさ	69.4	82.6
7. 公共施設の利用しやすさ	56.5	69.9
8. 教育・子育て支援施設の利用しやすさ	55.6	73.1

【図3-2-5 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】
 〔利便性〕1. 自動車で移動する道路網の便利さ



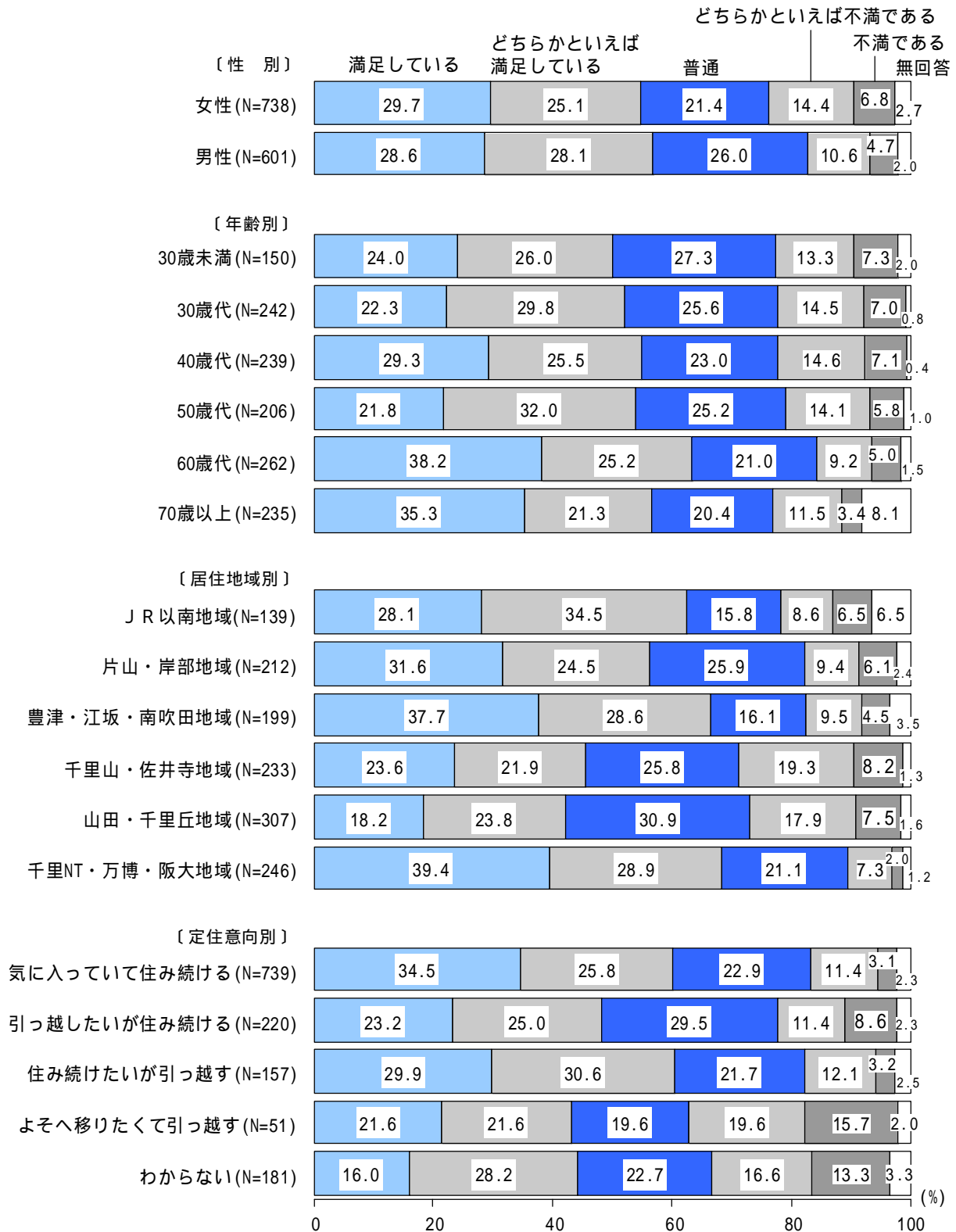
【図3-2-6 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔利便性〕1. 自動車で移動する道路網の便利さ



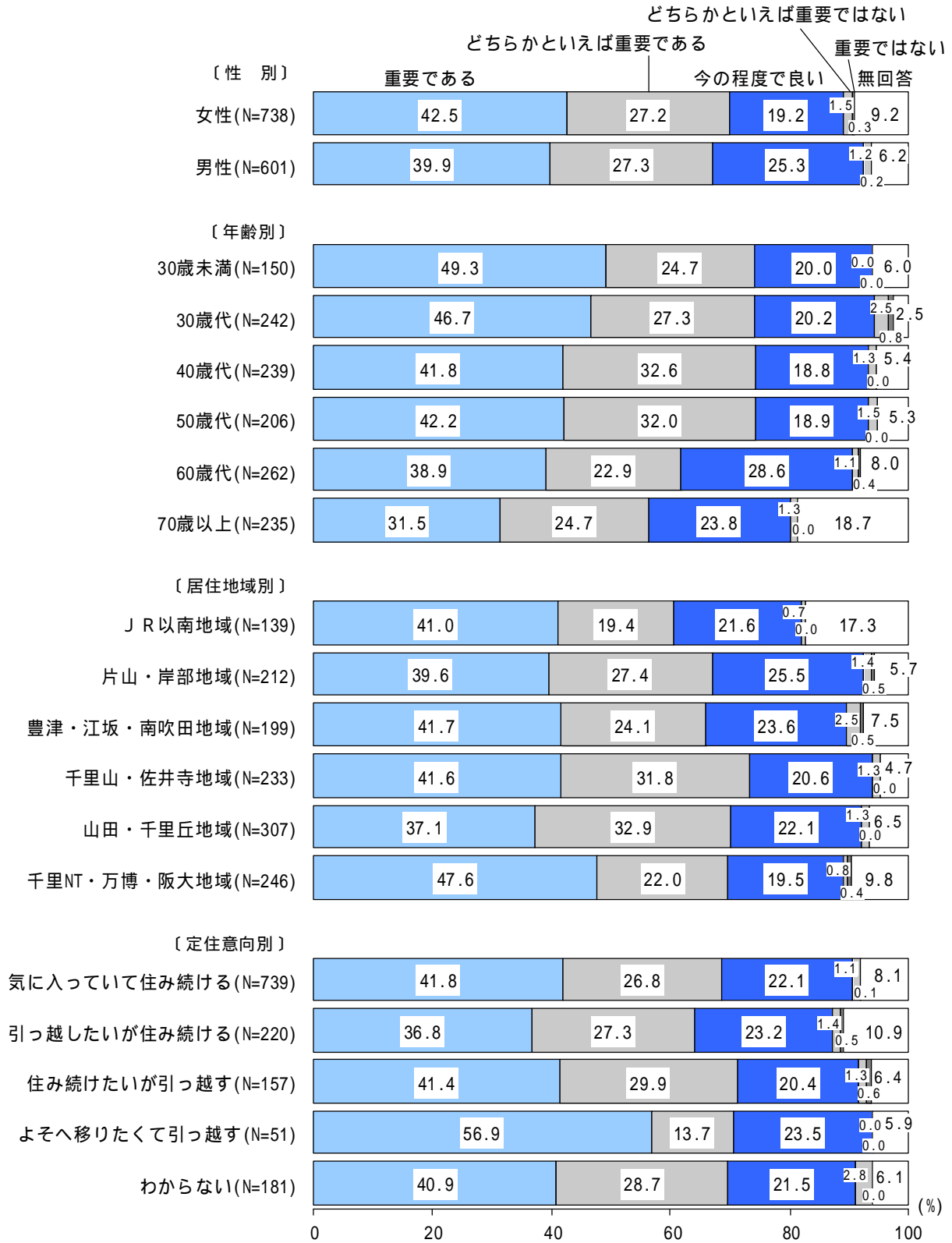
【図3-2-5 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔利便性〕2. 鉄道・バスなど公共交通網の便利さ



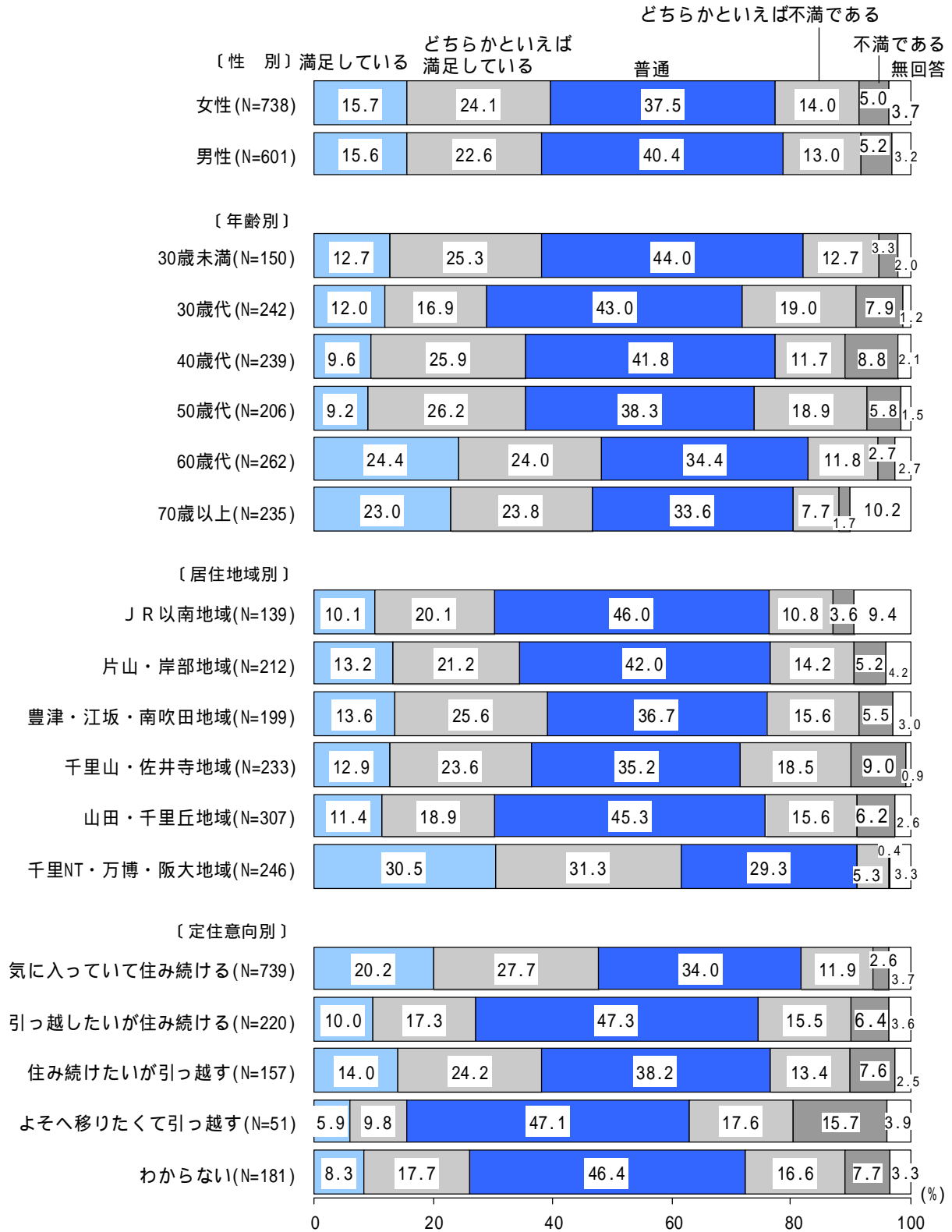
【図3-2-6 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔利便性〕2. 鉄道・バスなど公共交通網の利便さ



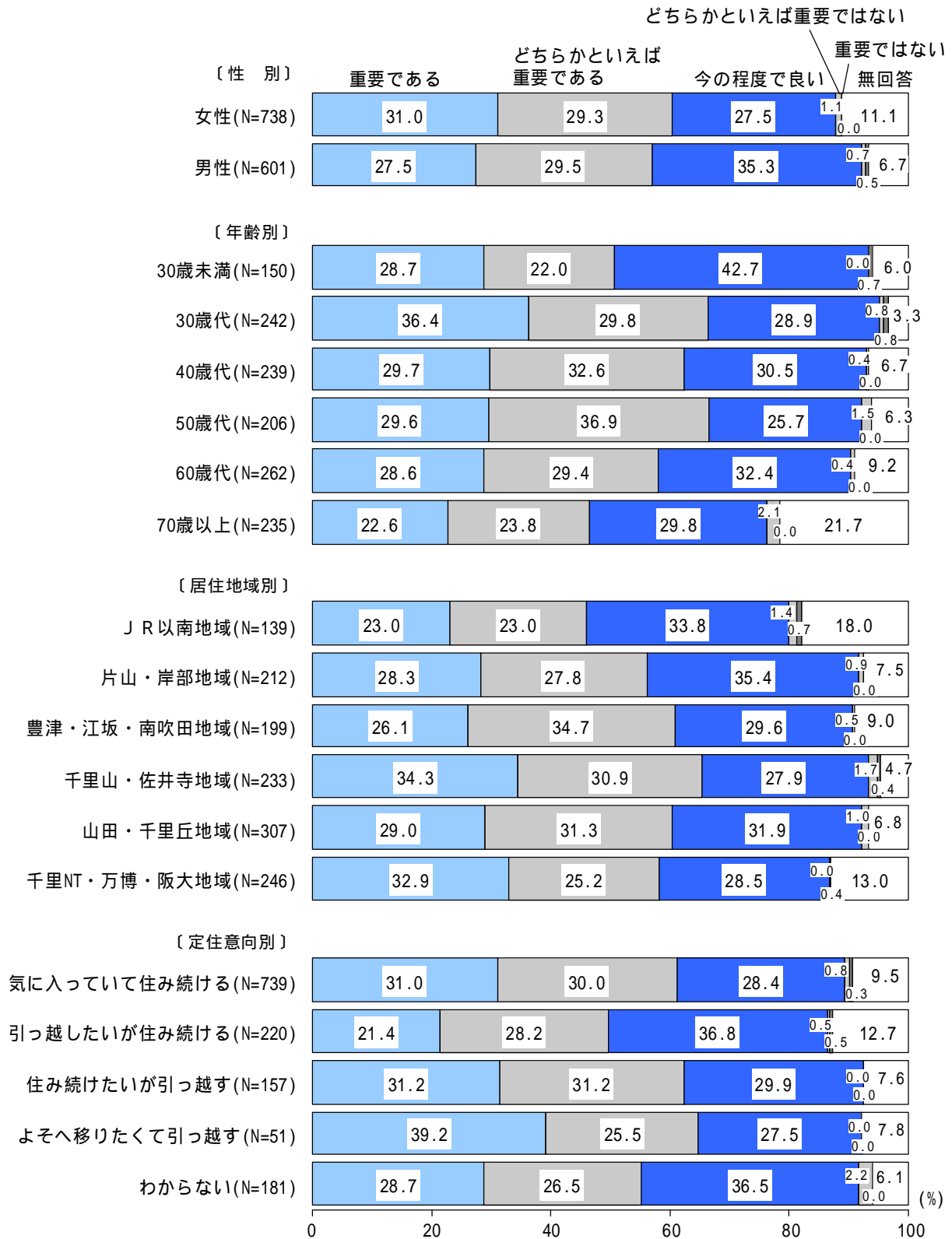
【 図 3 - 2 - 5 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度 】

〔 利便性 〕 3 . 地域内の生活道路の利用しやすさ



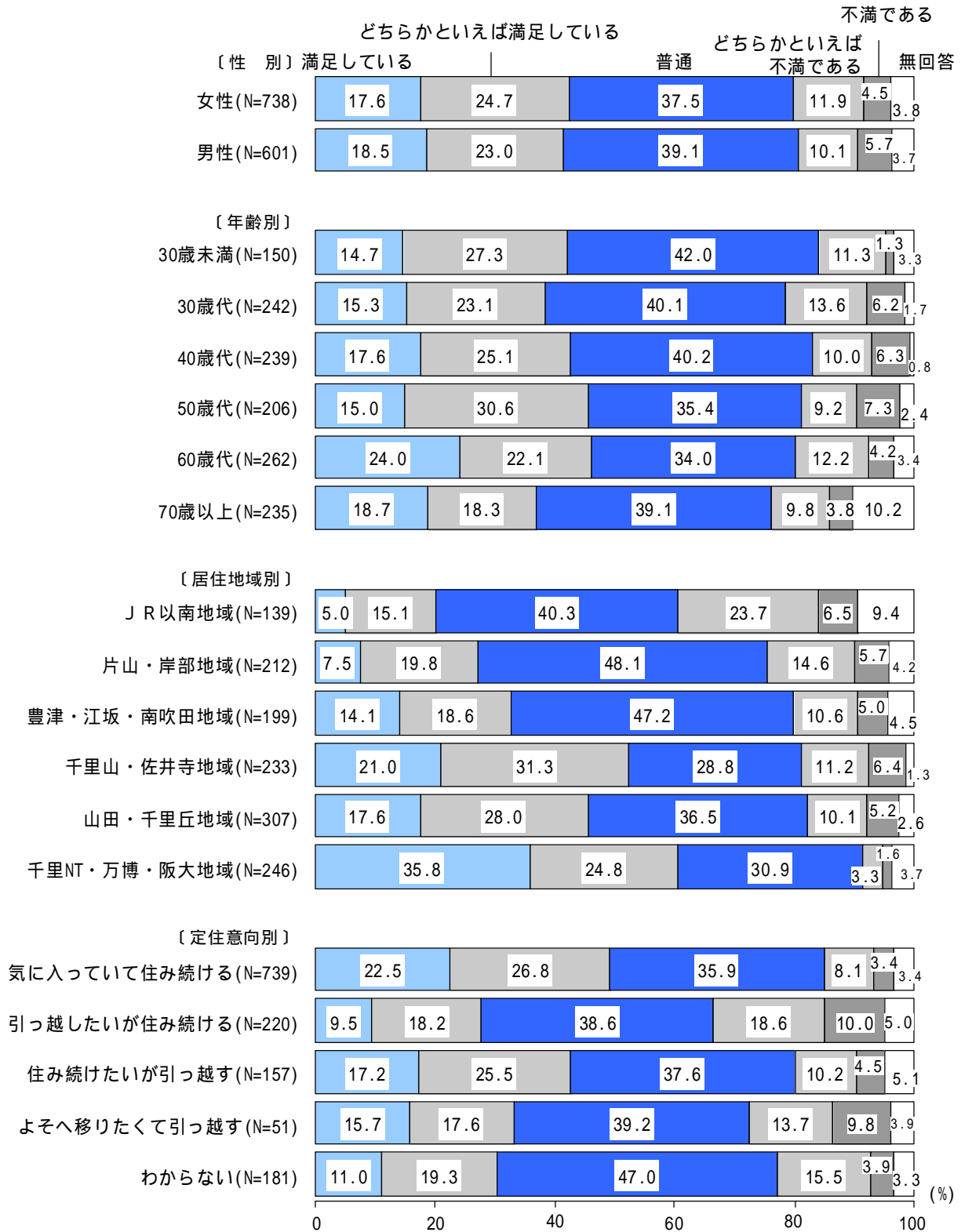
【図3-2-6 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔利便性〕3. 地域内の生活道路の利用しやすさ



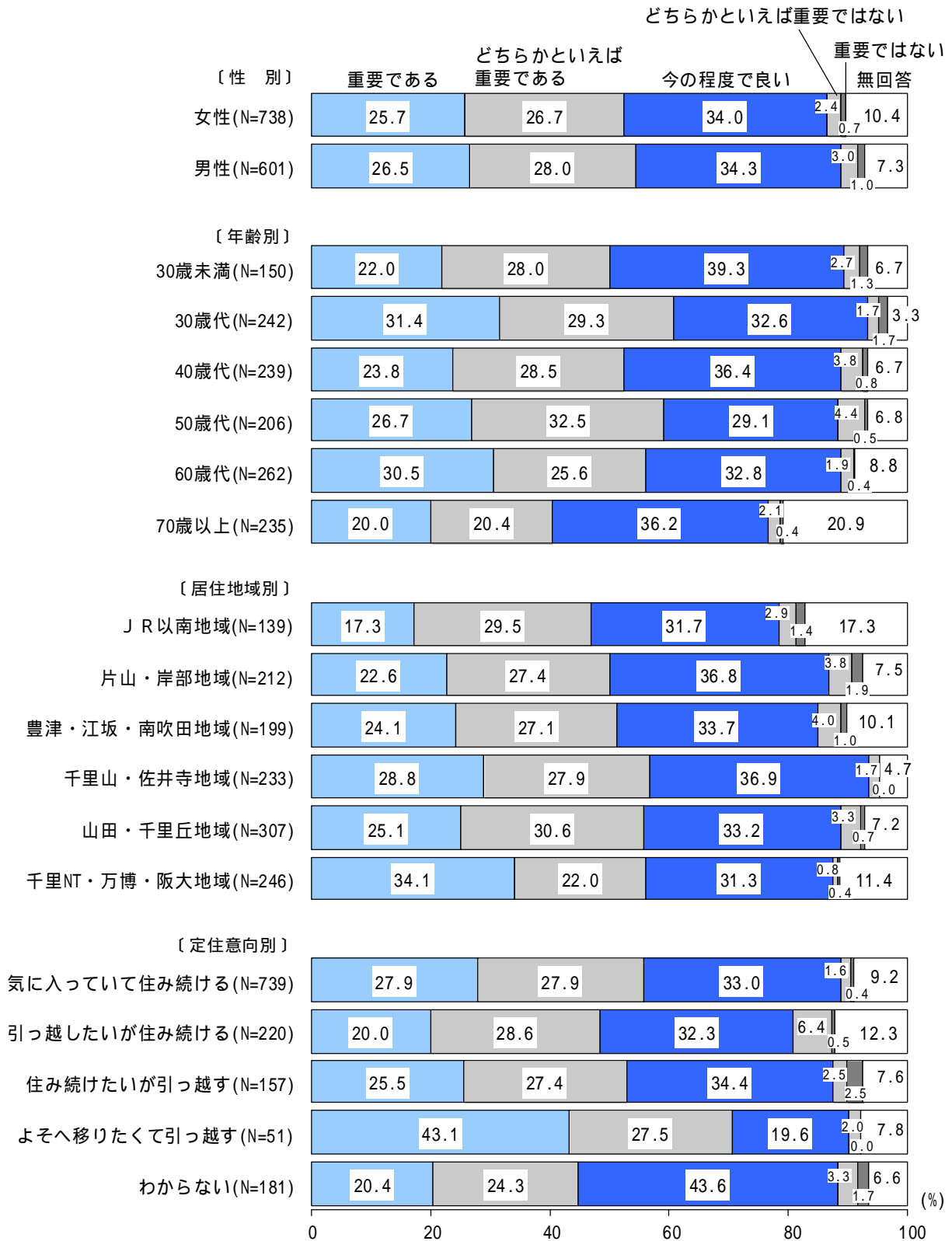
【図 3-2-5 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔利便性〕 4. 公園・緑地の利用しやすさ



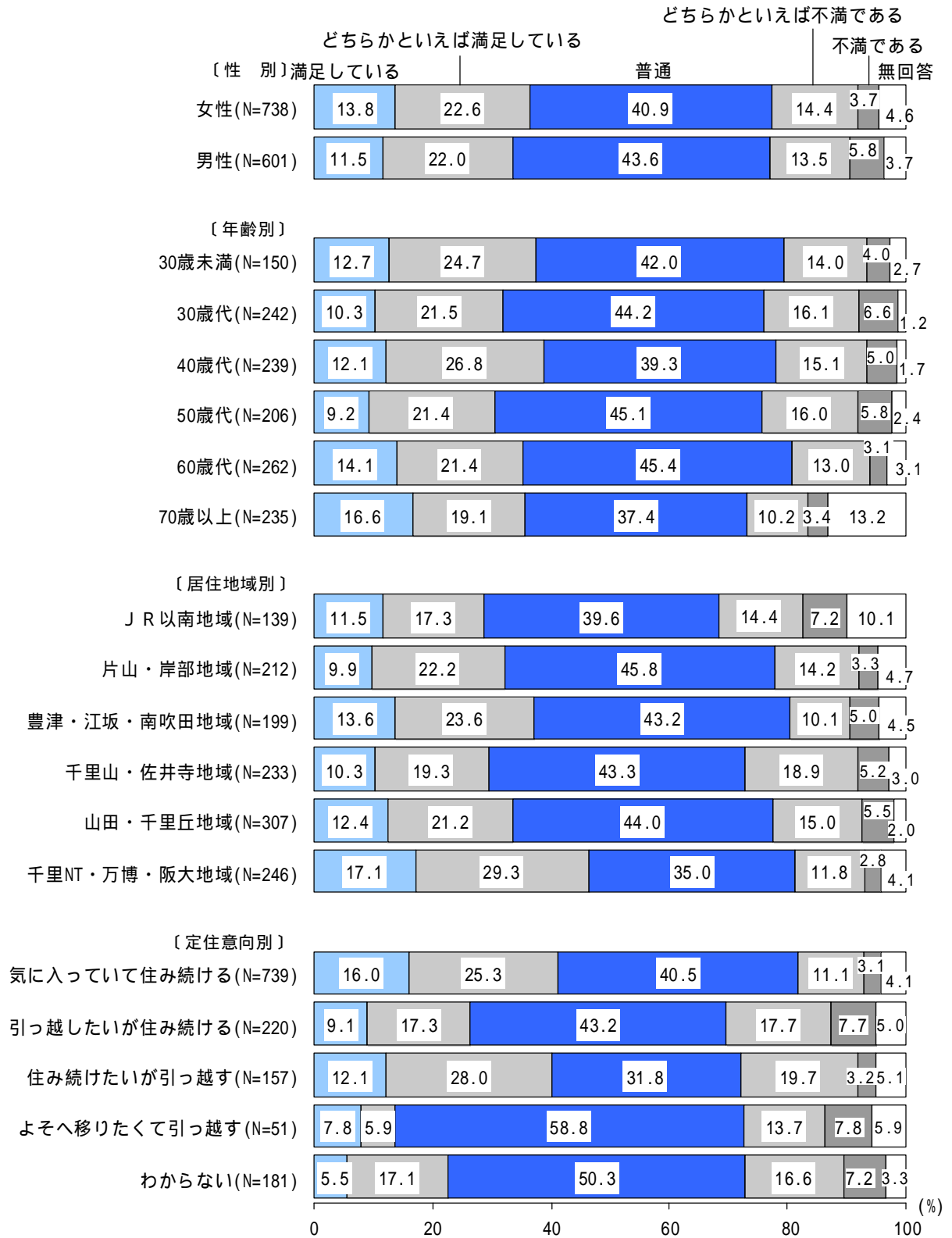
【図 3-2-6 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔利便性〕 4. 公園・緑地の利用しやすさ



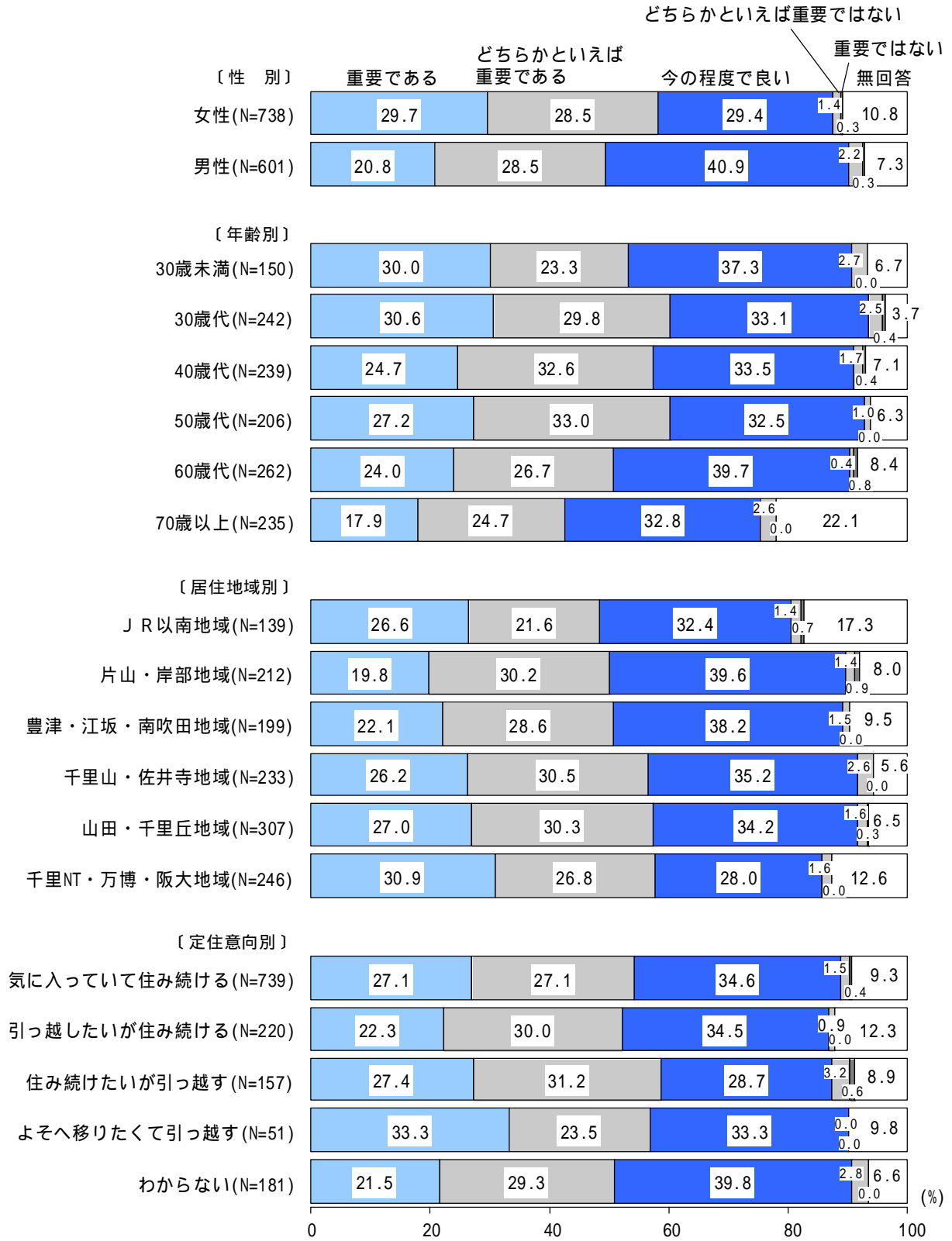
【 図 3 - 2 - 5 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度 】

〔 利便性 〕 5 . 商業施設の利用しやすさ



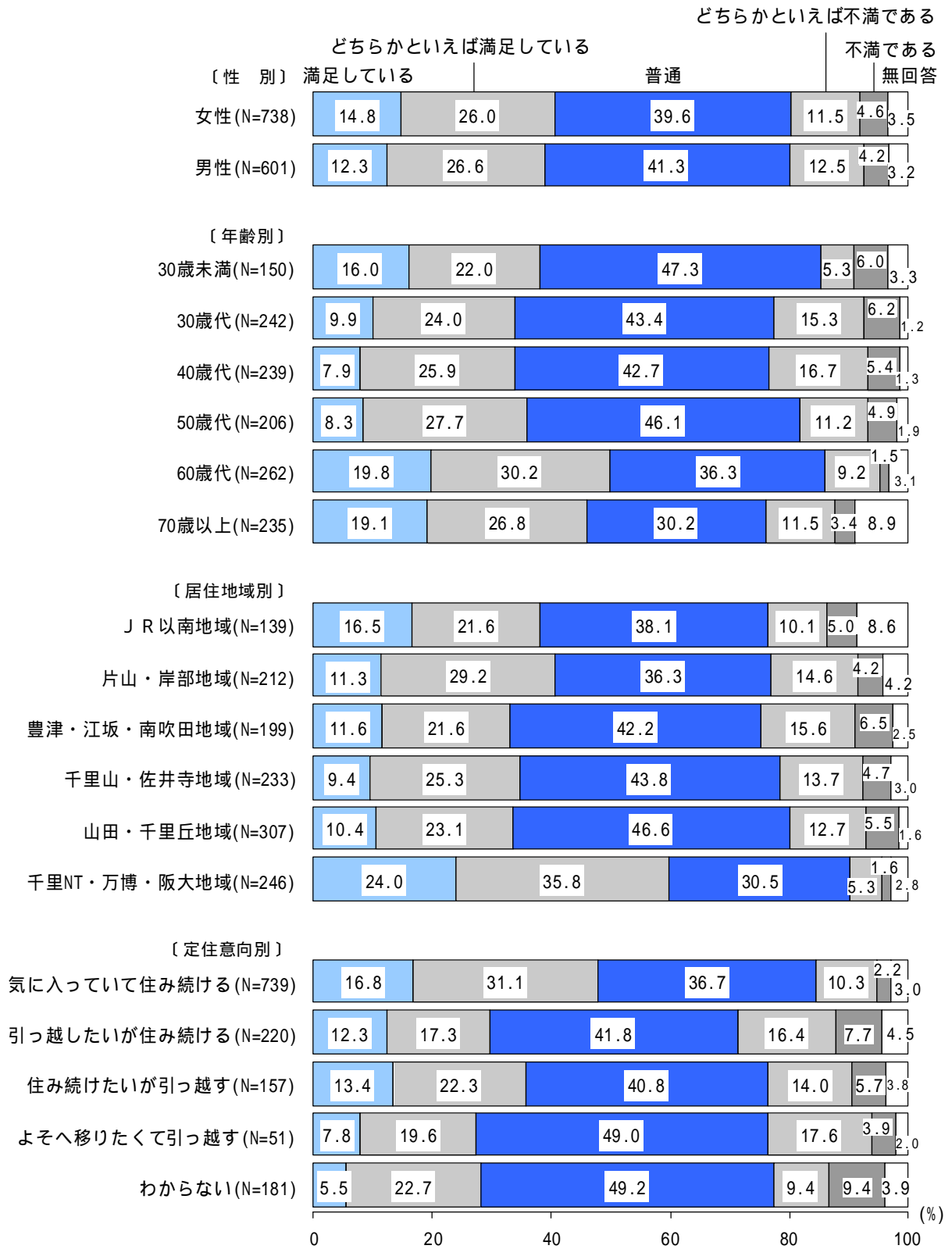
【 図 3 - 2 - 6 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度 】

〔 利便性 〕 5 . 商業施設の利用しやすさ



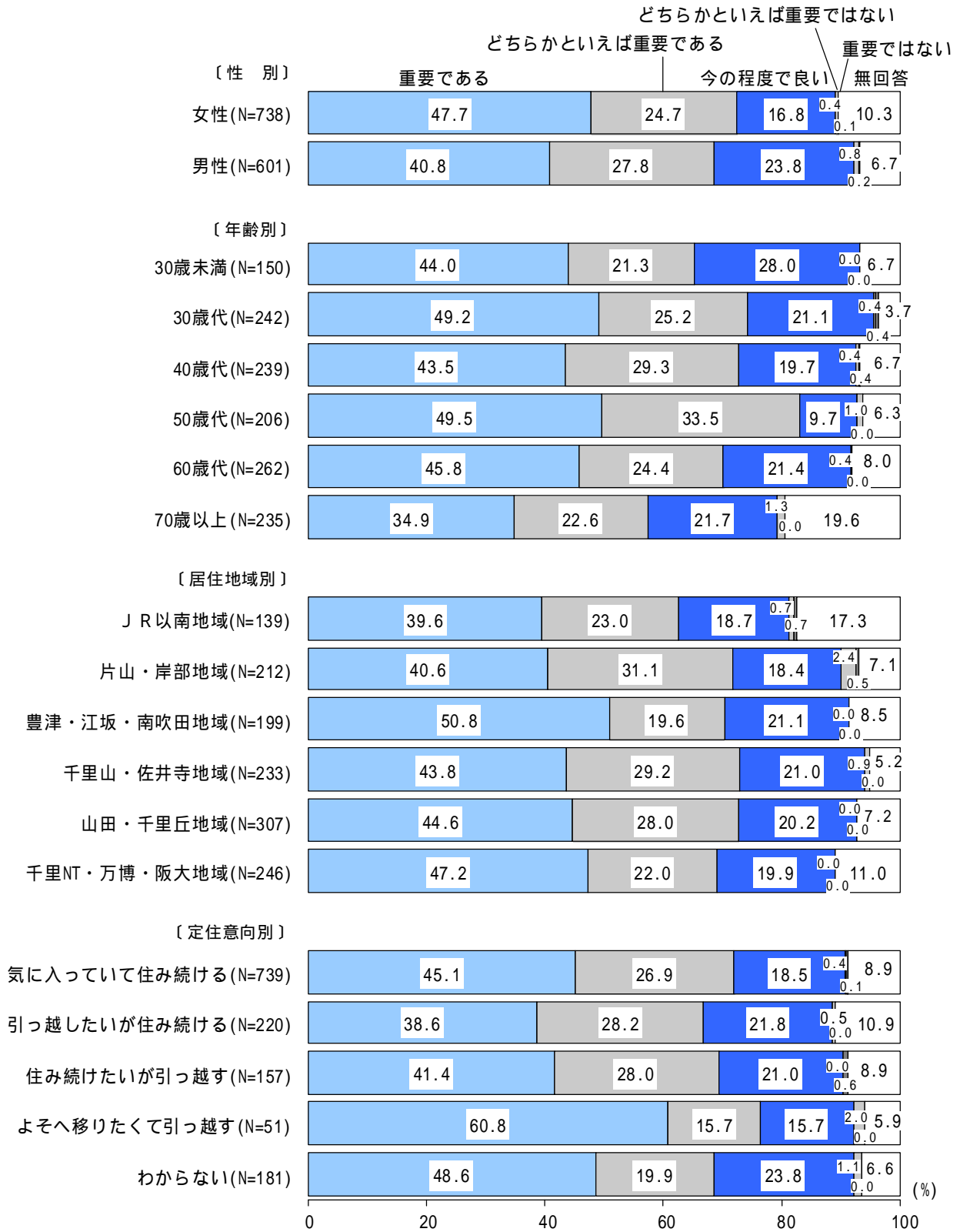
【 図 3 - 2 - 5 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度 】

〔 利便性 〕 6 . 医療施設の利用しやすさ



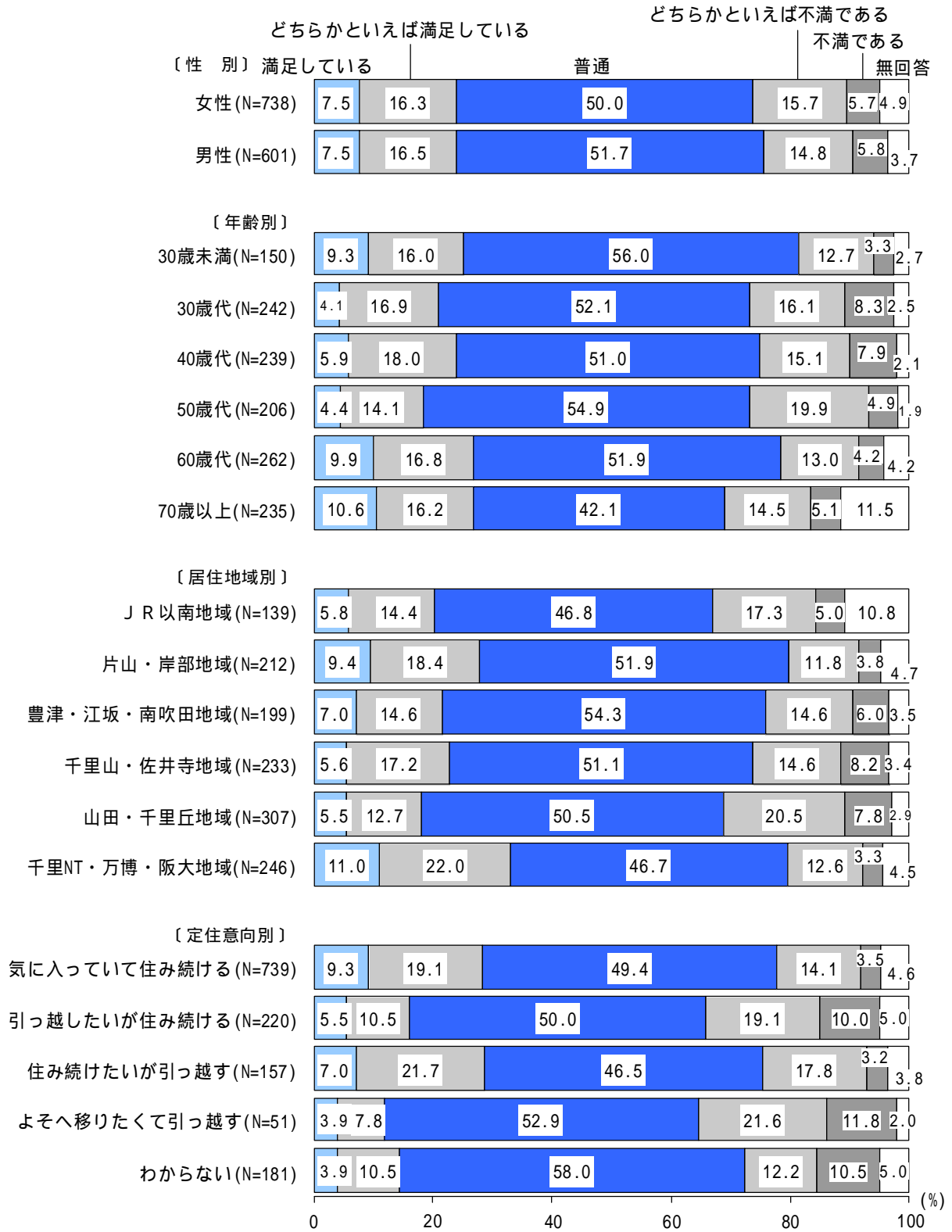
【図 3-2-6 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔利便性〕 6. 医療施設の利用しやすさ



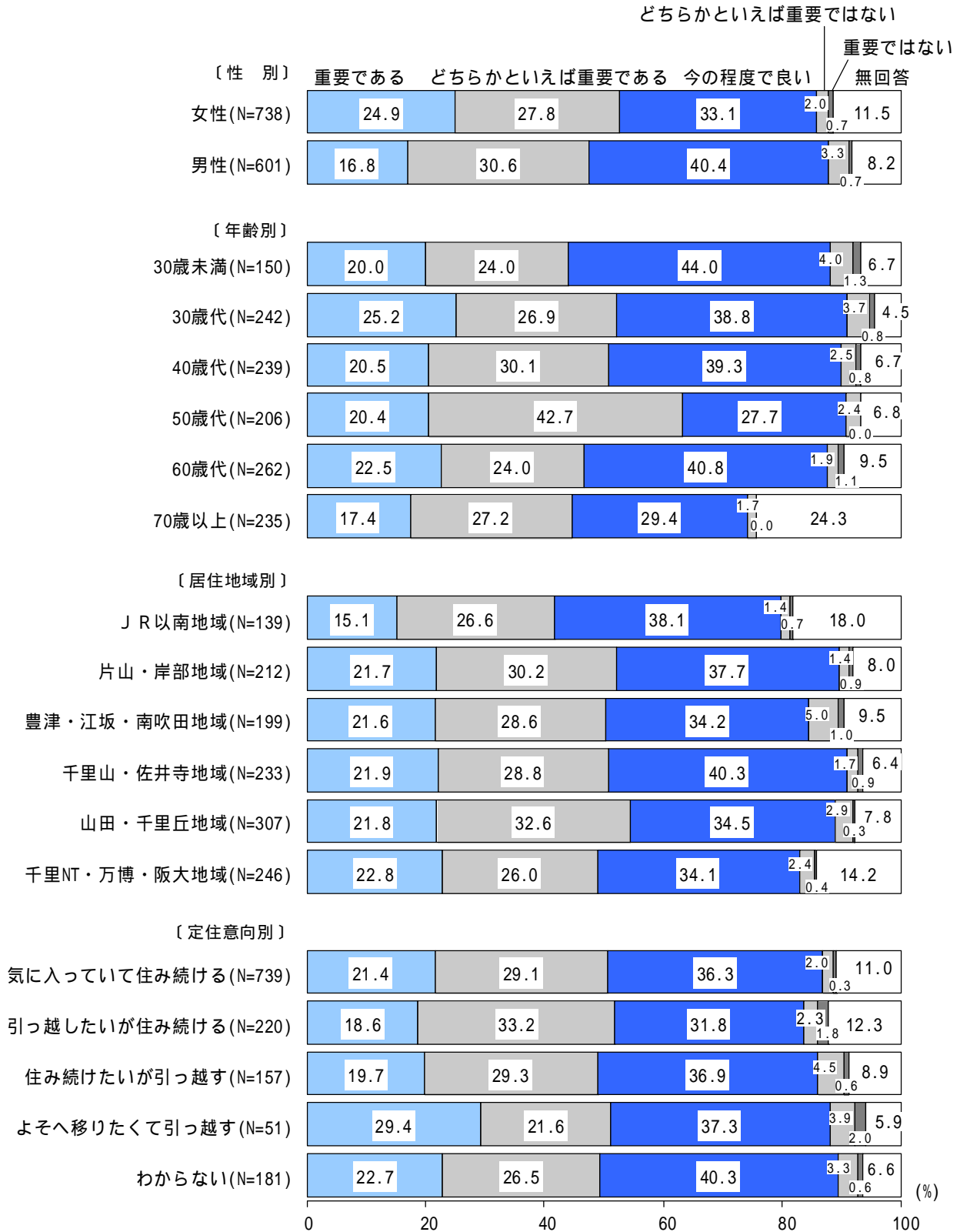
【図3-2-5 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔利便性〕 7. 公共施設の利用しやすさ



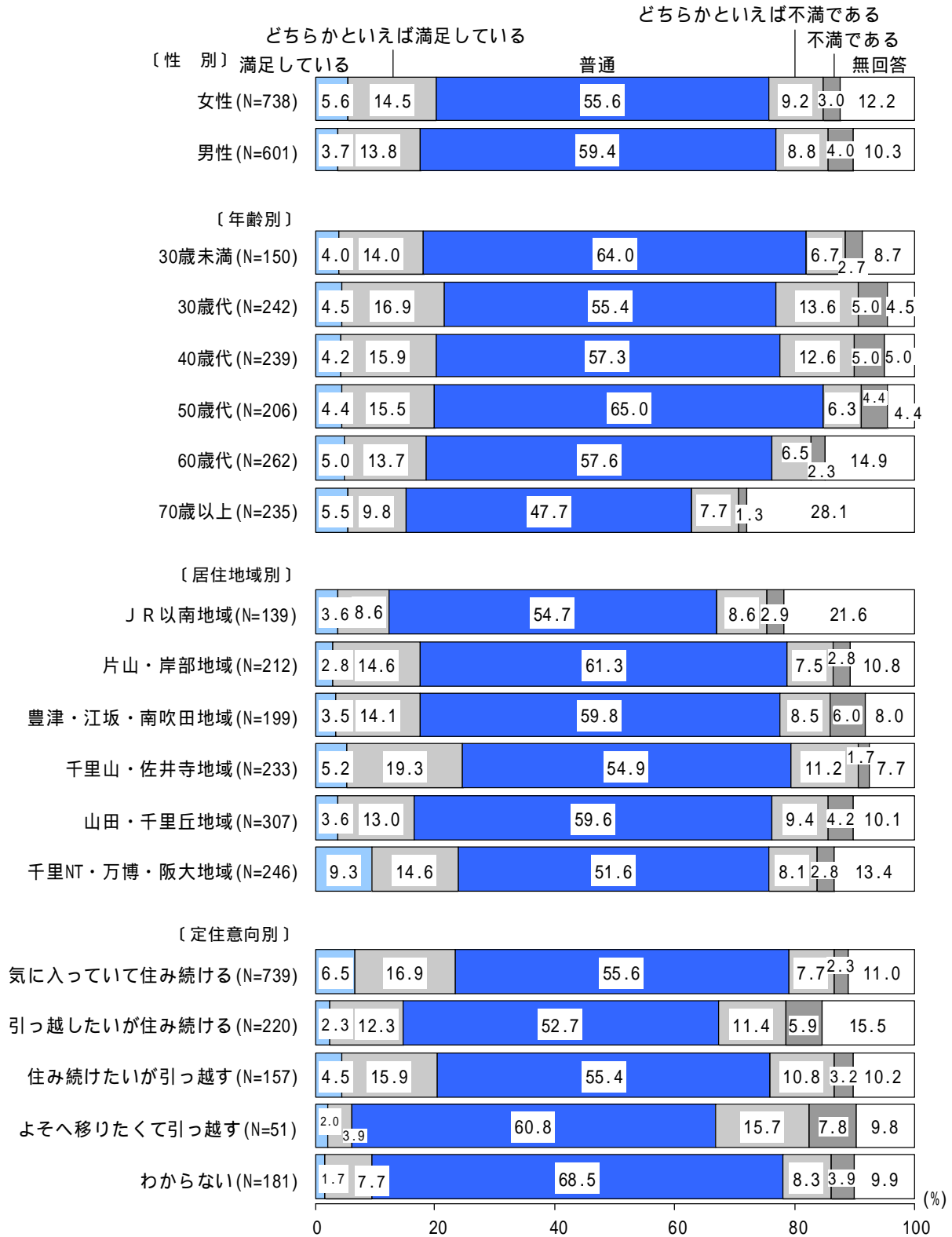
【図 3-2-5 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔利便性〕 7. 公共施設の利用しやすさ



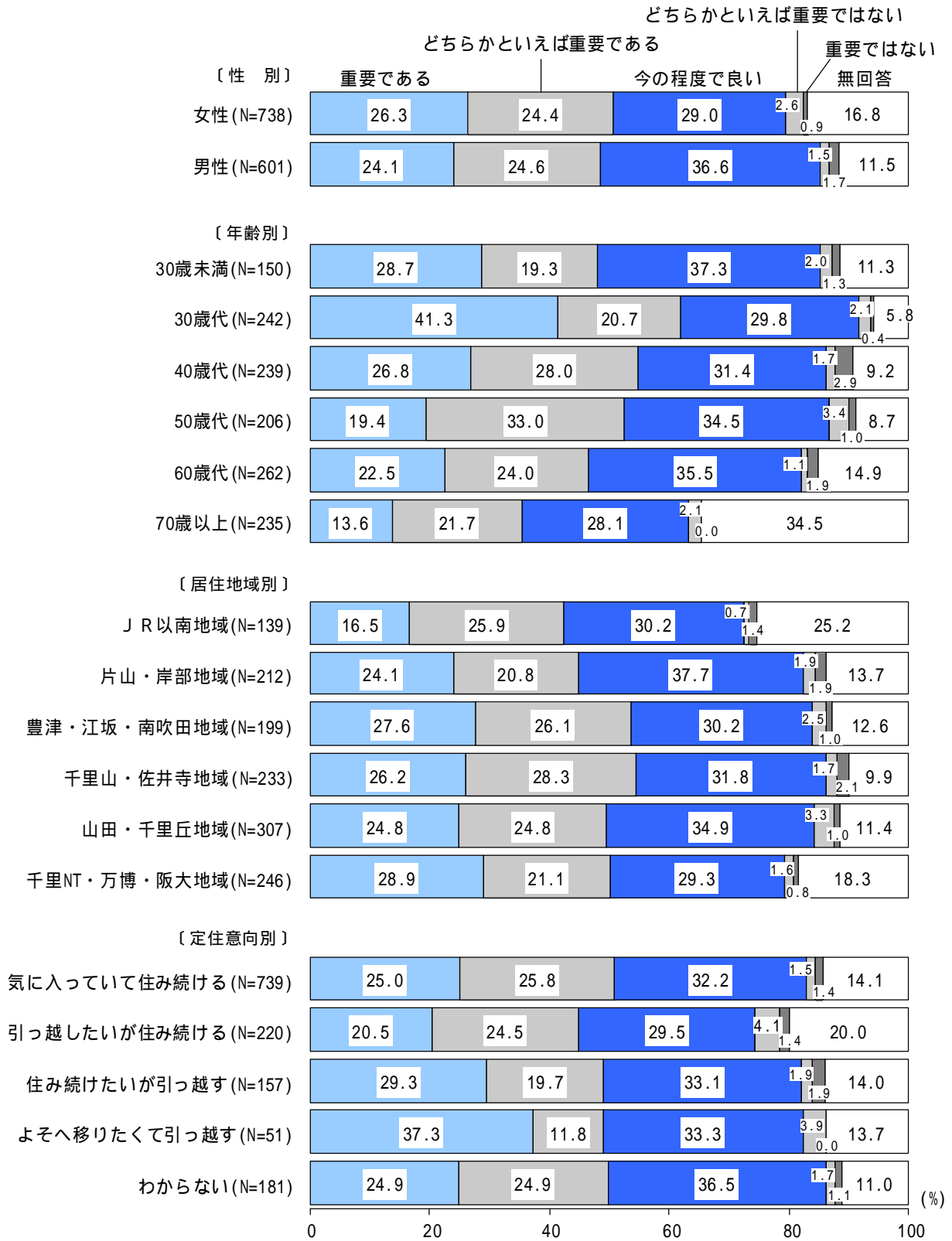
【 図 3 - 2 - 5 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度 】

〔 利便性 〕 8 . 教育・子育て支援施設の利用しやすさ



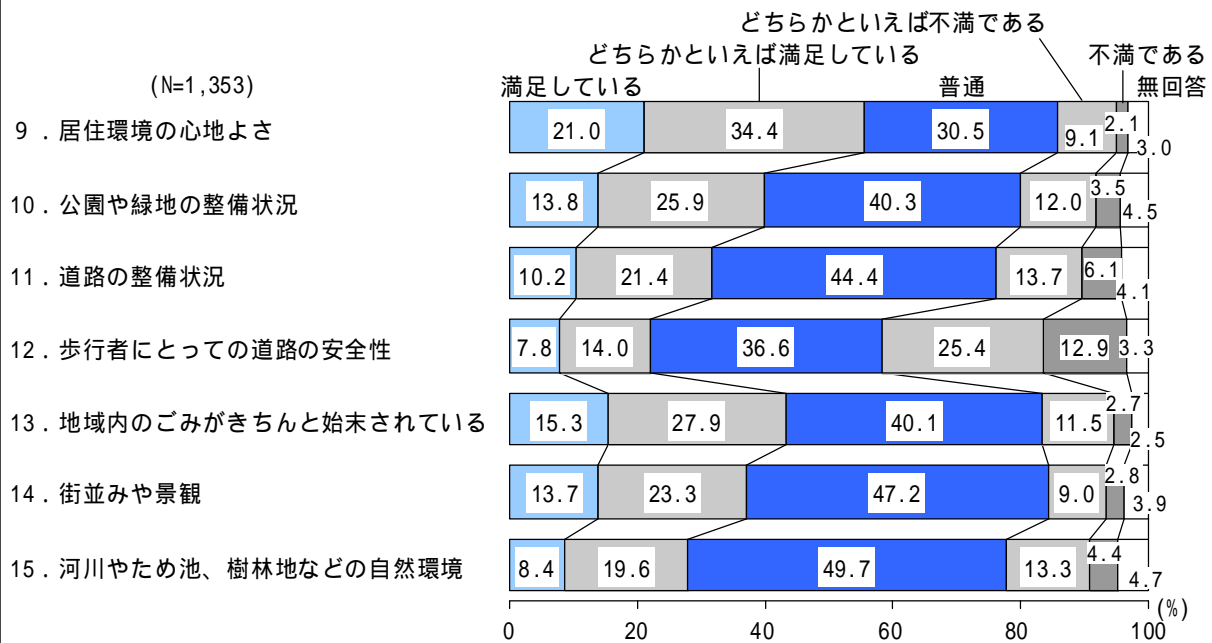
【図3-2-6 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔利便性〕8. 教育・子育て支援施設の利用しやすさ

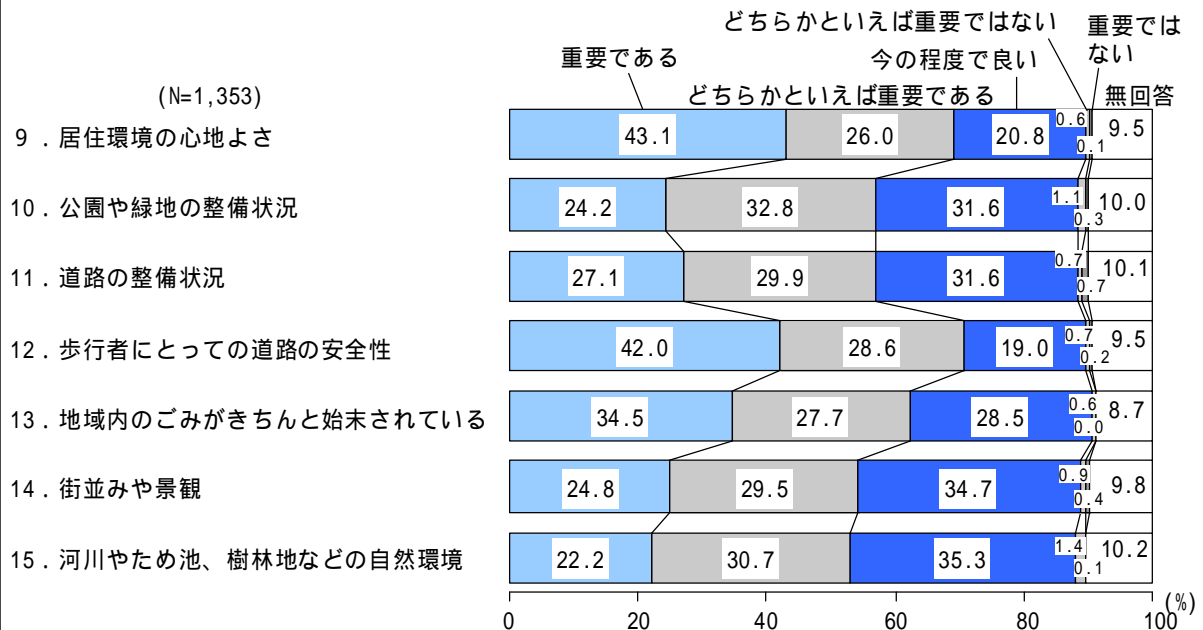


(2) 快適性

【図 3-2-7 地域の環境についての満足度】



【図 3-2-8 地域の環境についての重要度】



【表3-2-9 地域の環境に対する満足度と重要度（平均評価点）の経年比較】

		(平均評価点、100点満点)			重要度 平成 22 年度
		満足度			
		平成 22 年度	平成 18 年度	平成 14 年度	
快適 性	9. 居住環境の心地よさ	66.2	65.1	62.9	80.8
	10. 公園や緑地の整備状況	59.0	59.5	58.4	72.1
	11. 道路の整備状況	54.1	* 52.5	* 49.8	72.8
	12. 歩行者にとっての道路の安全性	44.4			80.8
	13. 地域内のごみがきちんと始末されている	60.7	58.2	55.7	76.3
	14. 街並みや景観	59.4	58.4	55.7	71.5
	15. 河川やため池、樹林地などの自然環境	53.8	52.7	49.9	70.4

*平成14年度・18年度調査では、「道路や歩道の整備状況」

満足・重要 = 100点、どちらかといえば満足・重要 = 75点、普通・今の程度で良い = 50点、どちらかといえば不満・重要ではない = 25点、不満・重要ではない = 0点として平均評価点を算出。

【満足度 / 全体】 『12.歩行者にとっての道路の安全性』では“不満”(38.3%)が“満足”(21.8%)に比べ割合が高くなっている。一方、その他の項目では“満足”が高くなっており、特に、『9.居住環境の心地よさ』(55.4%)と『13.地域内のごみがきちんと始末されている』(43.2%)の割合が高くなっている。(図3-2-7)

【満足度 / 平均評価点 (経年比較)】 『9.居住環境の心地よさ』(66.2点)、『13.地域内のごみがきちんと始末されている』(60.7点)で60点以上となっている。

平成18年度・14年度と比較すると、『9.居住環境の心地よさ』、『13.地域内のごみがきちんと始末されている』、『14.街並みや景観』、『15.河川やため池、樹林地などの自然環境』は年度ごとに点数が高くなっている。(表3-2-9)

【重要度 / 全体】 全項目で“重要である”が過半数を占めており、特に、『12.歩行者にとっての道路の安全性』(70.6%)、『9.居住環境の心地よさ』(69.1%)、『13.地域内のごみがきちんと始末されている』(62.2%)では6割以上となっている。(図3-2-8)

【重要度 / 平均評価点】 『9.居住環境の心地よさ』と『12.歩行者にとっての道路の安全性』がともに80.8点と最も高く、それ以外も70点以上となっている。(表3-2-9)

【満足度と重要度の関係】 満足度と重要度の関係について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目(満足度評価点が低くかつ重要度評価点が高いもので両者の差が大きい項目)の上位をみると、『12.歩行者にとっての道路の安全性』(満足度44.4点、重要度80.8、差36.4)、『11.道路の整備状況』(同54.1点、同72.8、差18.7)、『15.河川やため池、樹林地などの自然環境』(同53.8点、同70.4、差16.6)である。

同様に居住地域別でみると、〔JR以南地域〕では、『12.歩行者にとっての道路の安全性』、『15.河川やため池、樹林地などの自然環境』、『10.公園や緑地の整備状況』となっている。〔片山・岸部地域〕でも、『12.歩行者にとっての道路の安全性』、『15.河川やため池、樹林地などの自然環境』が上位項目で、『11.道路の整備状況』や『13.地域内のごみがきちんと始末されている』、『9.居住環境の心地よさ』が続いている。〔豊津・江坂・南吹田地域〕では、『12.歩行者にとっての道路の安全性』、『15.河川やため池、樹林地などの自然環境』、『11.道路の整備状況』が上位となっている。〔千里山・佐井寺

地域〕及び〔山田・千里丘地域〕でも、『12.歩行者にとっての道路の安全性』、『11.道路の整備状況』、『15.河川やため池、樹林地などの自然環境』が上位であり、〔山田・千里丘地域〕では『13.地域内のごみがきちんと始末されている』も満足度と重要度の差が大きい。〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕では、『12.歩行者にとっての道路の安全性』や『13.地域内のごみがきちんと始末されている』が上位となっている。(図3-2-10 ~)

【満足度/性別】 “満足”は、『9.居住環境の心地よさ』、『10.公園や緑地の整備状況』、『12.歩行者にとっての道路の安全性』、『14.街並みや景観』、『15.河川やため池、樹林地などの自然環境』については、男性より女性のほうが高くなっている。(図3-2-11 ~)

【満足度/年齢別】 “満足”は、『10.公園や緑地の整備状況』、『11.道路の整備状況』、『12.歩行者にとっての道路の安全性』、『13.地域内のごみがきちんと始末されている』、『15.河川やため池、樹林地などの自然環境』については、60歳代で最も高い割合となっている。(図3-2-11 ~)

【満足度/居住地域別】 “満足”は、いずれの項目においても〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕で最も高い割合となっている。(図3-2-11 ~)

【満足度/定住意向別】 “満足”は、『9.居住環境の心地よさ』については、よそへ移りたくて引っ越すとの回答が最も低く、『11.道路の整備状況』、『12.歩行者にとっての道路の安全性』、『14.街並みや景観』、『15.河川やため池、樹林地などの自然環境』は引っ越したいが住み続けるとの回答で最も低くなっている。(図3-2-11 ~)

【重要度/性別】 “重要である”は、いずれの項目においても男性より女性のほうが高い割合となっている。(図3-2-12 ~)

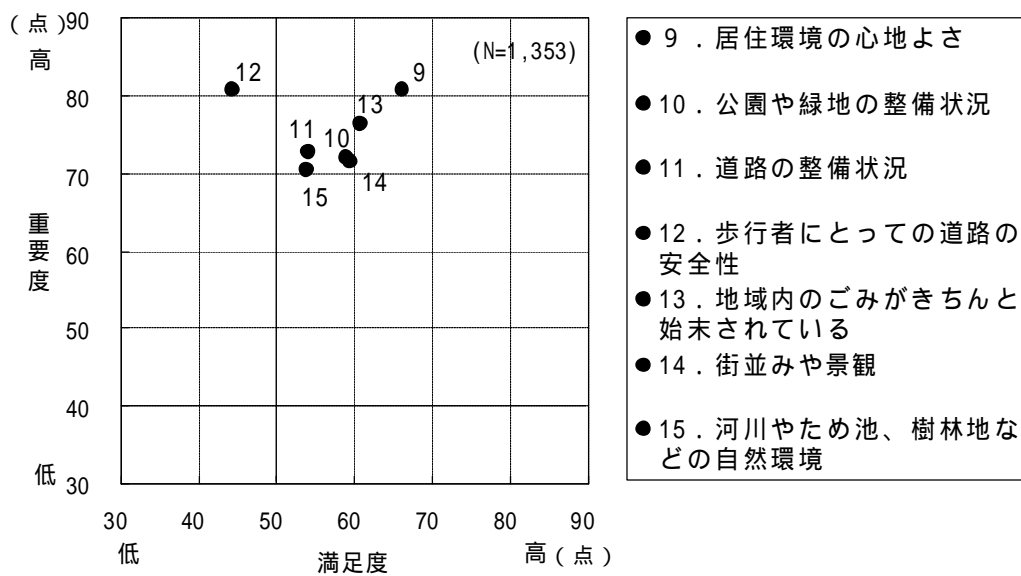
【重要度/年齢別】 “重要である”は、いずれの項目においても70歳以上で最も低い。『9.居住環境の心地よさ』と『10.公園や緑地の整備状況』は30歳代で最も高い割合となっている。(図3-2-12 ~)

【重要度/居住地域別】 “重要である”は、『9.居住環境の心地よさ』、『10.公園や緑地の整備状況』、『11.道路の整備状況』は〔千里山・佐井寺地域〕で最も高く、『13.地域内のごみがきちんと始末されている』、『14.街並みや景観』、『15.河川やため池、樹林地などの自然環境』は〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕で最も高い割合となっている。(図3-2-12 ~)

【重要度/定住意向別】 “重要である”は、『9.居住環境の心地よさ』、『10.公園や緑地の整備状況』、『12.歩行者にとっての道路の安全性』、『14.街並みや景観』でよそに移りたくて引っ越すとの回答が最も高い割合となっている。(図3-2-12 ~)

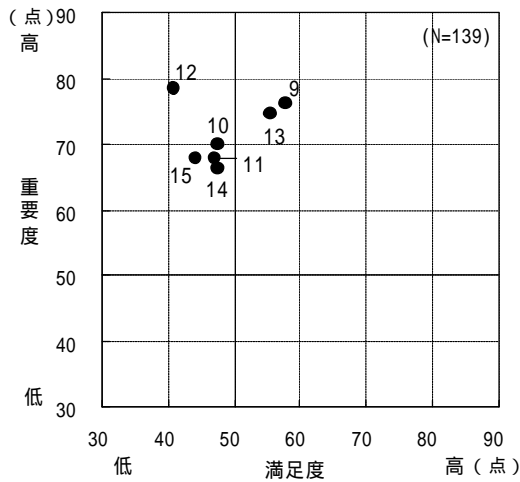
【図 3 -2 -10 満足度と重要度の関係】

〔全体〕



【図 3 -2 -10 満足度と重要度の関係】

〔 J R以南地域 〕

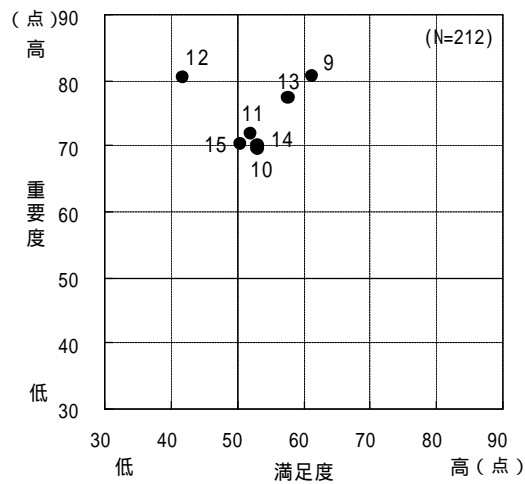


(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
9. 居住環境の心地よさ	57.8	76.1
10. 公園や緑地の整備状況	47.5	69.9
11. 道路の整備状況	47.0	67.9
12. 歩行者にとっての道路の安全性	40.7	78.5
13. 地域内のごみがきちんと始末されている	55.4	74.6
14. 街並みや景観	47.6	66.4
15. 河川やため池、樹林地などの自然環境	44.2	67.8

満足・重要=100点、どちらかといえば満足・重要=75点、普通・今の程度で良い=50点、どちらかといえば不満・重要ではない=25点、不満・重要ではない=0点として平均評価点を算出。

〔 片山・岸部地域 〕

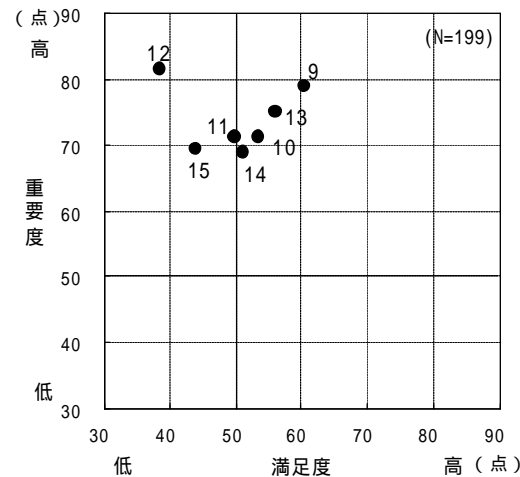


(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
9. 居住環境の心地よさ	61.3	80.6
10. 公園や緑地の整備状況	53.0	69.5
11. 道路の整備状況	52.1	71.9
12. 歩行者にとっての道路の安全性	41.7	80.5
13. 地域内のごみがきちんと始末されている	57.7	77.3
14. 街並みや景観	53.2	70.1
15. 河川やため池、樹林地などの自然環境	50.4	70.3

満足・重要=100点、どちらかといえば満足・重要=75点、普通・今の程度で良い=50点、どちらかといえば不満・重要ではない=25点、不満・重要ではない=0点として平均評価点を算出。

〔 豊津・江坂・南吹田地域 〕



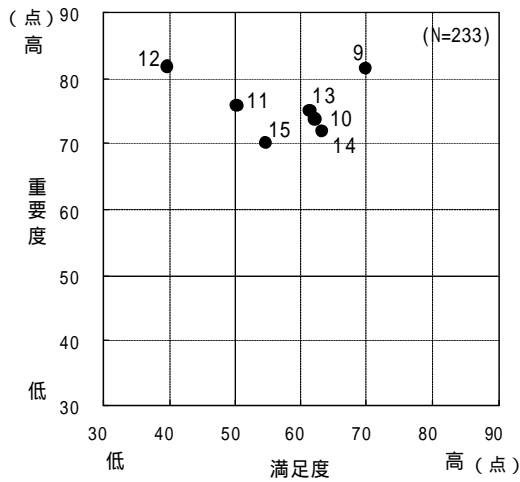
(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
9. 居住環境の心地よさ	60.3	79.0
10. 公園や緑地の整備状況	53.5	71.1
11. 道路の整備状況	49.9	71.1
12. 歩行者にとっての道路の安全性	38.4	81.6
13. 地域内のごみがきちんと始末されている	56.0	75.1
14. 街並みや景観	51.2	68.8
15. 河川やため池、樹林地などの自然環境	43.9	69.5

満足・重要=100点、どちらかといえば満足・重要=75点、普通・今の程度で良い=50点、どちらかといえば不満・重要ではない=25点、不満・重要ではない=0点として平均評価点を算出。

【図3-2-10 満足度と重要度の関係】

〔千里山・佐井寺地域〕

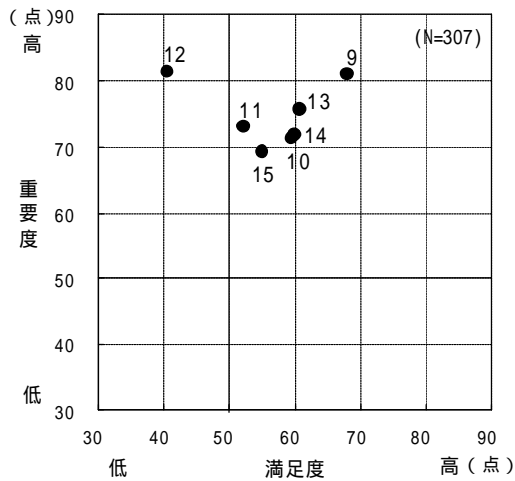


(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
9. 居住環境の心地よさ	69.8	81.5
10. 公園や緑地の整備状況	62.2	73.8
11. 道路の整備状況	50.3	75.7
12. 歩行者にとっての道路の安全性	39.7	81.8
13. 地域内のごみがきちんと始末されている	61.5	75.0
14. 街並みや景観	63.3	71.8
15. 河川やため池、樹林地などの自然環境	54.8	70.2

満足・重要=100点、どちらかといえば満足・重要=75点、普通・今の程度で良い=50点、どちらかといえば不満・重要ではない=25点、不満・重要ではない=0点として平均評価点を算出。

〔山田・千里丘地域〕

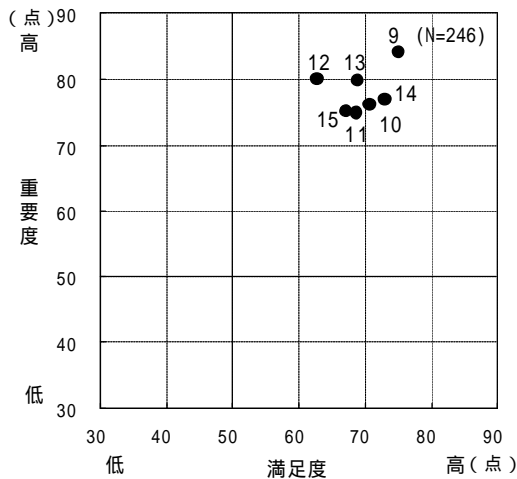


(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
9. 居住環境の心地よさ	68.0	81.0
10. 公園や緑地の整備状況	59.4	71.2
11. 道路の整備状況	52.3	72.9
12. 歩行者にとっての道路の安全性	40.5	81.3
13. 地域内のごみがきちんと始末されている	60.7	75.6
14. 街並みや景観	59.9	71.7
15. 河川やため池、樹林地などの自然環境	55.1	69.1

満足・重要=100点、どちらかといえば満足・重要=75点、普通・今の程度で良い=50点、どちらかといえば不満・重要ではない=25点、不満・重要ではない=0点として平均評価点を算出。

〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕



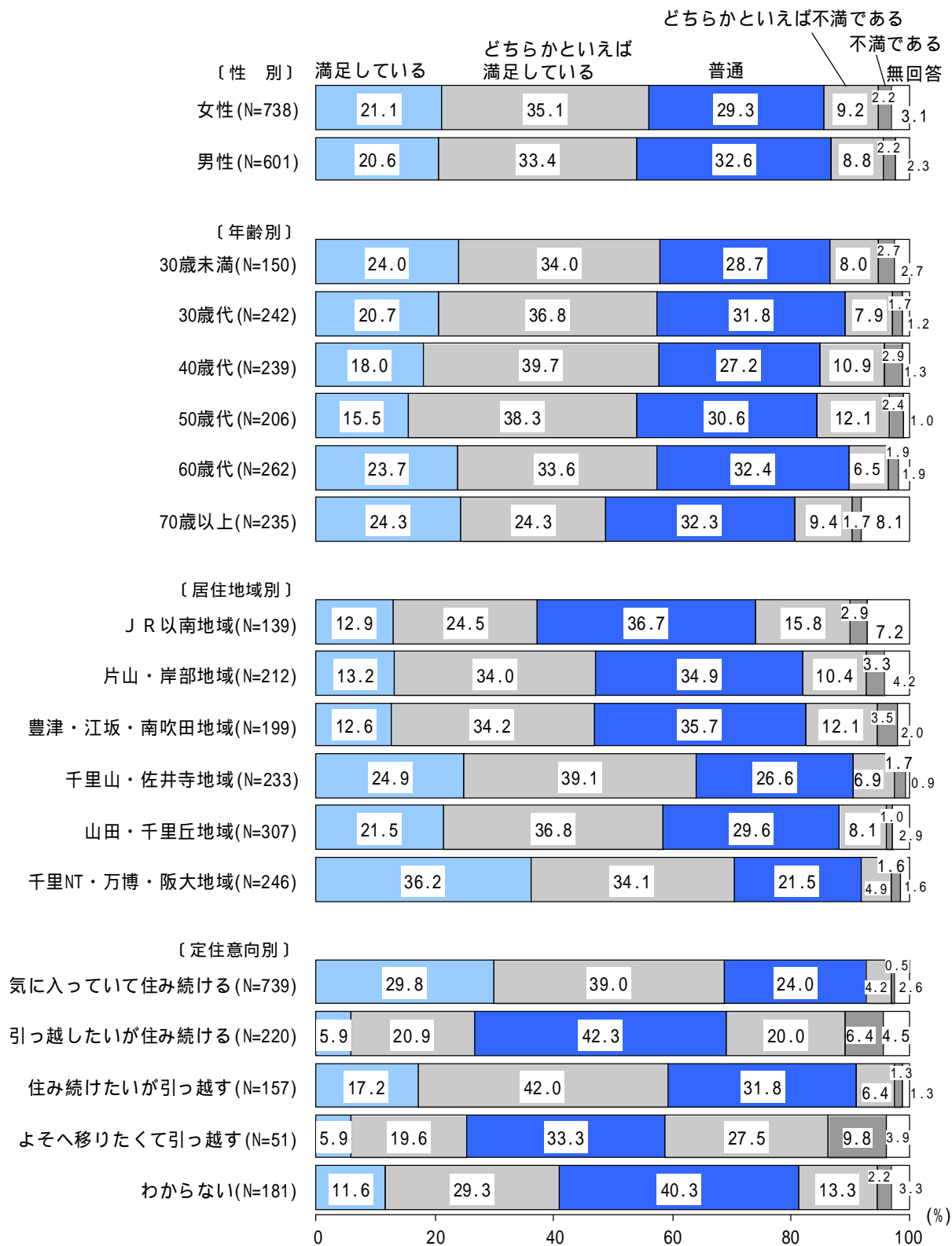
(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
9. 居住環境の心地よさ	75.0	84.1
10. 公園や緑地の整備状況	70.8	76.2
11. 道路の整備状況	68.8	74.8
12. 歩行者にとっての道路の安全性	62.7	79.9
13. 地域内のごみがきちんと始末されている	69.1	79.7
14. 街並みや景観	73.1	76.9
15. 河川やため池、樹林地などの自然環境	67.2	75.1

満足・重要=100点、どちらかといえば満足・重要=75点、普通・今の程度で良い=50点、どちらかといえば不満・重要ではない=25点、不満・重要ではない=0点として平均評価点を算出。

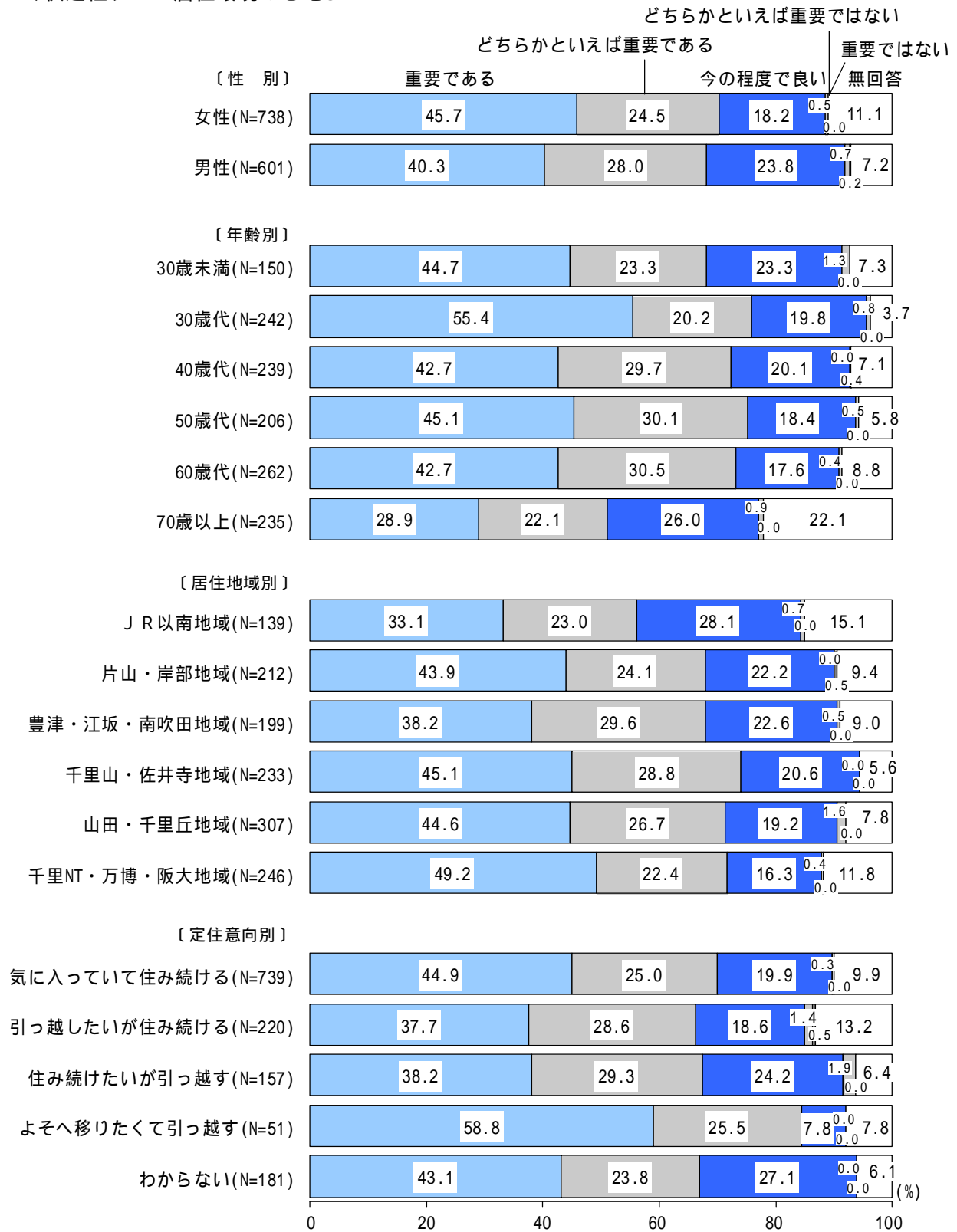
【図 3-2-11 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔快適性〕 9. 居住環境の心地よさ



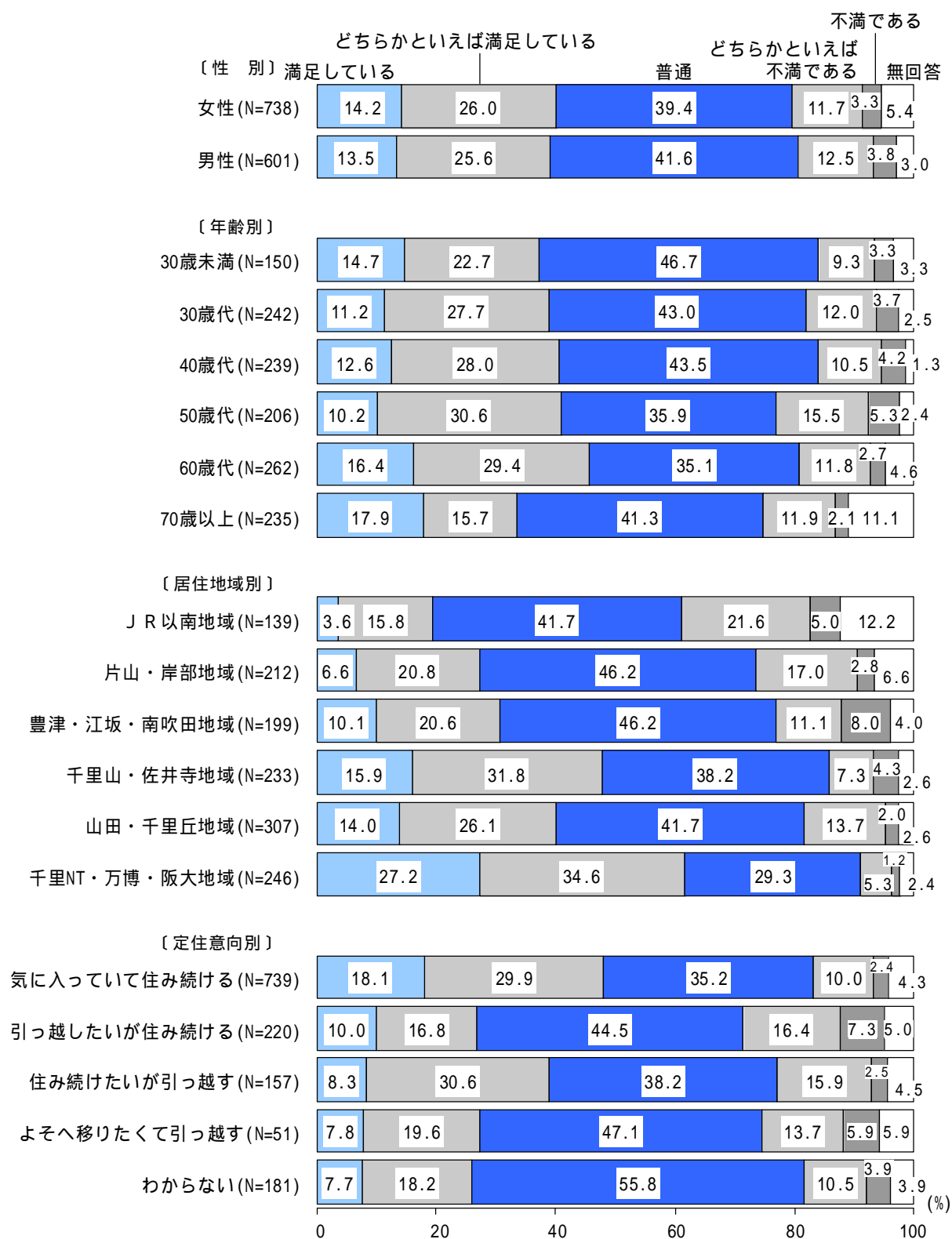
【図 3-2-12 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔快適性〕 9. 居住環境の心地よさ



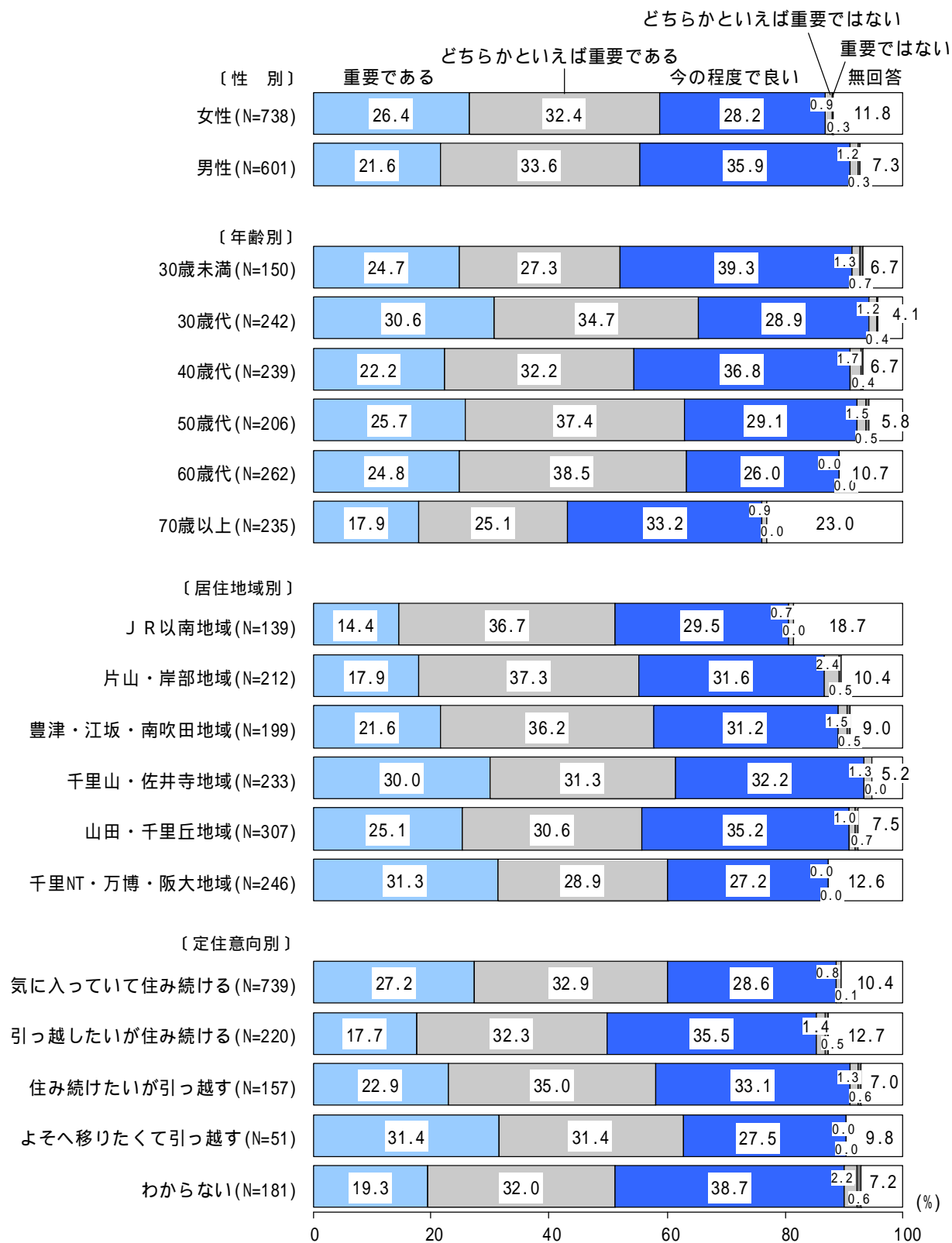
【図 3-2-11 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔快適性〕10. 公園や緑地の整備状況



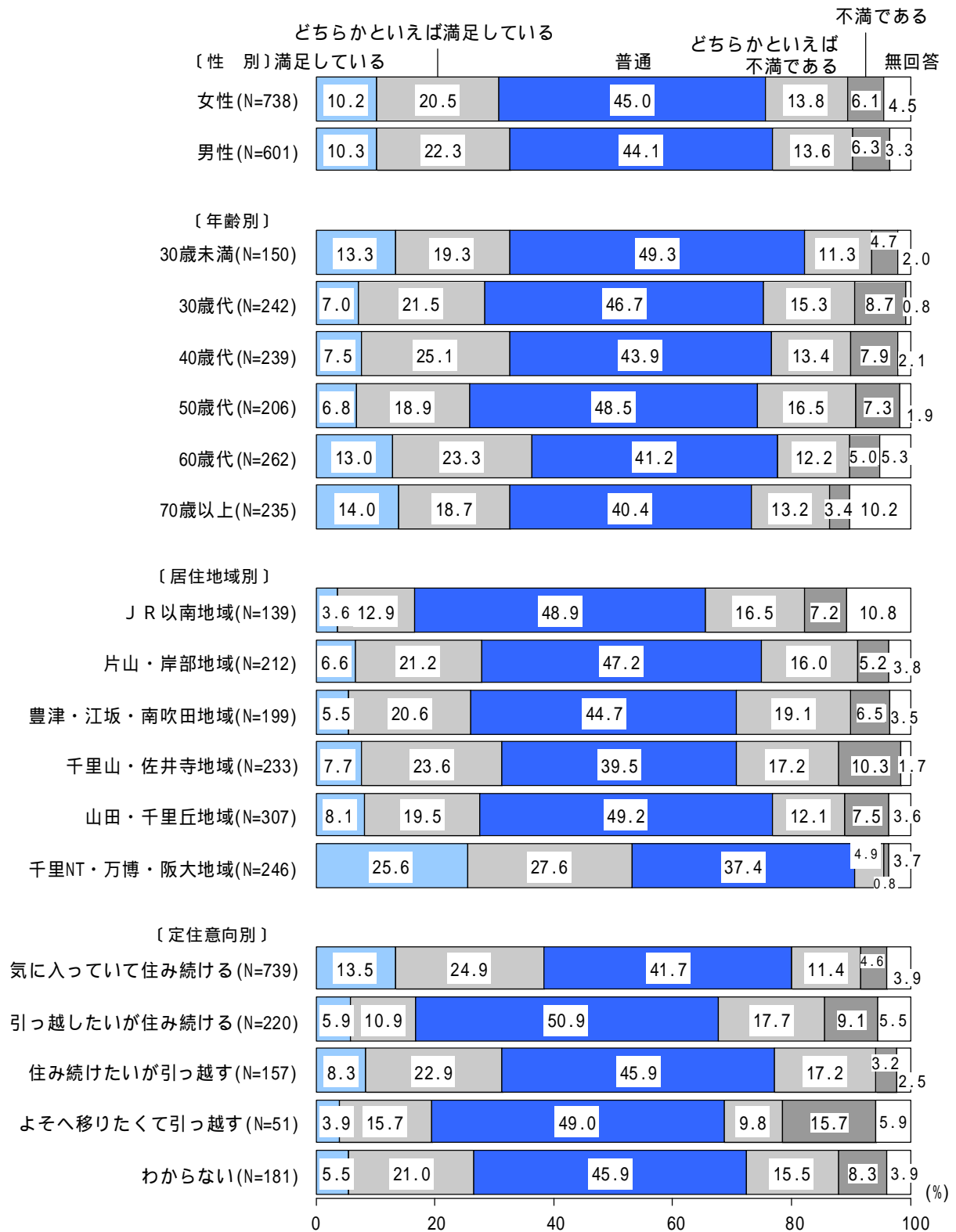
【図 3-2-12 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔快適性〕10. 公園や緑地の整備状況



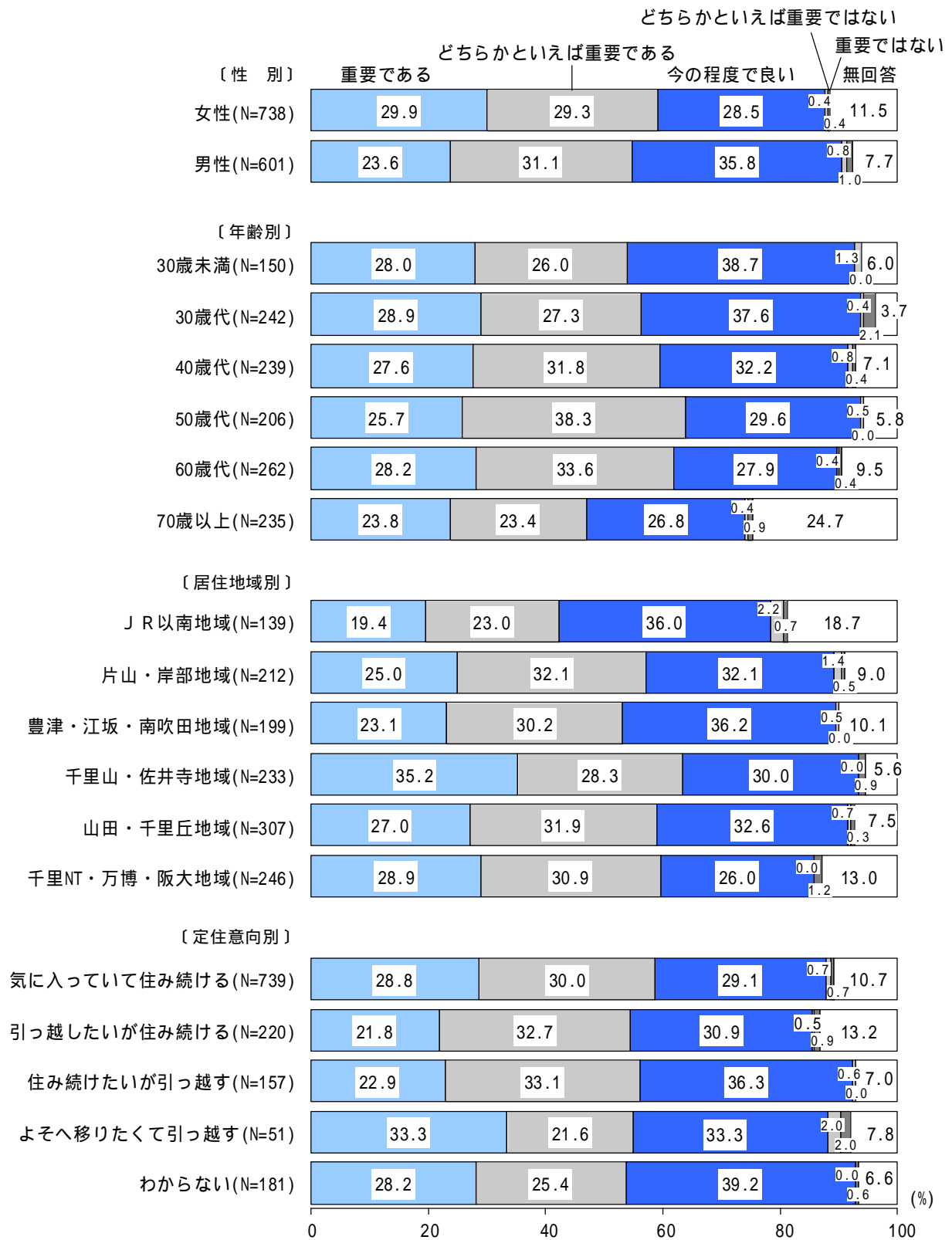
【図 3-2-11 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔快適性〕11. 道路の整備状況



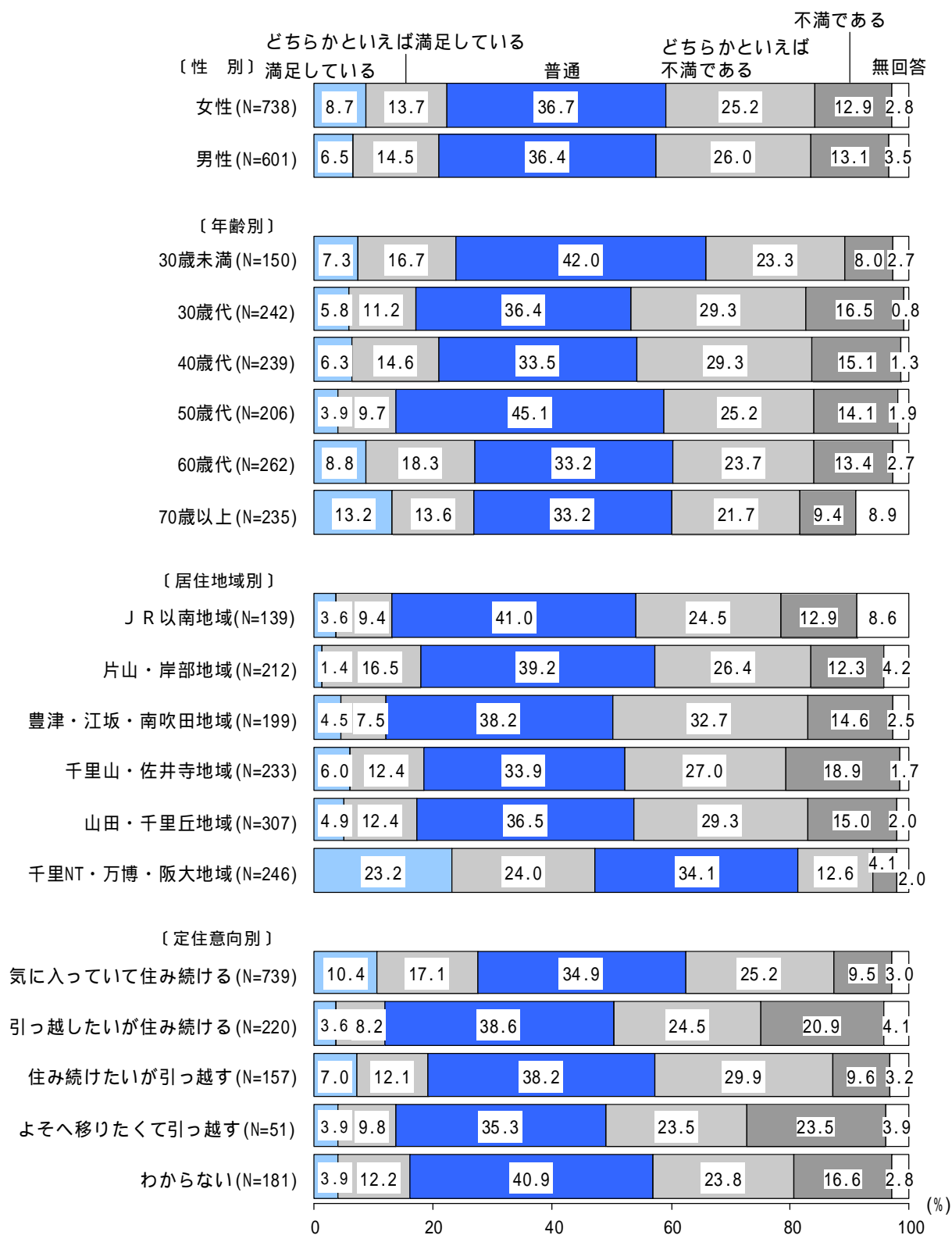
【図 3-2-12 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔快適性〕11. 道路の整備状況



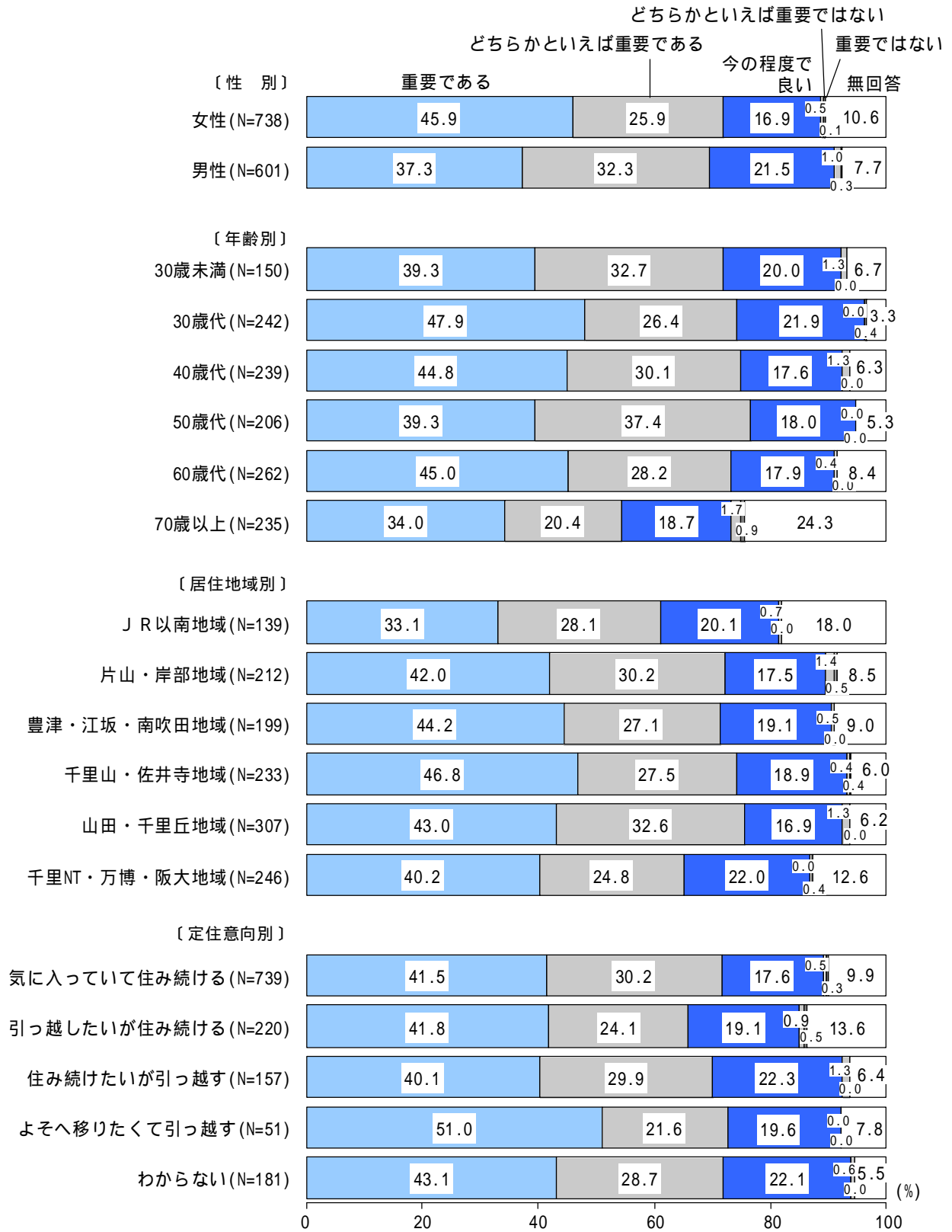
【図 3-2-11 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔快適性〕12. 歩行者にとっての道路の安全性



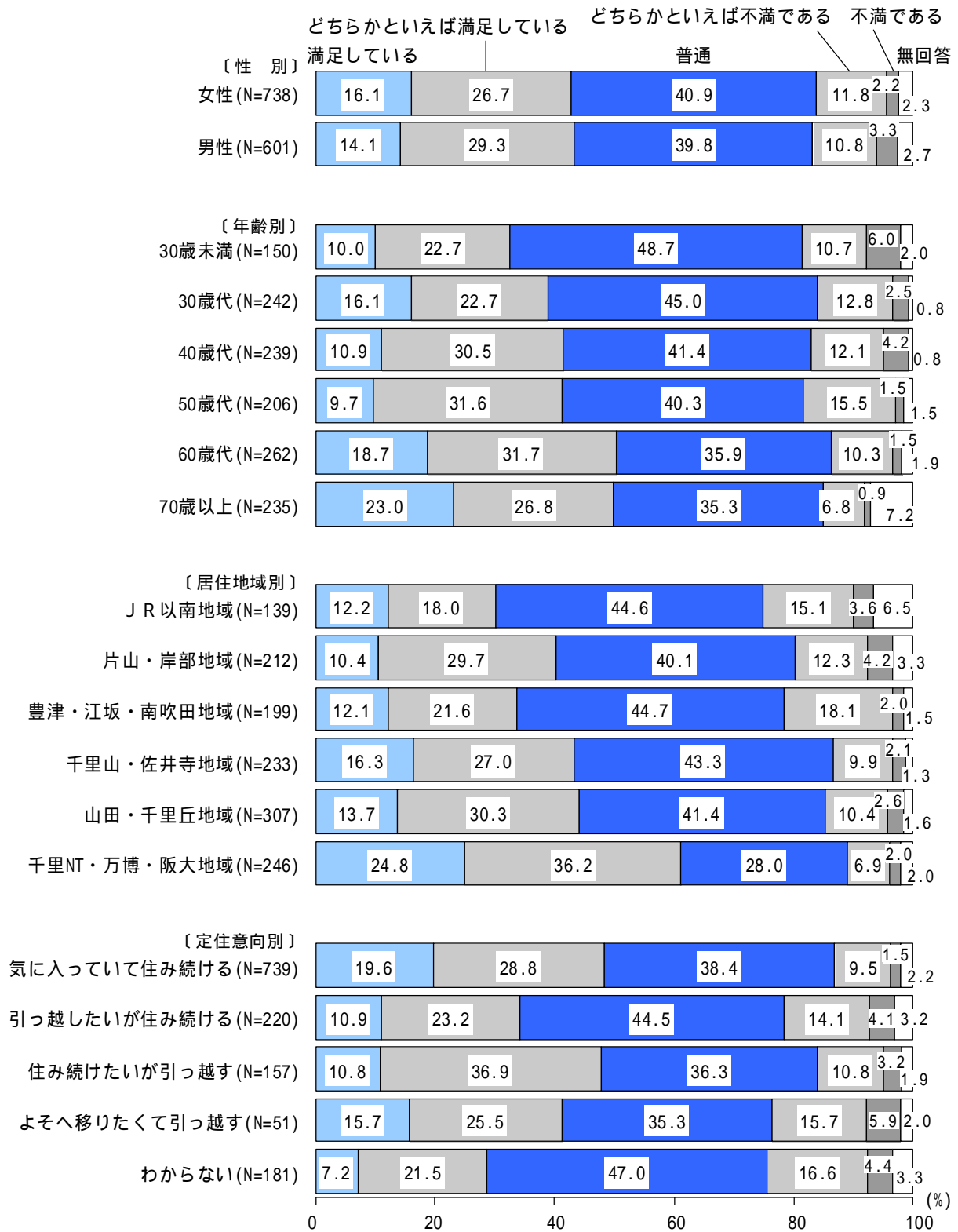
【図 3-2-12 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔快適性〕12. 歩行者にとっての道路の安全性



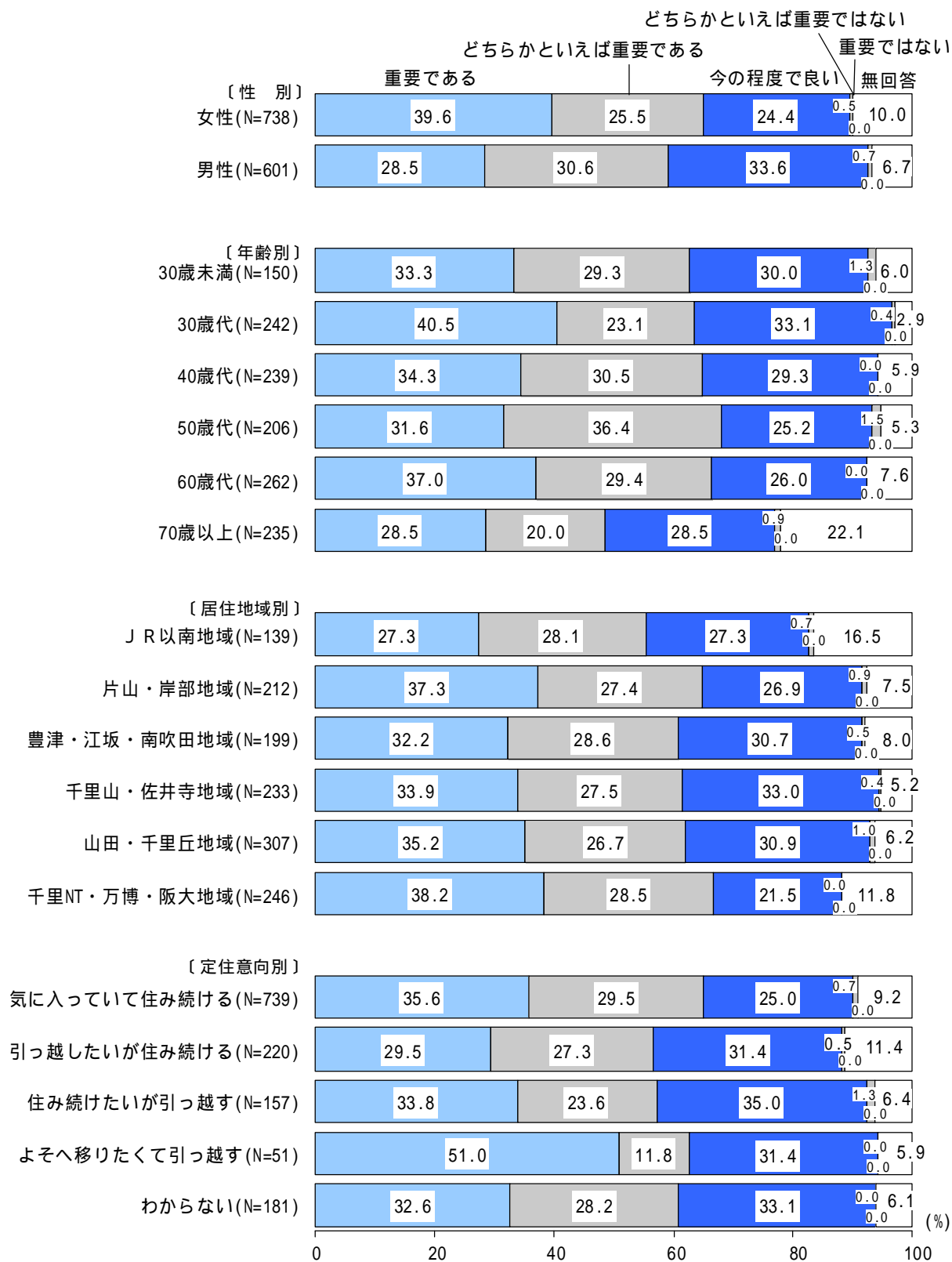
【図 3-2-11 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔快適性〕13. 地域内のごみがきちんと始末されている



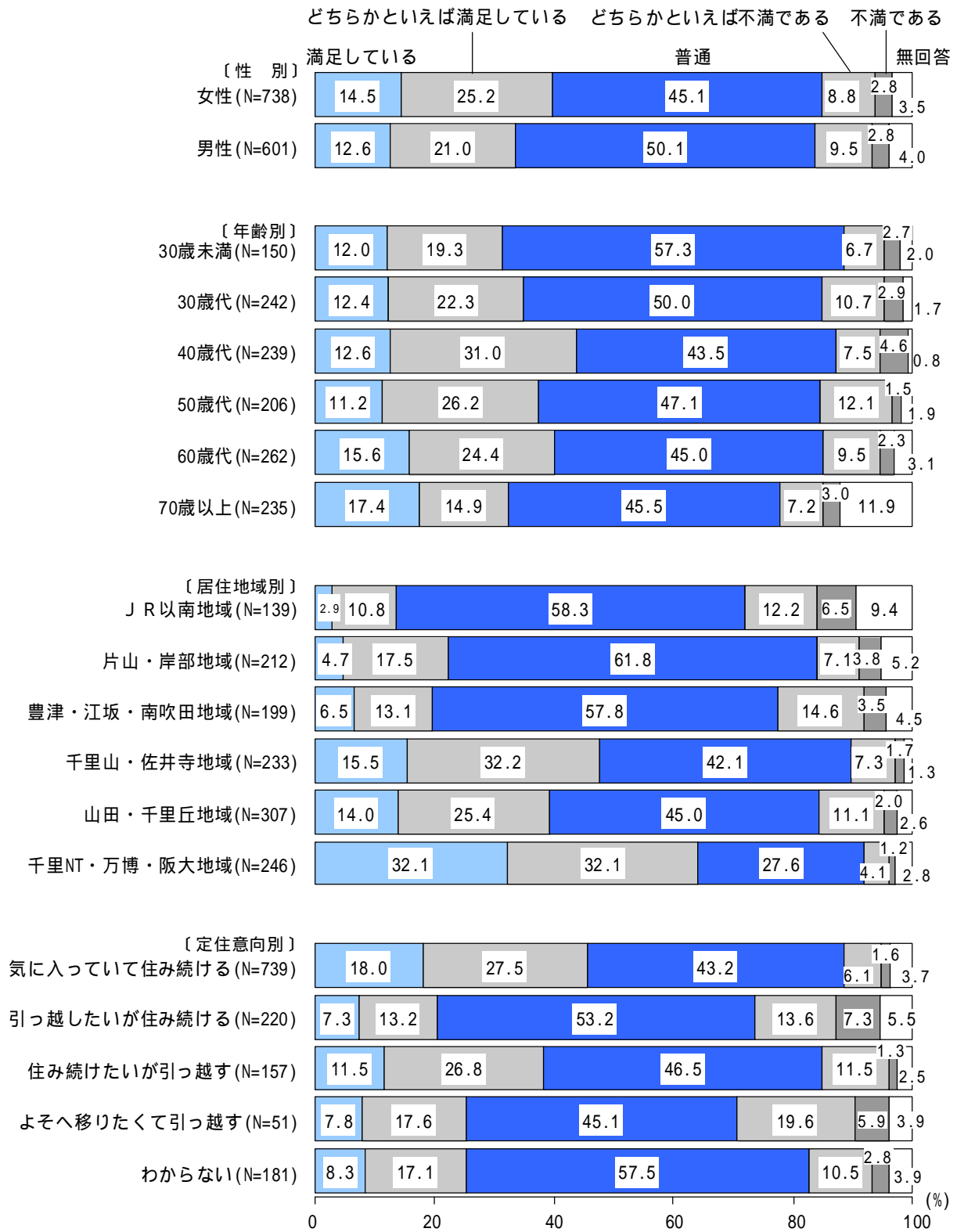
【図 3-2-12 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔快適性〕13. 地域内のごみがきちんと始末されている



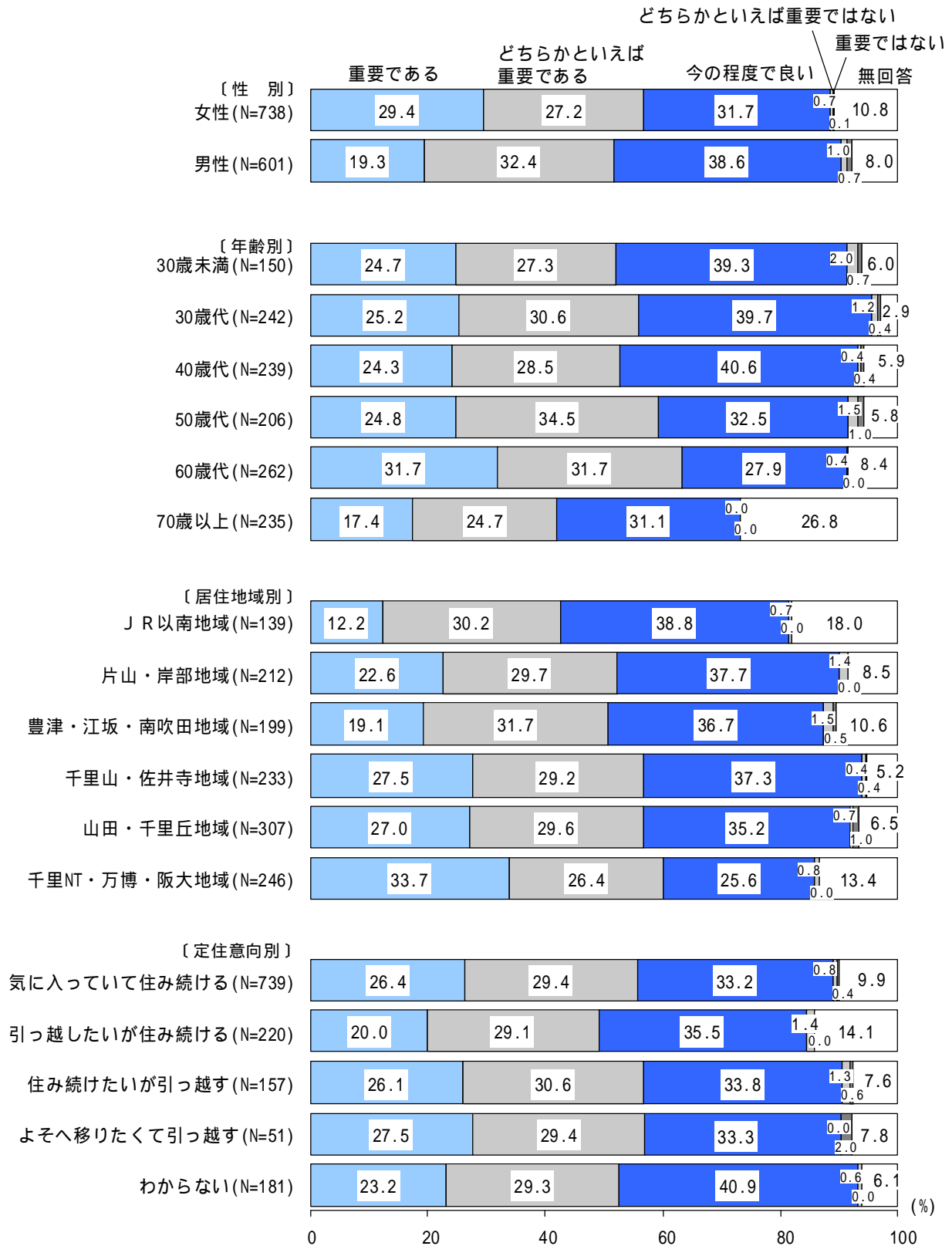
【図3-2-11 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔快適性〕14. 街並みや景観



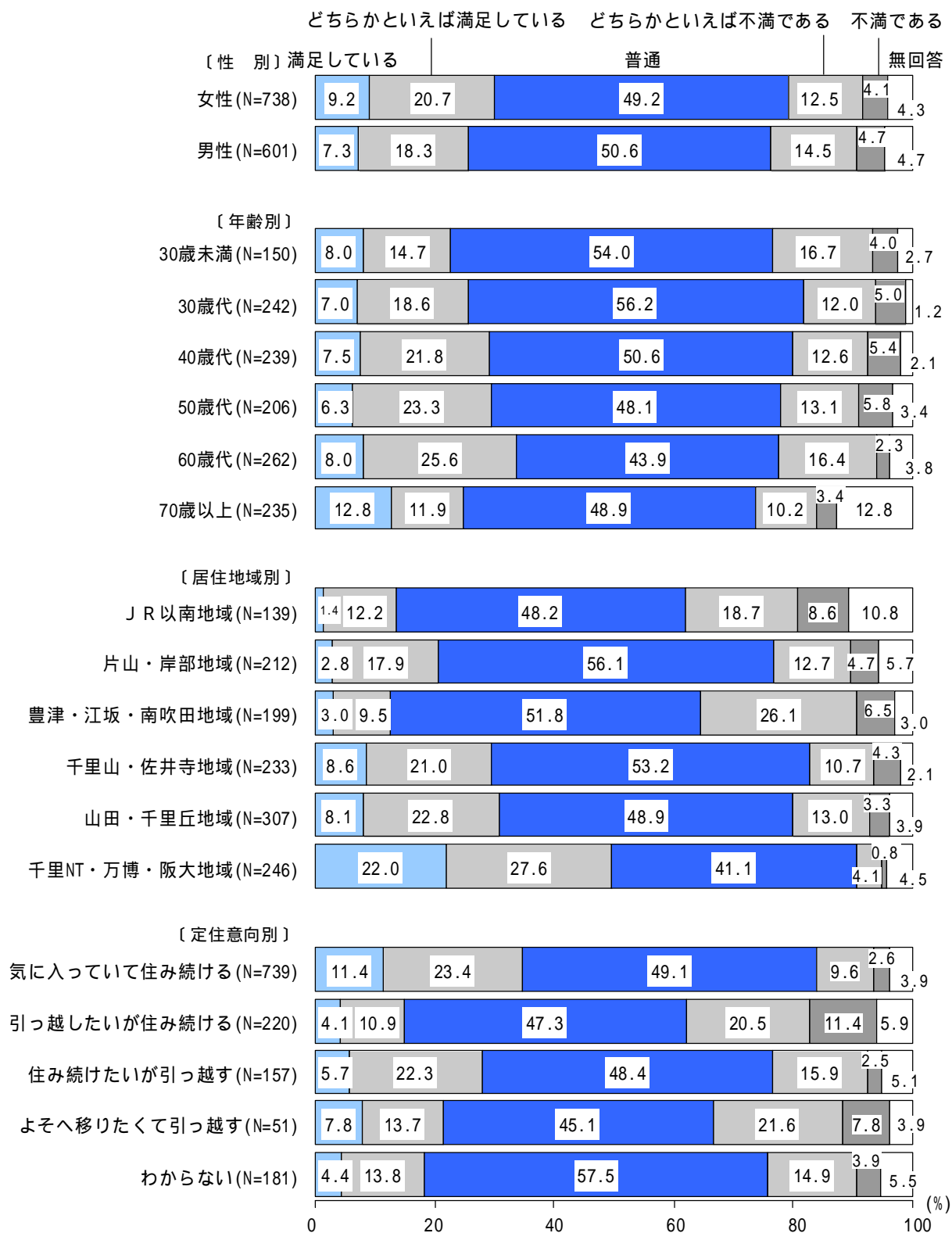
【図 3-2-12 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔快適性〕14. 街並みや景観



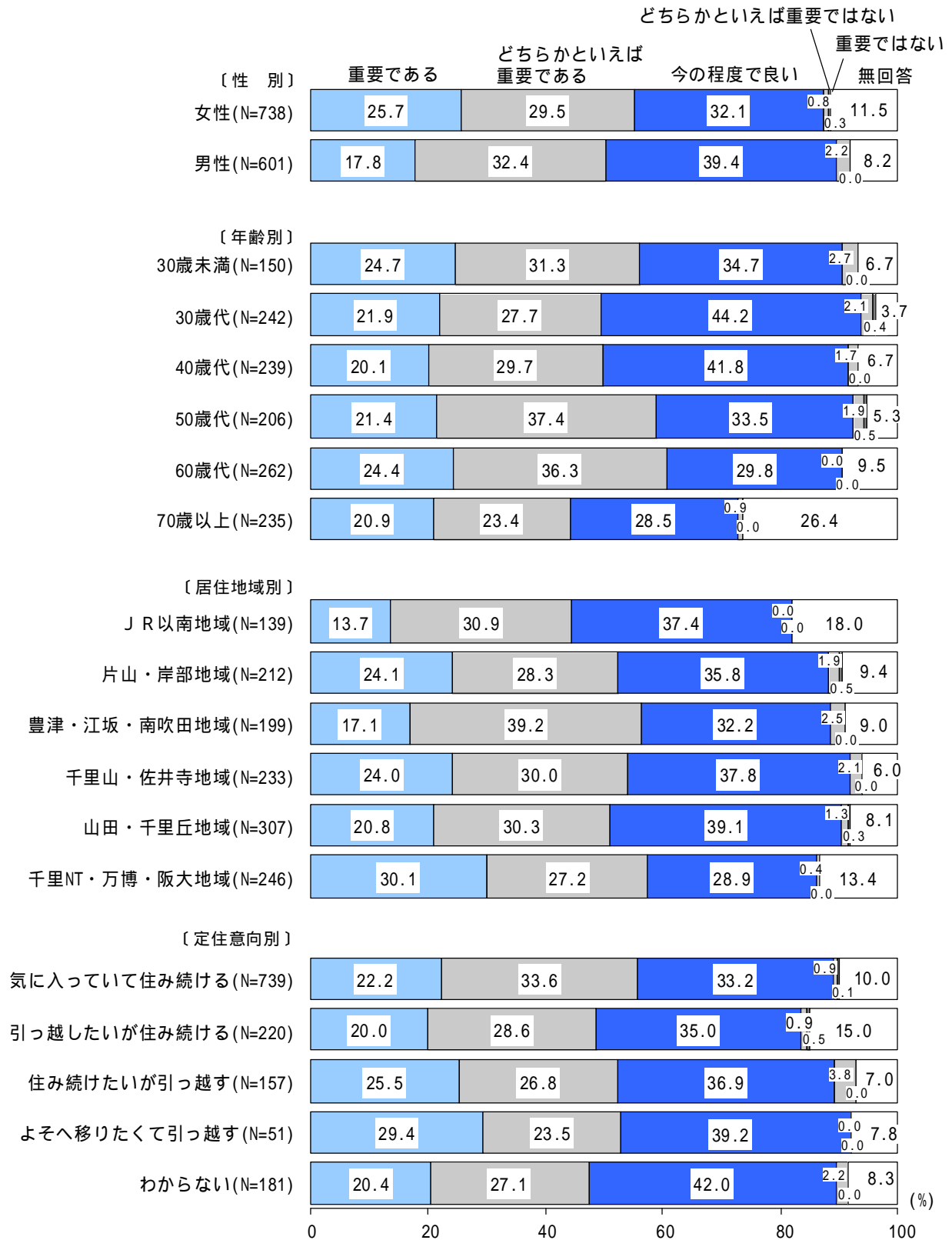
【図3-2-11 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔快適性〕15. 河川やため池、樹林地などの自然環境



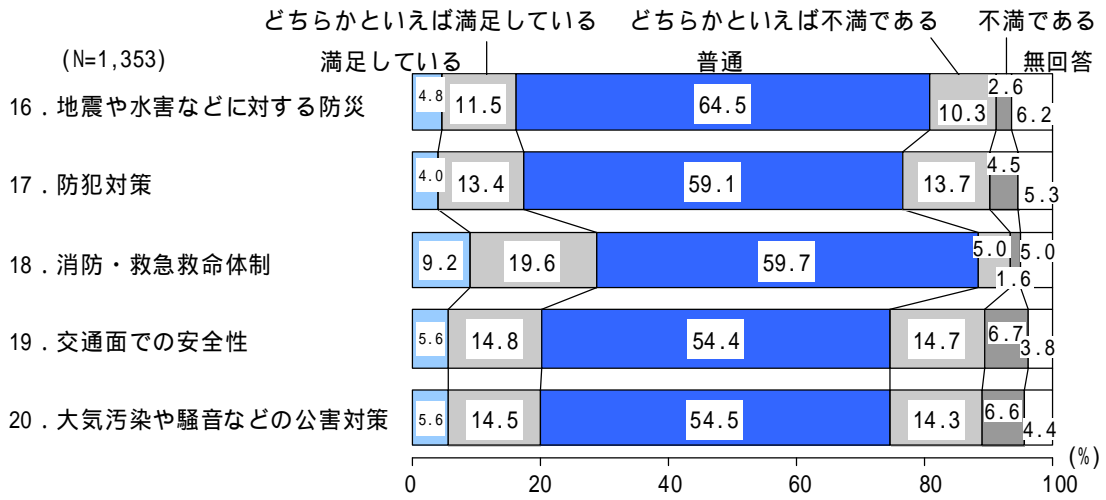
【図 3-2-12 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔快適性〕15. 河川やため池、樹林地などの自然環境

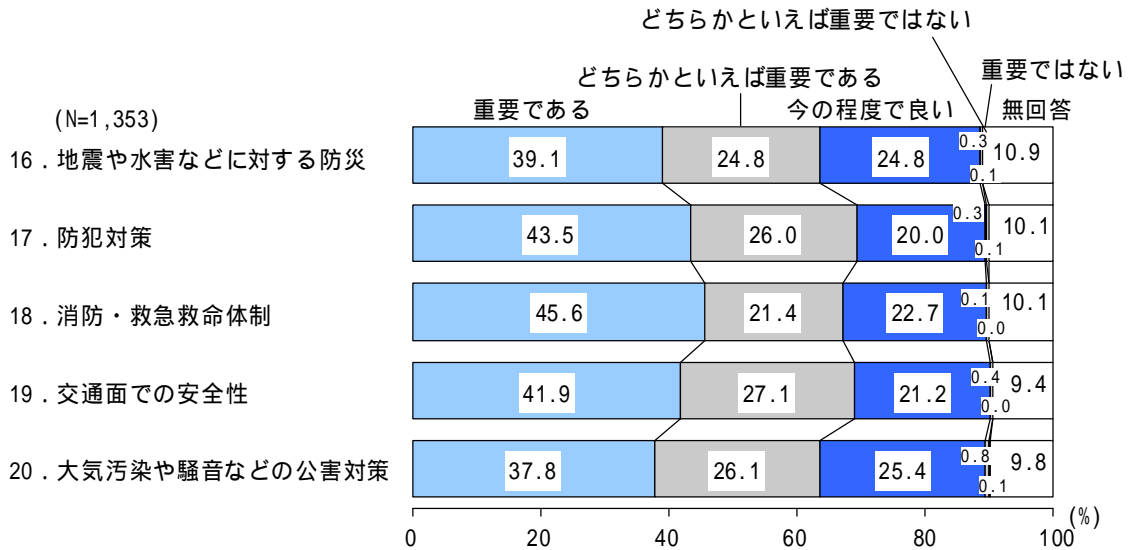


(3) 安全性

【図 3-2-13 地域の環境についての満足度】



【図 3-2-14 地域の環境についての重要度】



【表3-2-15 地域の環境に対する満足度と重要度（平均評価点）の経年比較】

		(平均評価点、100点満点)			重要度 平成 22 年度
		満足度			
		平成 22 年度	平成 18 年度	平成 14 年度	
安全性	16.地震や水害などに対する防災	51.5	50.6	46.3	78.8
	17.防犯対策	49.6	47.6	41.3	81.3
	18.消防・救急救命体制	57.8	-	-	81.3
	19.交通面での安全性	49.4	47.5	43.6	80.5
	20.大気汚染や騒音などの公害対策	49.5	45.2	41.5	77.9

満足・重要 = 100点、どちらかといえば満足・重要 = 75点、普通・今の程度で良い = 50点、どちらかといえば不満・重要ではない = 25点、不満・重要ではない = 0点として平均評価点を算出。

【満足度/全体】 全項目で「普通」が過半数を占めている。“満足”が“不満”に比べ割合が高い項目は、『18.消防・救急救命体制』(28.8%)と『16.地震や水害などに対する防災』(16.3%)となっている。一方、“不満”が高い項目は、『19.交通面での安全性』(21.4%)、『20.大気汚染や騒音などの公害対策』(20.9%)、『17.防犯対策』(18.2%)となっている。(図3-2-13)

【満足度/平均評価点(経年比較)】 『16.地震や水害などに対する防災』(51.5点)と『18.消防・救急救命体制』(57.8点)で50点以上となっている。

平成18年度・14年度と比較すると、いずれの項目においても年度ごとに点数が高くなっている。(表3-2-15)

【重要度/全体】 全項目で“重要である”が6割以上を占めており、特に、『17.防犯対策』(69.5%)と、『19.交通面での安全性』(69.0%)では7割弱を占めている。(図3-2-14)

【重要度/平均評価点】 『17.防犯対策』と『18.消防・救急救命体制』で81.3点と最も高く、次いで『19.交通面での安全性』(80.5点)となっている。(表3-2-15)

【満足度と重要度の関係】 満足度と重要度の関係について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目(満足度評価点が低くかつ重要度評価点が高いもので両者の差が大きい項目)の上位をみると、『17.防犯対策』(満足度49.6点、重要度81.3点、差31.7点)、『19.交通面での安全性』(同49.4点、同80.5点、差31.1点)、『20.大気汚染や騒音などの公害対策』(同49.5点、同77.9点、差28.4点)である。

同様に居住地域別でみると、いずれの地域も『17.防犯対策』と『20.大気汚染や騒音などの公害対策』で満足度と重要度の差が大きくなっている。また、〔JR以南地域〕〔片山・岸部地域〕〔豊津・江坂・南吹田地域〕〔千里山・佐井寺地域〕〔山田・千里丘地域〕では、『19.交通面での安全性』での差も大きい。〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕では、『16.地震や水害などに対する防災』での差も大きくなっている。(図3-2-16 ~)

【満足度/性別】 “満足”は『18.消防・救急救命体制』、『19.交通面での安全性』、『20.大気汚染や騒音などの公害対策』については、男性より女性のほうが高くなっている。(図3-2-17 ~)

【満足度/年齢別】 “満足”は、『16.地震や水害などに対する防災』、『18.消防・救急救命体制』、『19.交通面での安全性』については、60歳代で最も高い割合となっている。(図3-2-17 ~)

【満足度/居住地域別】 “満足”は、いずれの項目も〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕が最も高い割合となっている。(図3-2-17 ~)

【満足度/定住意向別】 “満足”は、『17.防犯対策』、『18.消防・救急救命体制』、『19.交通面での安全性』、『20.大気汚染や騒音などの公害対策』については、よそへ移りたくて引っ越すとの回答が最も低くなっている。(図3-2-17 ~)

【重要度/性別】 “重要である”は、いずれの項目においても男性より女性のほうが高い割合となっている。(図3-2-18 ~)

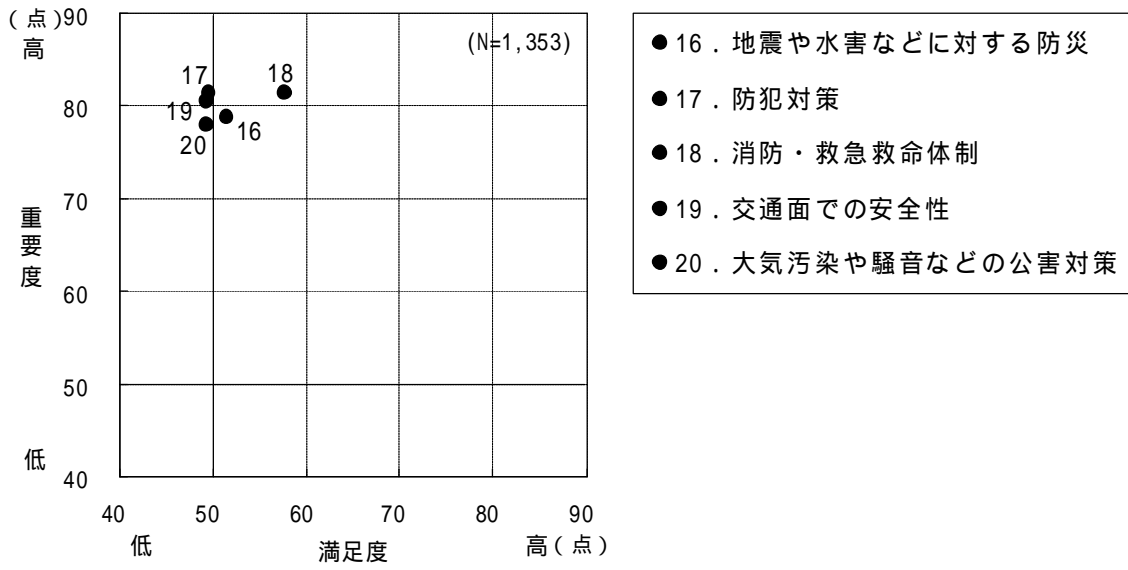
【重要度/年齢別】 “重要である”は、『16.地震や水害などに対する防災』、『17.防犯対策』、『18.消防・救急救命体制』については、50歳代で最も高い割合となっている。(図3-2-18 ~)

【重要度/居住地域別】 “重要である”は、『16.地震や水害などに対する防災』、『17.防犯対策』、『20.大気汚染や騒音などの公害対策』については、〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕が最も高い割合となっている。(図3-2-18 ~)

【重要度/定住意向別】 “重要である”は、『19.交通面での安全性』、『20.大気汚染や騒音などの公害対策』については、よそへ移りたくて引っ越すとの回答が最も高くなっている。(図3-2-18 ~)

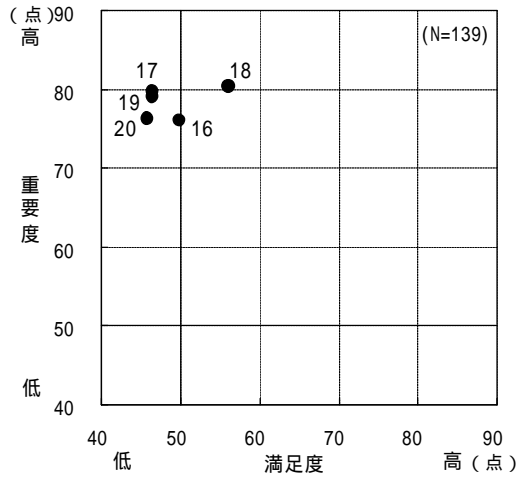
【図 3 -2 -16 満足度と重要度の関係】

〔全体〕



【図 3 -2 -16 満足度と重要度の関係】

〔 J R以南地域〕

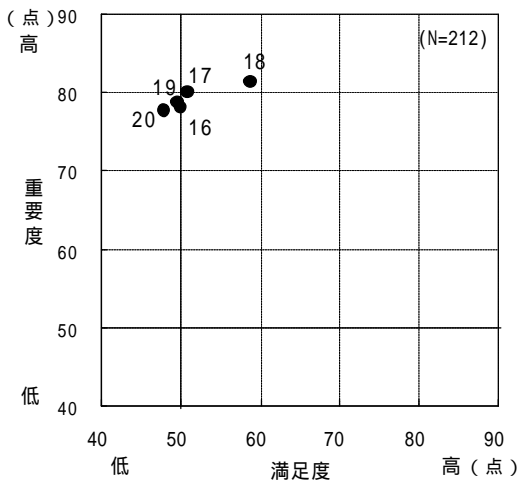


(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
16. 地震や水害などに対する防災	49.8	76.1
17. 防犯対策	46.5	79.7
18. 消防・救急救命体制	56.1	80.3
19. 交通面での安全性	46.4	79.1
20. 大気汚染や騒音などの公害対策	45.7	76.3

満足・重要=100点、どちらかといえば満足・重要=75点、普通・今の程度で良い=50点、どちらかといえば不満・重要ではない=25点、不満・重要ではない=0点として平均評価点を算出。

〔 片山・岸部地域〕

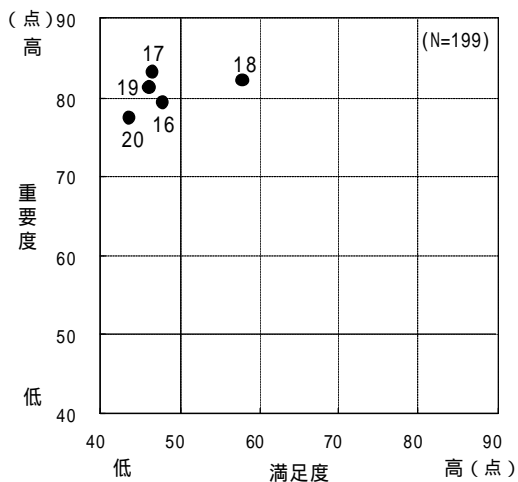


(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
16. 地震や水害などに対する防災	50.1	78.2
17. 防犯対策	50.8	80.0
18. 消防・救急救命体制	58.9	81.3
19. 交通面での安全性	49.6	78.7
20. 大気汚染や騒音などの公害対策	47.8	77.7

満足・重要=100点、どちらかといえば満足・重要=75点、普通・今の程度で良い=50点、どちらかといえば不満・重要ではない=25点、不満・重要ではない=0点として平均評価点を算出。

〔 豊津・江坂・南吹田地域〕



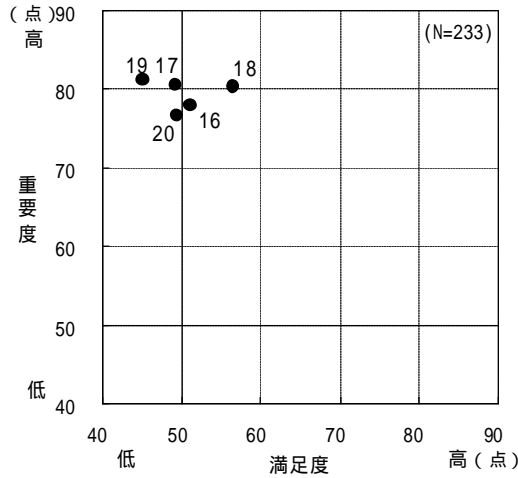
(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
16. 地震や水害などに対する防災	48.0	79.2
17. 防犯対策	46.7	83.1
18. 消防・救急救命体制	58.0	82.0
19. 交通面での安全性	46.2	81.3
20. 大気汚染や騒音などの公害対策	43.6	77.4

満足・重要=100点、どちらかといえば満足・重要=75点、普通・今の程度で良い=50点、どちらかといえば不満・重要ではない=25点、不満・重要ではない=0点として平均評価点を算出。

【図 3-2-16 満足度と重要度の関係】

〔千里山・佐井寺地域〕

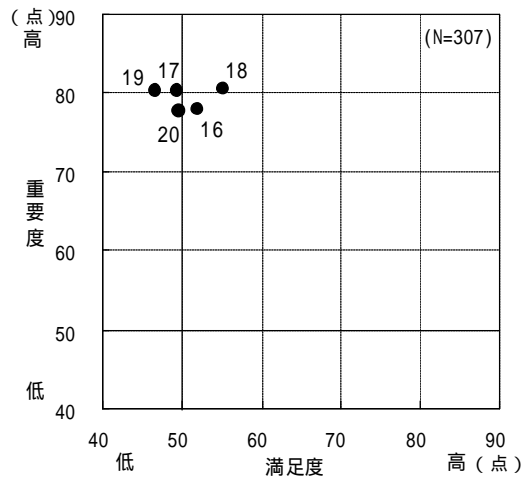


(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
16. 地震や水害などに対する防災	51.1	78.0
17. 防犯対策	49.3	80.6
18. 消防・救急救命体制	56.5	80.3
19. 交通面での安全性	45.2	81.2
20. 大気汚染や騒音などの公害対策	49.5	76.7

満足・重要 = 100点、どちらかといえば満足・重要 = 75点、普通・今の程度で良い = 50点、どちらかといえば不満・重要ではない = 25点、不満・重要ではない = 0点として平均評価点を算出。

〔山田・千里丘地域〕

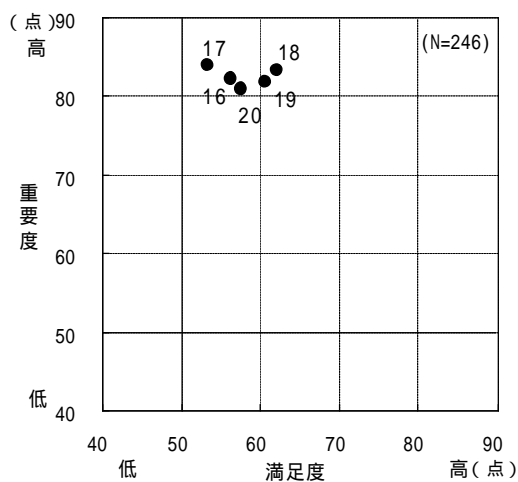


(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
16. 地震や水害などに対する防災	52.0	78.0
17. 防犯対策	49.3	80.3
18. 消防・救急救命体制	55.2	80.5
19. 交通面での安全性	46.6	80.4
20. 大気汚染や騒音などの公害対策	49.7	77.7

満足・重要 = 100点、どちらかといえば満足・重要 = 75点、普通・今の程度で良い = 50点、どちらかといえば不満・重要ではない = 25点、不満・重要ではない = 0点として平均評価点を算出。

〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕



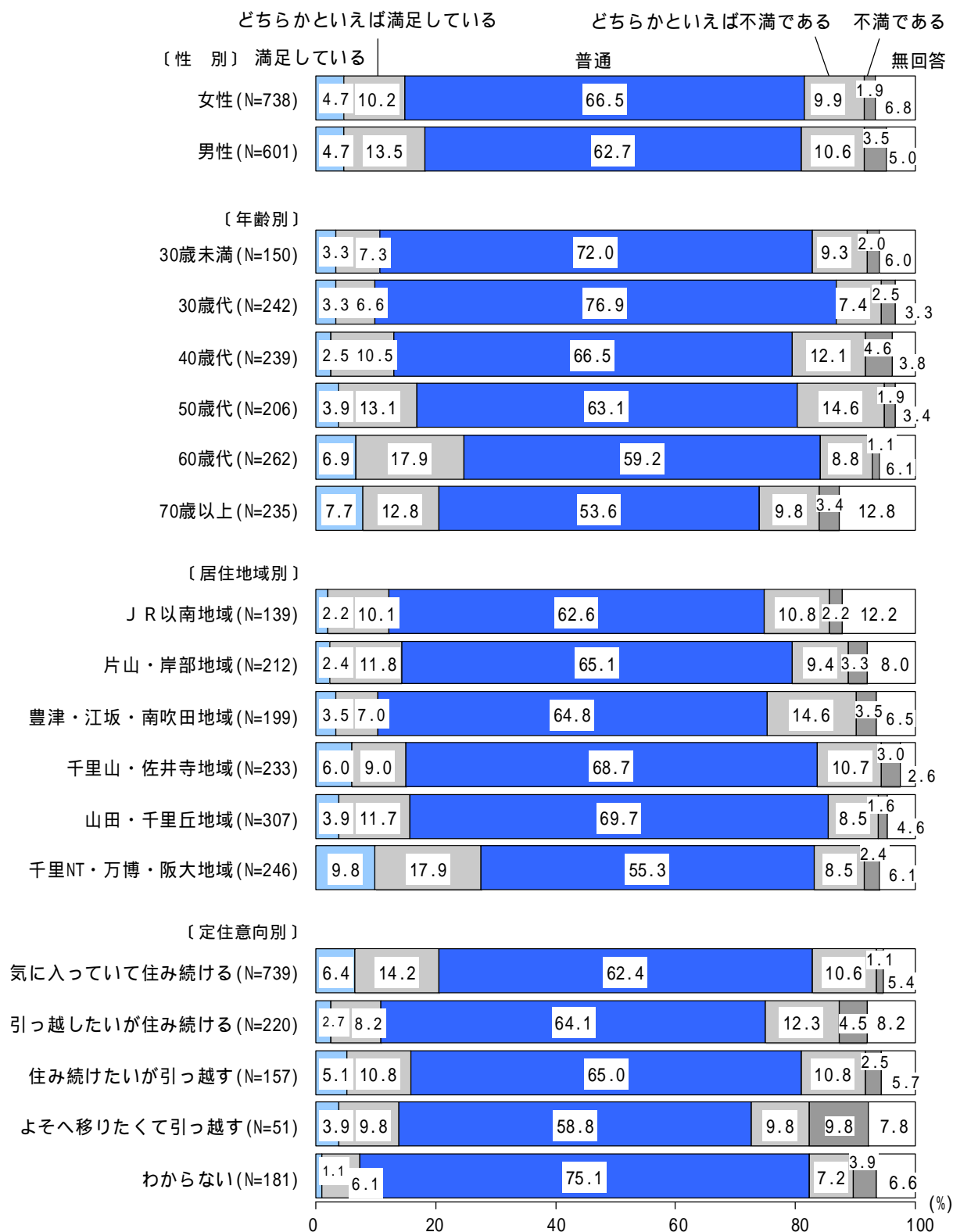
(平均評価点、100点満点)

	満足度	重要度
16. 地震や水害などに対する防災	56.4	82.2
17. 防犯対策	53.3	83.9
18. 消防・救急救命体制	62.2	83.3
19. 交通面での安全性	60.7	81.8
20. 大気汚染や騒音などの公害対策	57.7	80.9

満足・重要 = 100点、どちらかといえば満足・重要 = 75点、普通・今の程度で良い = 50点、どちらかといえば不満・重要ではない = 25点、不満・重要ではない = 0点として平均評価点を算出。

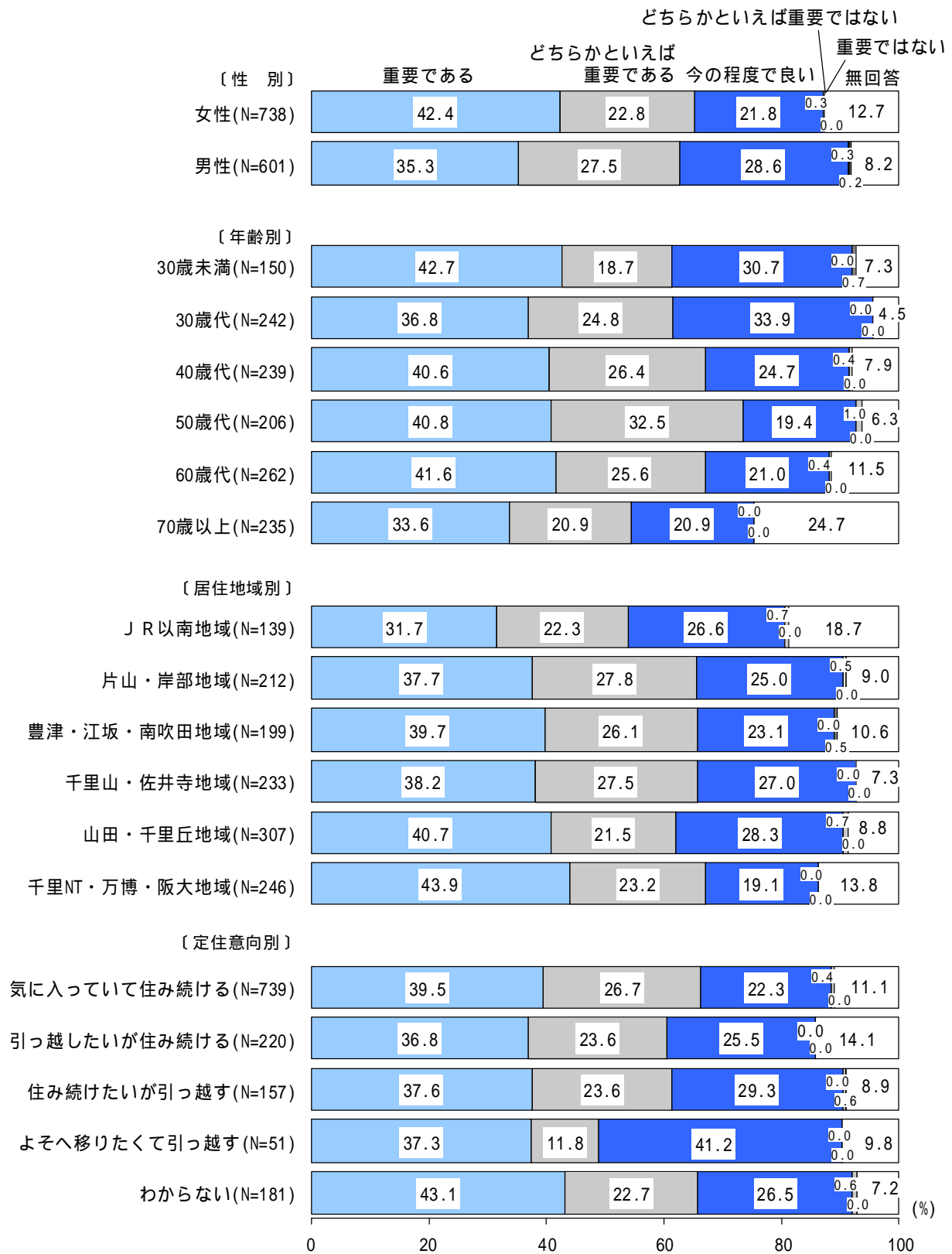
【図 3-2-17 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔安全性〕16. 地震や水害などに対する防災



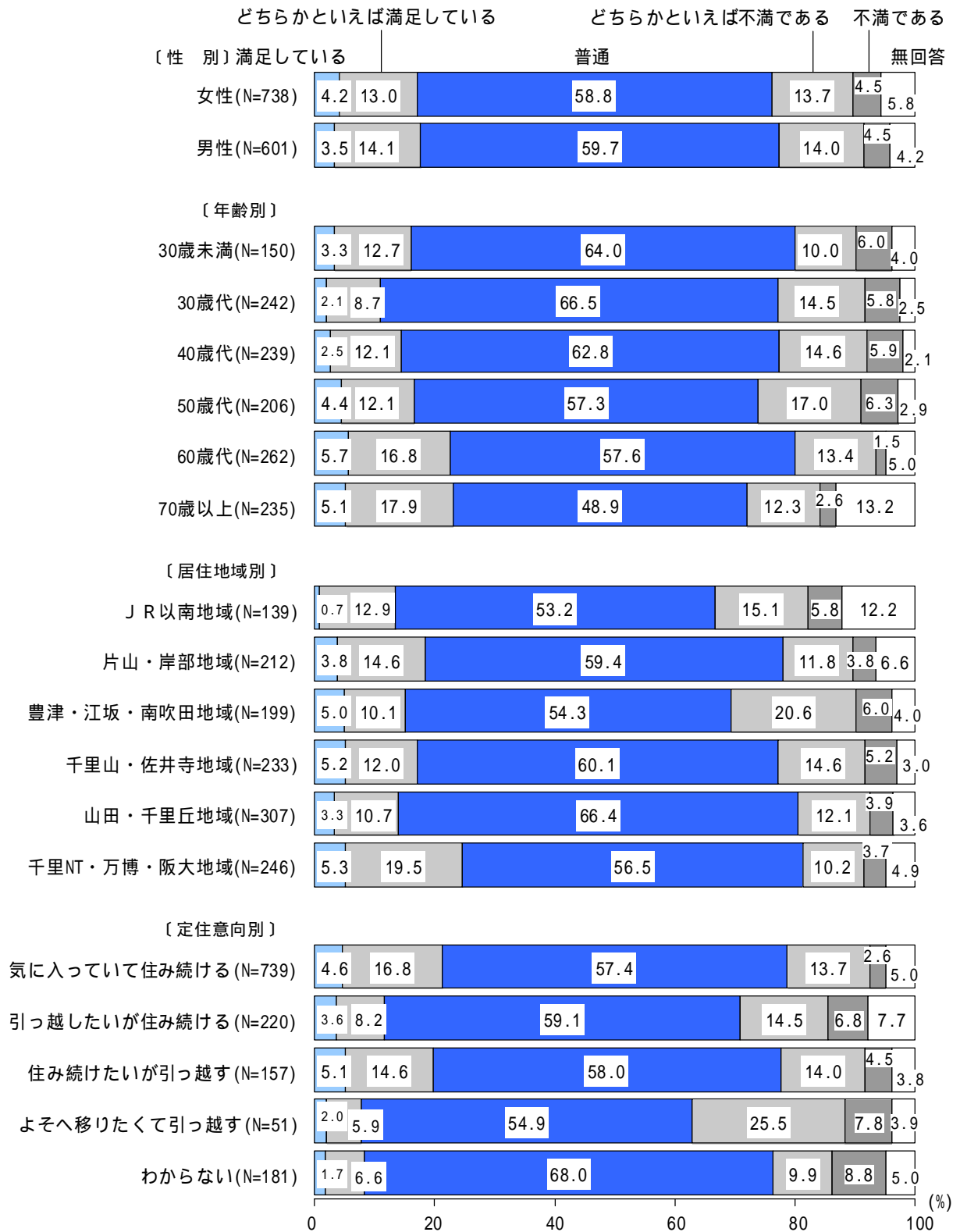
【図3-2-18 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔安全性〕16.地震や水害などに対する防災



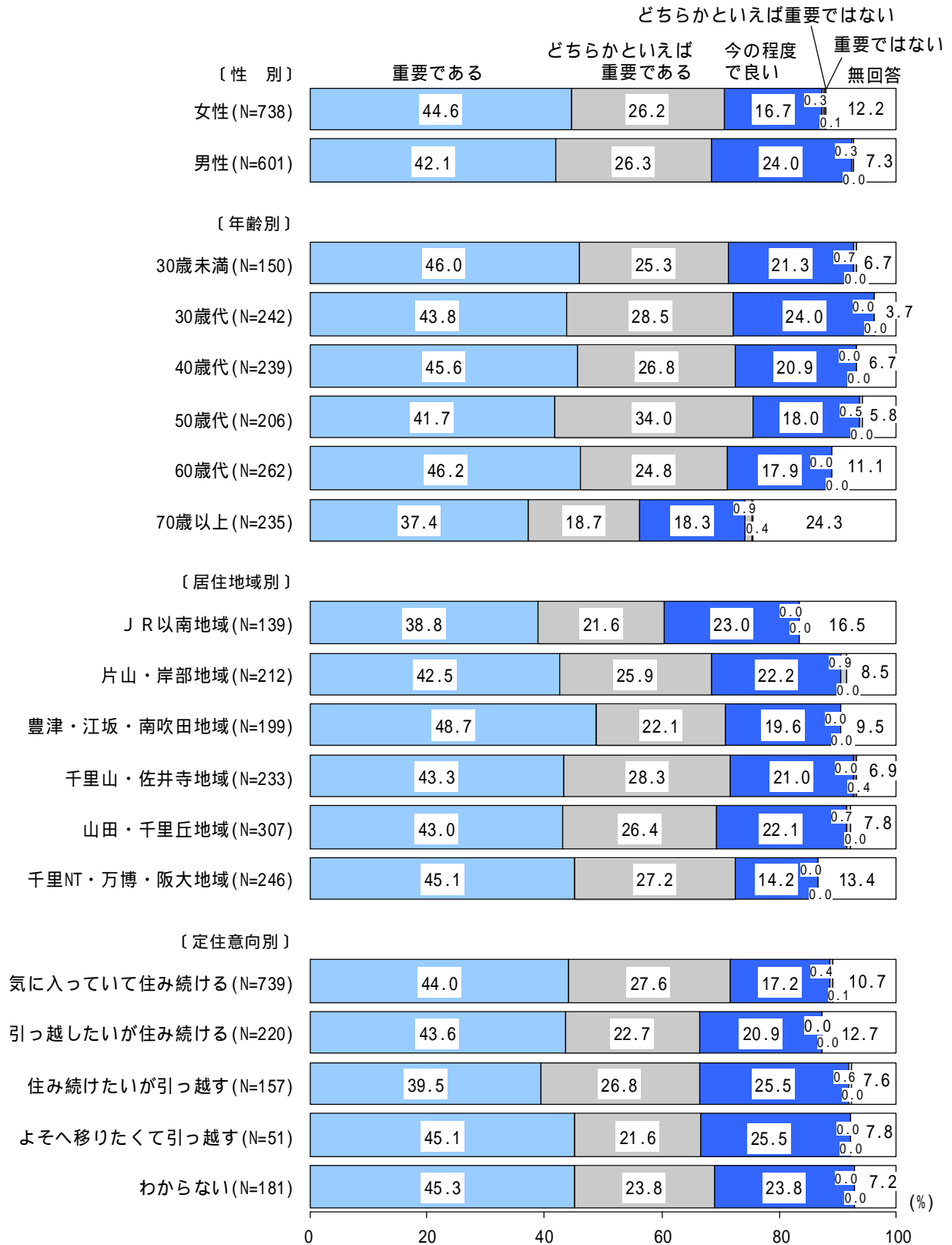
【図 3-2-17 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔安全性〕17. 防犯対策



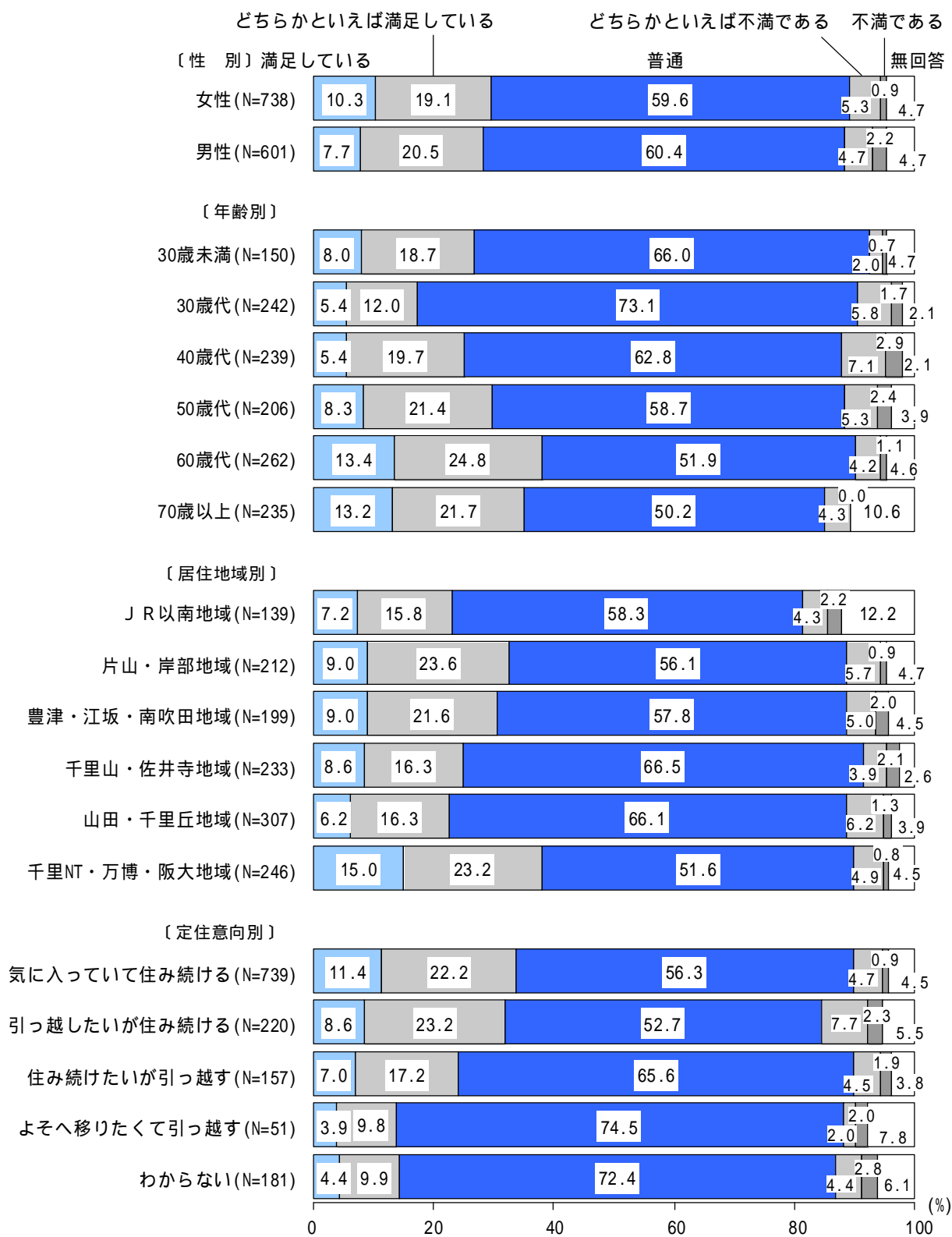
【図 3-2-18 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔安全性〕17. 防犯対策



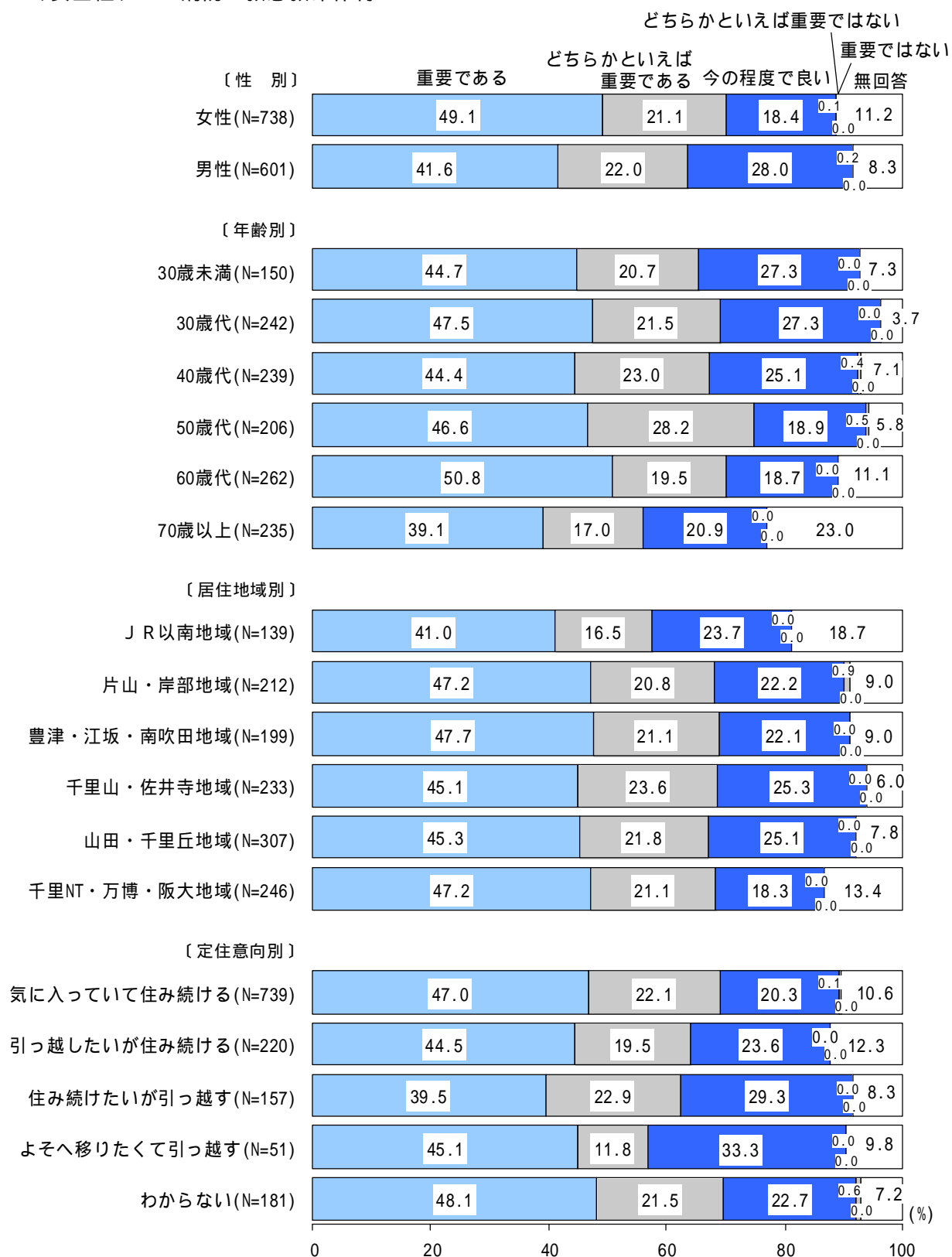
【図3-2-17 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔安全性〕18. 消防・救急救命体制



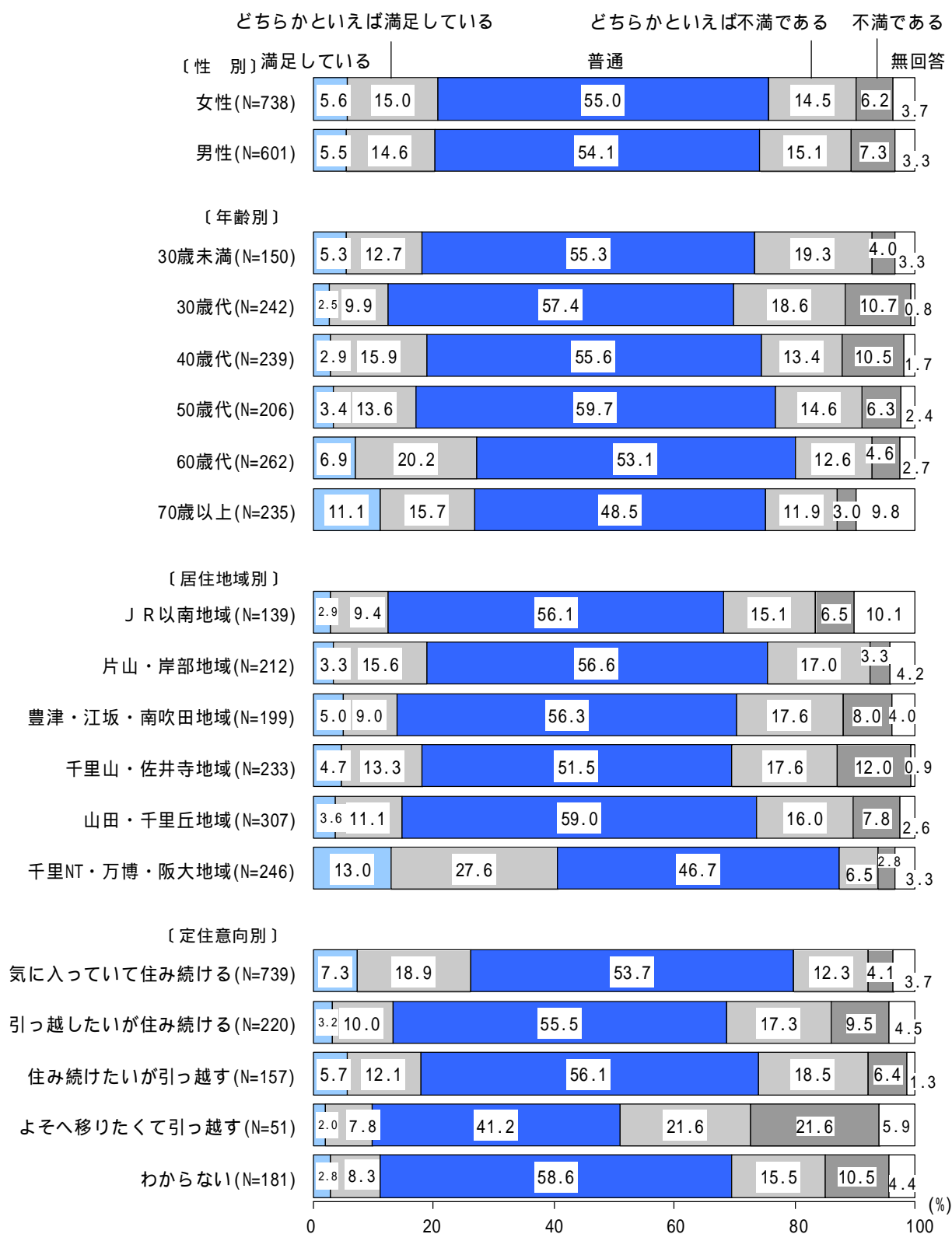
【図 3-2-18 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔安全性〕18. 消防・救急救命体制



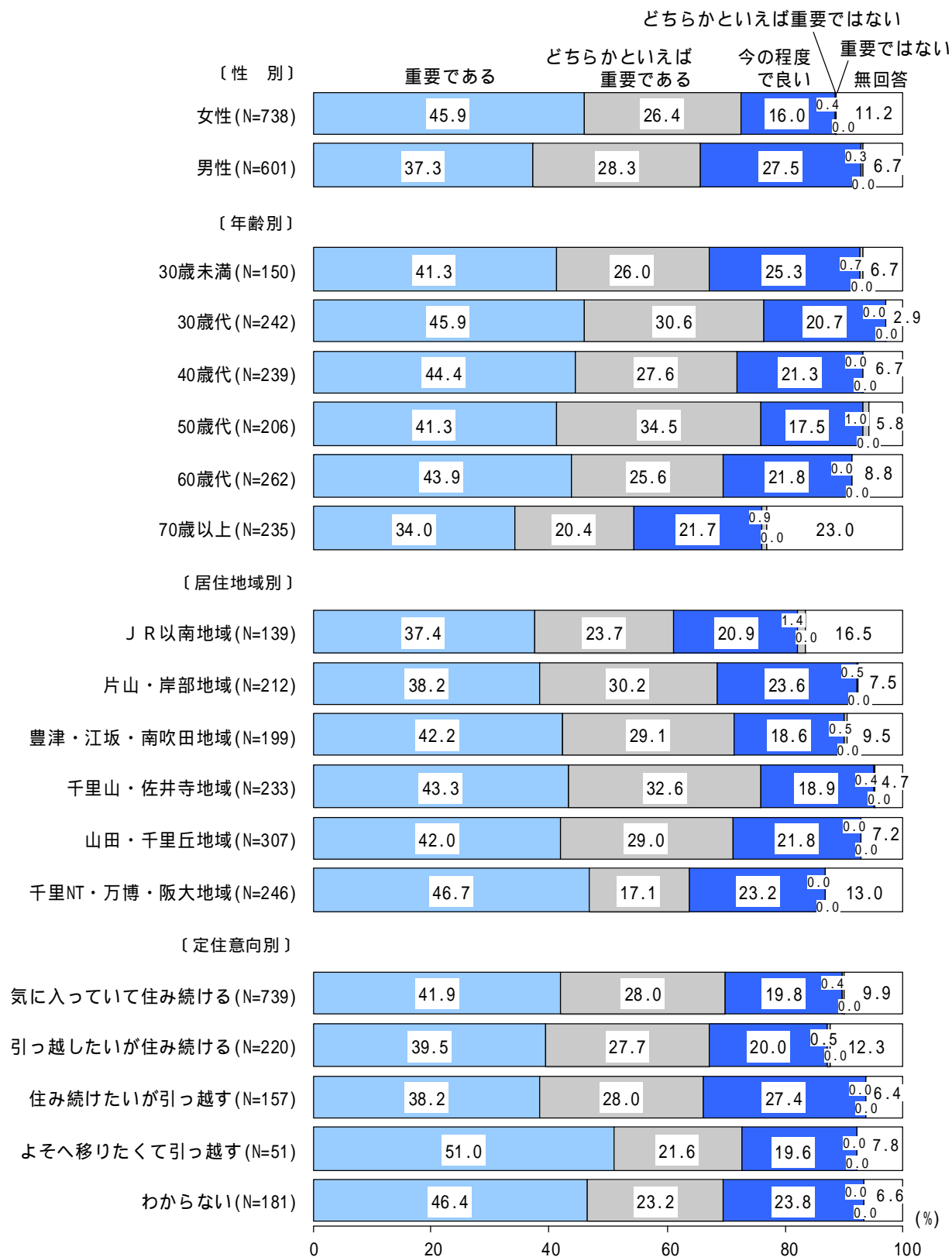
【図 3-2-17 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔利便性〕19. 交通面での安全性



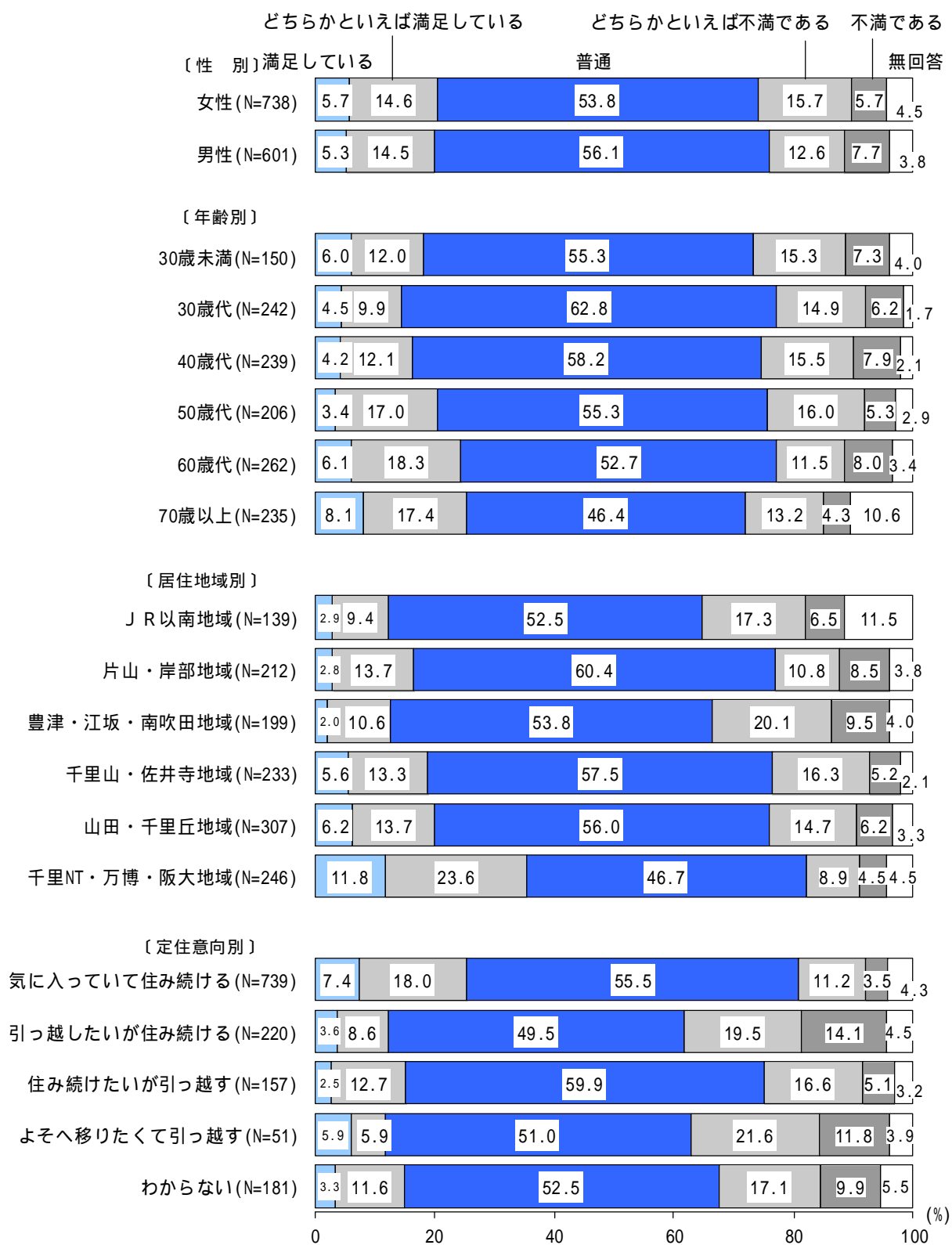
【図 3-2-18 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔利便性〕19. 交通面での安全性



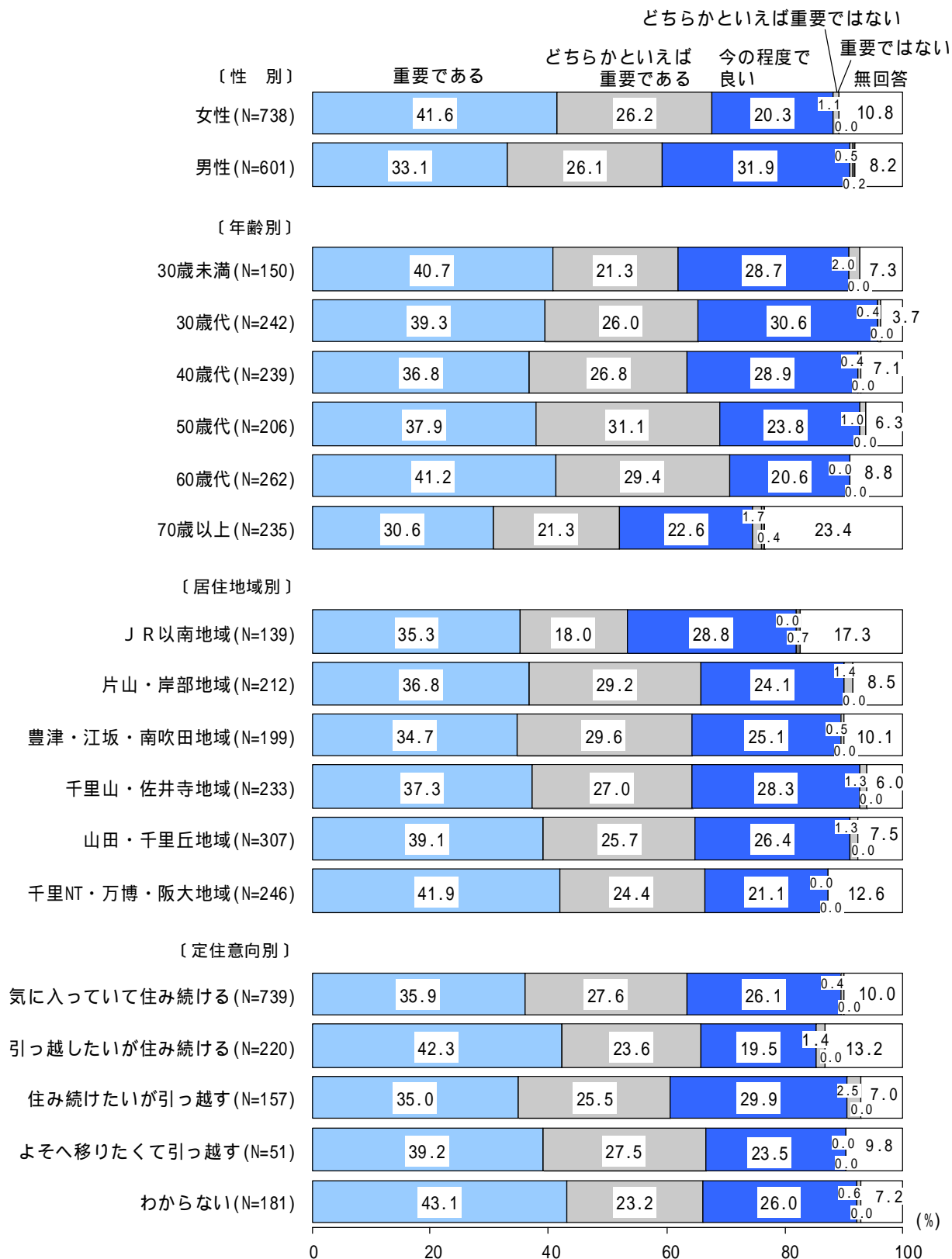
【図3-2-17 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度】

〔利便性〕20. 大気汚染や騒音などの公害対策

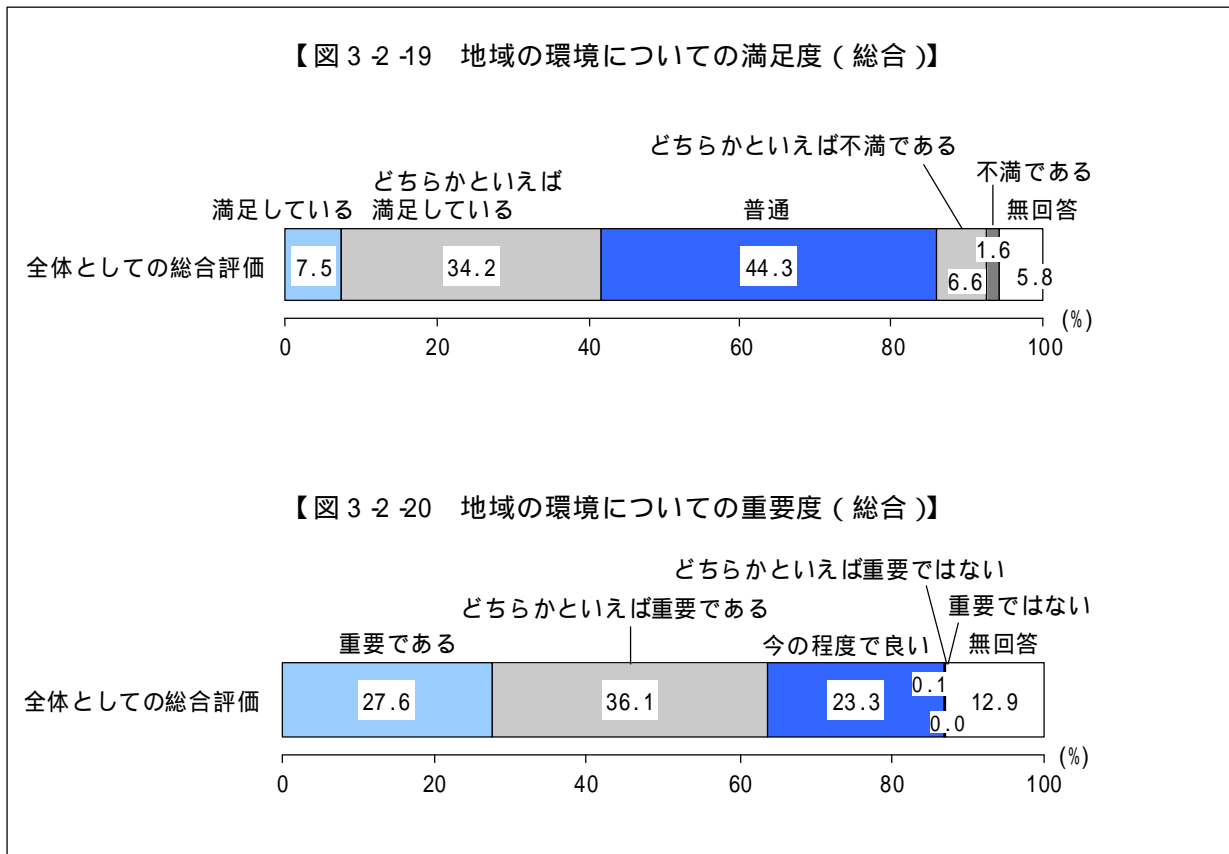


【図 3-2-18 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度】

〔利便性〕20. 大気汚染や騒音などの公害対策



(4) 全体としての総合評価



【表3-2-21 地域の環境に対する満足度と重要度(平均評価点)の経年比較】

	(平均評価点、100点満点)		重要度
	満足度		
	平成22年度	平成18年度	平成22年度
全体としての総合評価	60.4	58.8	76.1

満足・重要 = 100点、どちらかといえば満足・重要 = 75点、普通・今の程度で良い = 50点、どちらかといえば不満・重要ではない = 25点、不満・重要ではない = 0点として平均評価点を算出。

【満足度/全体】 「普通」が44.3%と最も高くなっており、「満足」は41.7%、「不満」が8.2%となっている。(図3-2-19)

【満足度/平均評価点(経年比較)】 平均評価点は60.4点であり、平成18年度と比較すると、1.6点高くなっている。(表3-2-21)

【重要度/全体】 “重要である”が63.7%を占めており、“重要ではない”(「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」を合わせた割合)では0.1%となっている。(図3-2-20)

【重要度/平均評価点】 平均評価点は76.1点となっている。(表3-2-21)

【満足度と重要度の関係】 満足度と重要度の関係について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目(満足度評価点が低かつ重要度評価点が高いもので両者の差

が大きい項目)の上位を居住地域別で見ると、〔JR以南地域〕(満足度54.4点、重要度75.4点、差21.0点)〔豊津・江坂・南吹田地域〕(同56.9点、同75.7点、差18.8点)〔千里山・佐井寺地域〕(同60.0点、同76.1点、差16.1点)である。これに対し、〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕(同69.2点、同78.7点、差9.5点)では満足度と重要度の差は最も小さくなっている。(図3-2-22)

【満足度/性別】 “満足”は、女性(40.8%)より男性(42.8%)のほうが高い割合となっている。(図3-2-23)

【満足度/年齢別】 “満足”は、60歳代(46.1%)で最も高く、次いで40歳代(45.6%)となっている。(図3-2-23)

【満足度/居住地域別】 “満足”は、〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕(59.8%)で最も高く、〔JR以南地域〕(25.2%)で最も低い割合となっている。(図3-2-23)

【満足度/定住意向別】 “満足”は、気に入っていて住み続ける(52.8%)との回答で最も高く、それ以外では「普通」が4~6割台を占めている。(図3-2-23)

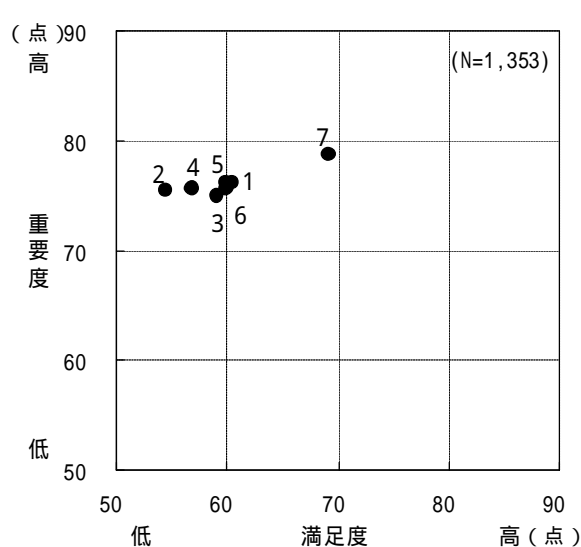
【重要度/性別】 “重要である”は、男性(60.5%)より女性(66.7%)のほうが高い割合となっている。(図3-2-24)

【重要度/年齢別】 “重要である”は、70歳以上(50.7%)で最も低い割合となっている。(図3-2-24)

【重要度/居住地域別】 “重要である”は、〔千里山・佐井寺地域〕(67.4%)で最も高い割合となっている。(図3-2-24)

【重要度/定住意向別】 “重要である”は、住み続けたいが引っ越す(59.8%)との回答で最も低い割合となっている。(図3-2-24)

【図3-2-22 満足度と重要度の関係(全体としての総合評価)】

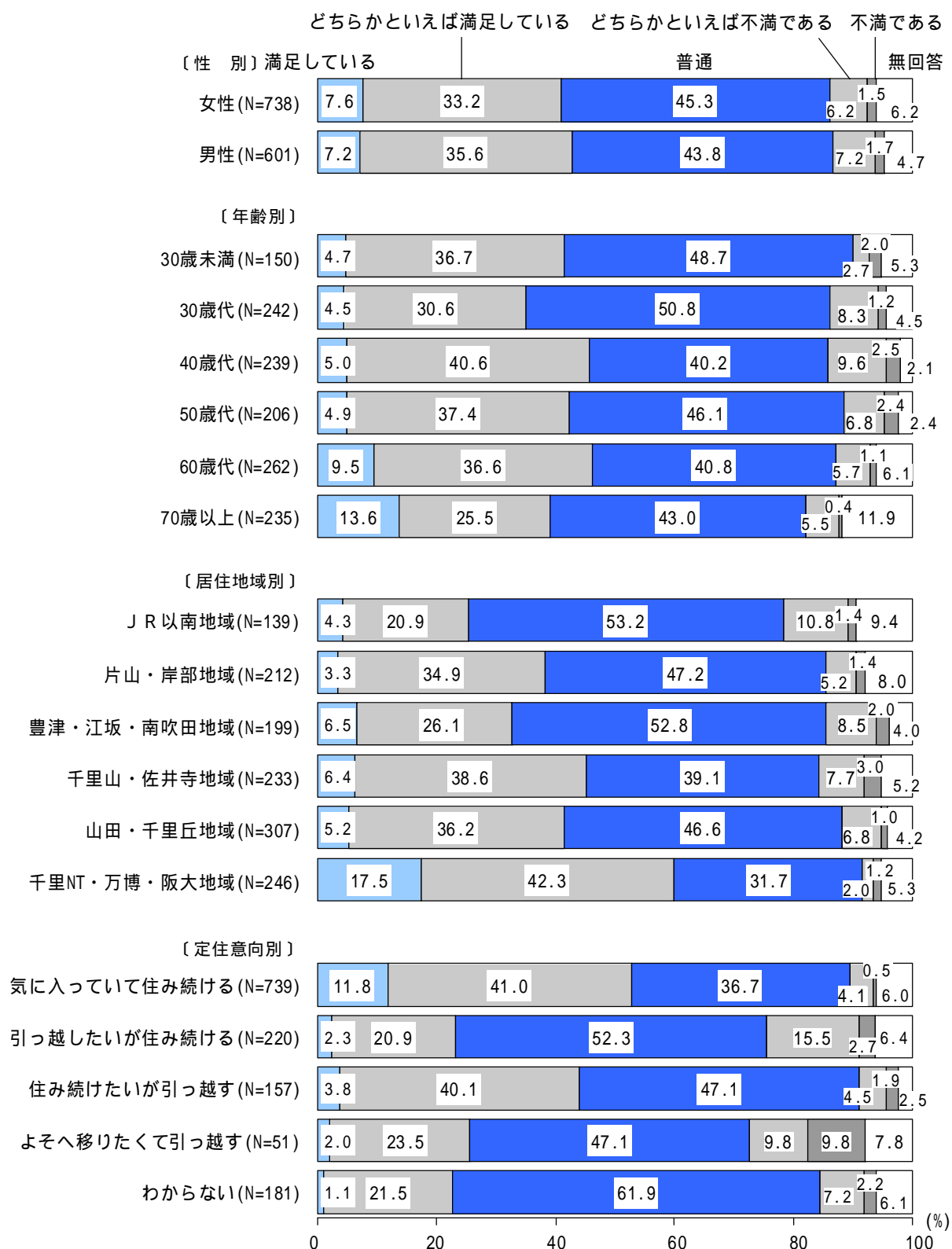


(平均評価点、100点満点)

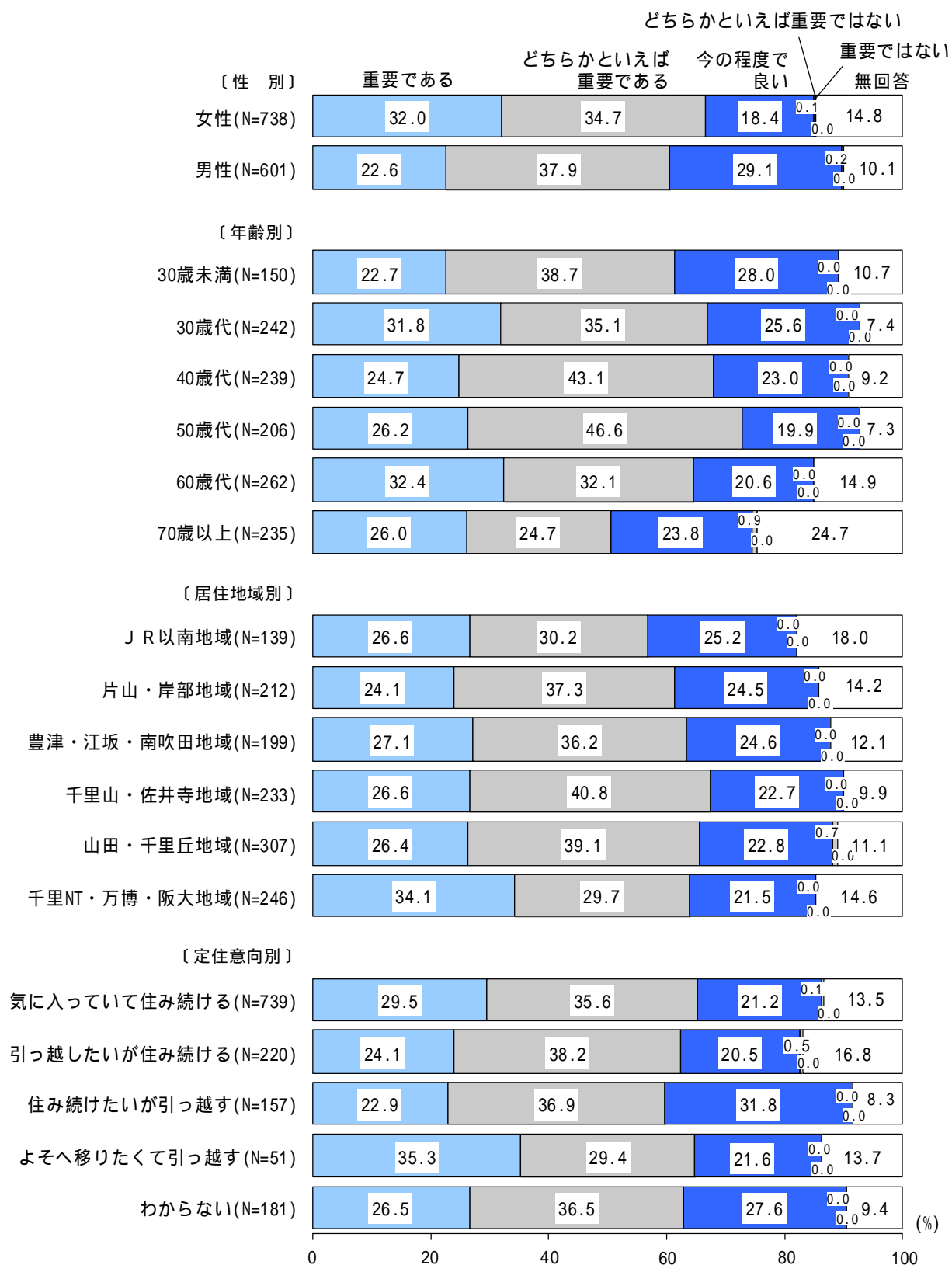
	満足度	重要度
1. 全体	60.4	76.1
2. JR以南地域	54.4	75.4
3. 片山・岸部地域	59.1	74.9
4. 豊津・江坂・南吹田地域	56.9	75.7
5. 千里山・佐井寺地域	60.0	76.1
6. 山田・千里丘地域	59.9	75.6
7. 千里NT・万博・阪大地域	69.2	78.7

満足・重要=100点、どちらかといえば満足・重要=75点、普通・今の程度で良い=50点、どちらかといえば不満・重要ではない=25点、不満・重要ではない=0点として平均評価点を算出。

【図3-2-23 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する満足度（総合）】



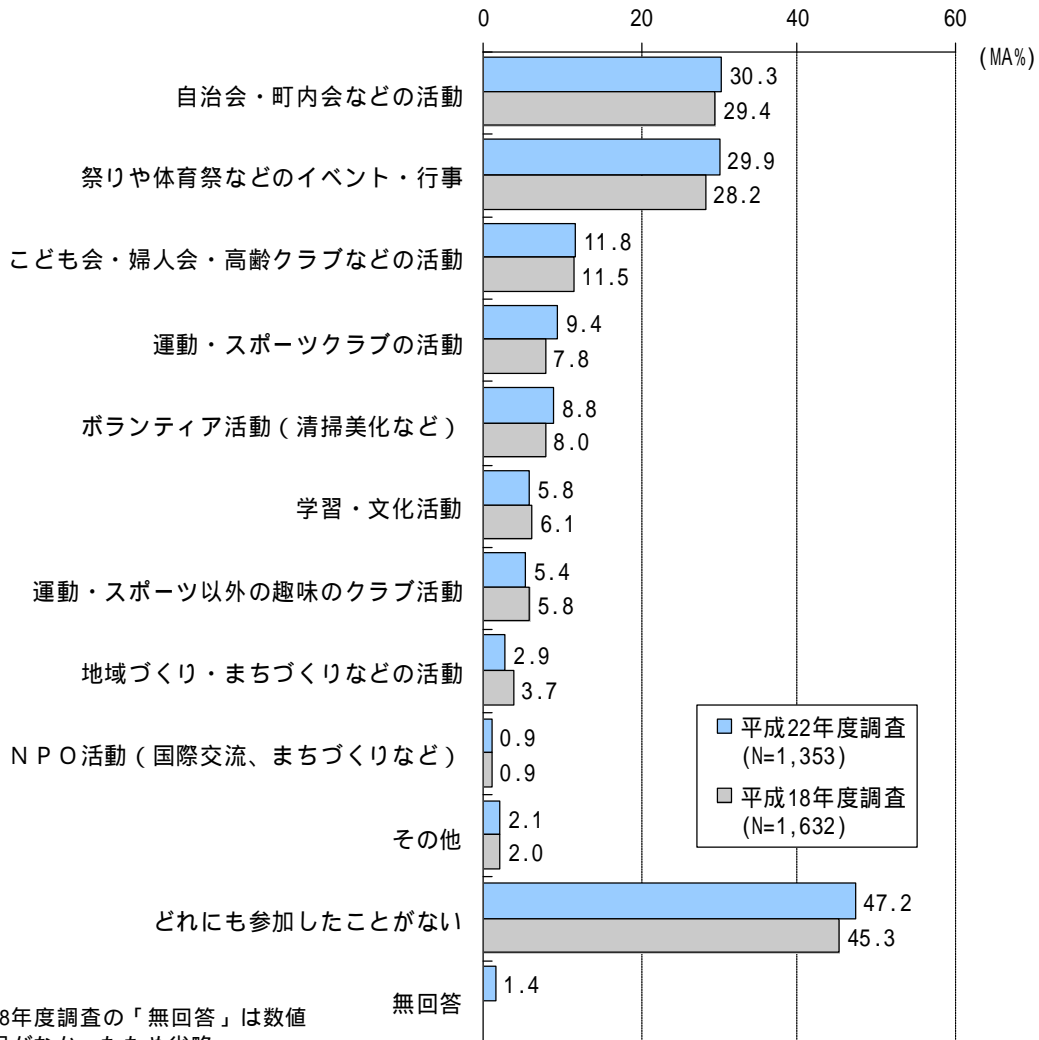
【図 3-2-24 性別・年齢別・居住地域別・定住意向別 地域の環境に対する重要度（総合）】



〔 2 〕 地域活動への参加経験

問 7 . あなたは、最近2～3年の間に、地域で行われる次のような行事や活動に参加したことがありますか。(いくつでも 印)

【 図 3 - 2 - 25 地域活動への参加経験 (経年比較) 】



参加したことがある地域行事や活動については、「自治会・町内会などの活動」が30.3%、「祭りや体育祭などのイベント・行事」が29.9%と、同程度で多くなっているが、「どれにも参加したことがない」が47.2%と最も多くなっている。

平成18年度と比較すると、上位5項目においてはいずれも平成18年度より高いが、大きな差はみられない。(図3 - 2 - 25)

何らかの社会参加 (地域活動への参加もしくは就労) をしている人の割合は加齢とともに上昇し、40歳代をピークに、それ以降は減少傾向にある。女性の場合、40歳代が91.3%で最も高く、男性は30～50歳代で9割を超えている。65歳以上では、男性 (75.5%) に

【 表 3 - 2 - 26 何らかの社会参加をしている者の割合 】

	N	総計 (%)	うち (%)	
			女性	男性
全体	1,353	81.0	78.5	84.7
18～19歳	21	52.4	75.0	38.5
20歳代	129	72.9	72.3	73.4
30歳代	242	86.0	80.7	94.6
40歳代	239	91.6	91.3	92.0
50歳代	206	88.8	84.0	95.4
60～64歳	147	83.0	78.9	87.1
65歳以上	350	70.9	66.8	75.5
無回答	19	57.9	66.7	-

比べ女性（66.8％）の割合が8.7ポイント低い。（表3-2-26）

【表3-2-27 性別・年齢別・居住地域別・職業別 地域活動への参加経験】

		N	自治会・町内会などの活動	祭りや体育祭などのイベント・行事	子ども会・婦人会・高齢クラブなどの活動	運動・スポーツクラブの活動	ボランティア活動（清掃美化など）	学習・文化活動	運動・スポーツ以外の趣味のクラブ活動	地域づくり・まちづくりなどの活動	NPO活動（国際交流、まちづくりなど）	その他	どれにも参加したことがない	無回答
全体		1,353	30.3	29.9	11.8	9.4	8.8	5.8	5.4	2.9	0.9	2.1	47.2	1.4
性別	女性	738	34.4	32.1	14.8	9.8	10.0	7.3	6.2	3.4	1.1	2.3	42.8	1.1
	男性	601	25.1	27.3	7.8	9.0	7.5	4.2	4.5	2.2	0.7	2.0	52.9	1.7
	無回答	14	35.7	21.4	21.4	7.1	-	-	-	7.1	-	-	35.7	7.1
年齢別	30歳未満	150	5.3	22.0	2.0	3.3	0.7	2.0	1.3	-	-	2.0	70.7	0.7
	30歳代	242	19.0	33.1	11.6	6.6	2.5	2.5	2.9	0.8	1.2	3.3	55.0	0.8
	40歳代	239	32.2	37.7	18.0	8.4	7.5	3.8	2.1	4.2	1.3	2.1	46.4	0.8
	50歳代	206	38.8	29.1	7.3	11.7	7.8	5.3	3.4	2.9	0.5	1.5	39.3	1.9
	60歳代	262	37.4	28.2	4.6	9.9	14.9	10.7	7.3	3.8	1.1	1.9	43.5	1.1
	70歳以上	235	40.0	26.0	23.4	15.3	16.2	8.9	14.0	4.3	0.9	2.1	36.6	2.6
	無回答	19	36.8	31.6	15.8	-	5.3	5.3	-	5.3	-	-	42.1	5.3
居住地域別	J R以南	139	39.6	33.8	18.0	9.4	10.8	5.0	4.3	3.6	-	1.4	37.4	4.3
	片山・岸部	212	33.0	29.2	12.7	11.3	10.4	6.6	6.6	1.9	0.9	4.7	46.7	0.5
	豊津・江坂・南吹田	199	26.1	31.7	10.6	6.5	7.5	2.0	4.0	4.0	1.0	2.0	52.3	1.0
	千里山・佐井寺	233	24.0	24.0	9.4	10.7	7.7	6.0	7.3	3.4	0.9	0.4	51.9	0.9
	山田・千里丘	307	30.6	28.3	10.7	9.8	9.1	7.8	5.2	2.3	1.0	1.0	46.6	2.0
	千里NT・万博・阪大	246	31.7	32.9	11.8	8.9	8.1	5.7	4.5	2.4	1.2	3.7	45.9	0.4
	無回答	17	29.4	47.1	11.8	-	5.9	11.8	5.9	5.9	-	-	41.2	5.9
職業別	常時雇用者	387	21.7	27.9	7.8	6.5	4.4	2.1	2.6	1.3	0.5	1.6	57.4	1.0
	臨時雇用者	213	35.2	32.9	11.3	11.7	9.4	6.1	5.6	3.8	0.5	1.4	43.7	0.9
	派遣社員	17	17.6	35.3	5.9	-	5.9	-	-	-	-	-	64.7	-
	内職	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自営業主、自由業者	80	25.0	23.8	10.0	7.5	6.3	10.0	5.0	5.0	2.5	2.5	52.5	-
	家族従業者	12	25.0	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	-	-	-	16.7	41.7	-
	経営者、重役、役員	46	34.8	30.4	6.5	13.0	13.0	4.3	2.2	6.5	2.2	-	45.7	2.2
	学生	53	7.5	30.2	1.9	3.8	1.9	3.8	-	-	-	5.7	58.5	1.9
	専業主婦・主夫	272	39.3	38.6	19.9	11.4	11.8	7.0	6.6	3.7	1.5	2.9	34.6	1.8
	無職	247	36.0	23.5	13.4	11.7	13.8	10.1	10.9	3.2	0.8	2.0	43.7	1.6
	無回答	25	32.0	16.0	12.0	8.0	8.0	4.0	4.0	4.0	-	-	48.0	8.0

参加経験のある活動を性別で見ると、女性は「自治会・町内会などの活動」（34.4％）が最も多いが、男性は「祭りや体育祭などのイベント・行事」（27.3％）が最も多く、いずれの活動においても男性より女性のほうが割合が高くなっている。

年齢別で見ると、「自治会・町内会などの活動」は加齢とともに割合が高くなり、70歳以上で40.0％と高い。さらに「ボランティア活動（清掃美化など）」や「運動・スポーツ以外の趣味のクラブ活動」も同様であり、70歳以上で最も高くなっている。

居住地域別で見ると、〔JR以南地域〕、〔片山・岸部地域〕、〔山田・千里丘地域〕では「自治会・町内会などの活動」が最も多く、〔豊津・江坂・南吹田地域〕、〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕は「祭りや体育祭などのイベント・行事」が最も多い。〔千里山・佐井寺地域〕は「自治会・町内会などの活動」と「祭りや体育祭などのイベント・行事」が同率（24.0％）であるが、他地域に比べて低い割合となっている。

職業別で見ると、臨時雇用者、自営業主、自由業者、経営者、重役、役員、専業主婦・主夫、無職は「自治会・町内会などの活動」が最も多くなっている。（表3-2-27）